

厚生労働省平成29年度障害者総合福祉推進事業  
視覚障害者が日常生活を送る上で必要な支援に関する  
調査研究事業  
----- 報 告 書 -----

平成30年（2018年）3月

社会福祉法人 日本盲人会連合



# 報告書 目次

はじめに

|                                |     |
|--------------------------------|-----|
| 第1章 事業概要                       | 1   |
| 1 視覚障害者向け訓練について                | 2   |
| 2 事業の背景ならびに目的                  | 4   |
| 3 事業の概要                        | 6   |
| 4 調査の実施体制                      | 8   |
| 第2章 調査1 訓練施設向け調査 調査結果          | 9   |
| 第3章 調査2 視覚障害当事者向け調査 調査結果       | 25  |
| 調査2-1 訓練施設につながるまでの<br>経緯に関する調査 | 28  |
| 調査2-2 訓練前後の生活の変化に関する調査         | 35  |
| 第4章 調査3 訓練紹介機関向け調査<br>調査結果     | 49  |
| 第5章 調査4 訓練内容の詳細に関する調査<br>調査結果  | 59  |
| 第6章 分析                         | 79  |
| 1 訓練施設                         | 81  |
| 2 視覚障害当事者                      | 93  |
| 3 訓練紹介機関                       | 115 |
| 第7章 考察                         | 129 |
| 第8章 まとめ                        | 143 |
| 第9章 シンポジウム                     | 149 |
| 編集後記                           | 155 |
| 資料集                            | 159 |
| 委員名簿                           | 175 |



## はじめに

残念ながら、視覚障害者が交通事故に巻き込まれたり、鉄道駅ホームから線路に転落したりする事故が続いています。視覚障害者誘導用ブロックの敷設、横断歩道における音響式信号機とエスコートゾーンの設置、駅ホームの内方線付き点状ブロックの設置など、私たちの要求に基づく安全対策が広がってきましたが、それだけでは事故はなくなりません。視覚障害者の外出時における安心安全は永久の課題であることは承知していますが、それでも自らの安全をより確実にしていくには今後どのような対策が必要なのでしょう。国や事業者に対して、ハード面の改善や視覚障害者への声掛けを市民に訴えることも重要ですが、それだけでは十分とは言えないように思えます。

私たちは、単独で外出する場合と同行援護事業を利用したガイドヘルパー（介助者）を伴った外出を選択することができます。単独で外出する場合にも、白杖を使用した単独歩行と盲導犬を伴う外出が考えられます。そうした外出手段は、それぞれの視覚障害者が自由に選択できることが前提となっていますし、さらには外出の目的や外出先によっては、その手段を使い分けることも必要になります。ただし、歩行訓練などを受けて単独で外出できる能力を身に付けていることが、そうした手段を選択できるための前提となります。

ところが、残念ながら、国の制度としての歩行訓練を含む機能訓練事業所があまりにも少ないため、全国のどこに暮らしていても、そして、いつでも希望さえすれば歩行訓練を受けることができる環境が整っているとは言えません。私たちは、十分な歩行訓練を受けてこそ、最低限の自らの安全を確保し、外出の自由を獲得することができるのです。国は、これまで以上に視覚障害者が歩行訓練を受けやすくするため、2018年4月から障害福祉サービス事業において、機能訓練事業所だけでなく生活訓練事業所でも歩行訓練が受けられる体制を作ろうとしています。このことは視覚障害者にとって朗報であり、今後すべての都道府県において、最低でも1ヶ所以上の歩行訓練を実施している事業所を作ることが必要です。歩行訓練の重要性を眼科医や自治体の関係者などに十分に理解していただき、視覚障害者自身も歩行訓練を受けることの重要性を再認識することが必要です。本連合としても、歩行訓練を必要とする視覚障害者が訓練に結びつくシステムの確立に向けて取り組む所存です。

昨年に引き続き調査研究にご協力いただいた大倉元宏先生をはじめとする委員の方々に感謝申し上げますとともに、この調査結果が前述した歩行訓練の重要性を眼科医や自治体に理解していただき、視覚障害者自身が歩行訓練の有用性を再認識し、歩行訓練を受ける動機となることを期待します。



# 第 1 章 事業概要

# 1 視覚障害者向け訓練について

## 1. 機能訓練（機能訓練事業所）

機能訓練は、主に肢体不自由者や視覚障害者を対象に、リハビリテーションを行うサービスの名称であり、障害者総合支援法に定められた障害福祉サービスである。

この訓練の目的は、実践的なトレーニングを中心に一定の期間を決めて行い、障害者の地域生活への移行を支援することである。ただし、同じサービス名ではあるものの、肢体不自由者などを対象とした機能訓練と、視覚障害者を対象とした機能訓練は、その訓練内容が全く異なる。視覚障害者に対する訓練については、歩行訓練、パソコン訓練、日常生活訓練などがあり、専門知識を持った職員が指導を行う。

なお、本報告書で紹介する機能訓練は主に「視覚障害者向けの機能訓練」を指す。また、これらの訓練を実施する事業所を「機能訓練事業所」とする。

## 2. 非機能訓練（非機能訓練事業所）

上記1の機能訓練とは別に、主に都道府県や市区町村の独自予算で運営している視覚障害者向けリハビリテーションサービスを、本報告書では「非機能訓練」とする。また、その訓練の実施事業所は「非機能訓練事業所」とする。

独自予算で実施している事業は、自治体によって名称や内容が異なり、主に「地域生活支援事業」「中途失明者緊急生活訓練事業」などの名称で実施している。また、これらの事業は、一部の機能訓練事業所、視覚障害者の福祉団体、点字図書館などで実施している。

## 3. 視覚リハと視覚障害者向けの機能訓練

視覚リハ（視覚障害リハビリテーションの略称）とは、視覚障害があっても、自分らしく自立して社会で役割を持ち、生き生きとした生活ができるようになることを目的に、医療・福祉・教育などが連帯して行う活動である。

そして、この視覚リハの目的を達成するために、次のような視覚障害者向けの機能訓練を実施している。

### （1）歩行訓練

屋内外を安全かつ効率的に移動することができるよう、介助を受ける時の方法、様々な場面に応じた「白杖（はくじょう）」の使い方、諸感覚をバランスよく活用する方法などを身に付けるための訓練。

### （2）パソコン（PC）/ICT訓練

情報収集や学習の手段として活用できるよう、画面の文字を読むことが困難な視覚障害者に対して、画面読み上げソフトを使用してパソコンを操作する方法を身に付けるための訓練。また、拡大すれば文字が読める視覚障害者には、見やすい画面

環境を検討しながら訓練を実施する。その他には、録音機器（CD読書器など）、携帯電話（スマートフォンなど）、タブレットなどの基本的な操作法についての訓練もある。

### （３）点字訓練

6つの点で構成される「点字」を使って、日常生活でメモを取ったり、学習場面や読書などで活用できるよう、点字の読み書きを身に付けるための訓練。

### （４）日常生活訓練（ADL訓練）

日常生活の中で、自分でできることを増やせるよう、掃除・洗濯・調理などの家事全般、食事や爪切りなどの身辺管理を身に付けるための訓練。

### （５）ロービジョン訓練（LV訓練）

自分の目の見え方に対する理解を深めながら、様々な場面で効率的に目を使う方法や有効な補助具（ルーペ、拡大読書器、遮光眼鏡など）の使い方を身に付けるための訓練。

## 4. 歩行訓練士（養成施設出身者）

視覚リハでは「歩行訓練士（視覚障害者生活訓練等指導者）」が訓練の中心を担っている。歩行訓練士は、厚生労働省直轄の養成校を卒業するか、委託した機関において視覚障害者向け生活訓練等指導者養成課程を修了した者が該当する。そのため、これらの者を「歩行訓練士」または「養成施設出身者」と呼んでいる。なお、歩行訓練士・養成施設出身者の業務は、上記3に掲げた訓練の他に、ケースワークなどの生活全般の支援にあたり、視覚障害者の自立に向けた支援においては重要な存在である。

## 5. 相談支援（事業）

介護保険サービスや障害福祉サービスの提供を受けるために位置付けられた支援（事業）。

障害者やその家族からの生活や支援に関する相談に応じるとともに、関係機関との連携のもと、障害者の身近な地域において、安心して生活できる地域の支援体制をつくることを目的とする。

その役割の一つとして、生活全般にわたる聞き取り調査と、それに基づく応援の手立てや願いを生活に反映できるようケアプランやサービス等利用計画を作成し、施設やサービスの利用の調整、定期的なモニタリング（計画の見直し）などを行う。

## 2 事業の背景ならびに目的

視覚障害者に対する歩行訓練などの訓練は、機能訓練事業所において障害福祉サービスの自立訓練（機能訓練）として実施される他に、機能訓練とは別に都道府県や市区町村の独自予算で運営する訓練（非機能訓練）が全国各地で実施されている。

しかし、機能訓練においては課題が多く、提供するサービスが多岐にわたり、サービスを提供する職員も揃ってはいるが、運営面やサービスの提供を考えると決して十分とは言えず、以前より職員の配置基準を改めて欲しいとの意見が多かった（この点は、去年の調査研究において、背景や課題の整理を行っている。）。

また、機能訓練は非機能訓練と比較すると、機能訓練が非機能訓練に劣る部分があることも指摘されている。例えば、単独歩行で外出することが難しい視覚障害者にとっては、通所や入所をする機能訓練に比べ、訪問が中心となる非機能訓練を利用する方が実情に見合っている。また、訪問訓練は、慣れ親しんだ環境のもとで訓練を受けるために、訓練を受ける視覚障害者の訓練意欲は間違いなく高くなり、効果面も期待できる。そのため、機能訓練については、以前とは訓練形態が変わってきたとは言えるものの、歩行訓練などにおいては、基本的に通所や入所が中心である限り、非機能訓練に劣るとも言える。

これらのことが、歩行訓練の安定的な供給を妨げている一因とも言われている。このような中で、「それでもなお、機能訓練事業所で訓練を提供することの意味はどこにあるのか。」「機能訓練事業所のサービス提供の利点はどこにあるのか。」「長所が多いと考えられる非機能訓練事業所を利用することの不利な点もあるのではないか。」「それらの事業所が混在している中で、視覚障害者にとって、どのような種類の訓練を、どのような形で受けることが望ましいのか。」「訓練を受けることの必要性、そして、訓練を受けることの効果はどの程度あるのか。」など、様々な疑問や課題が生じている。

本調査の目的の一つは、機能訓練事業所、または視覚障害者向け訓練そのものが抱えるこれらの課題を整理し、どのような訓練提供体制と内容が備えれば、視覚障害者にとって意義深く、効果的なものとなるのかを明らかにすることである。

そして、もう一つの目的は、機能訓練事業所や非機能訓練事業所の存在、さらに訓練そのものが、地域の視覚障害当事者、医療や福祉の関係者にどの程度まで認知されているのか、そして、実際に訓練につなげるための連携の実態や必要性を明らかにすることである。

地域に目を向けると、現在の障害福祉サービスでは、まず、相談支援事業所の位置づけは非常に重要であり、機能訓練事業所を利用するにあたっては、サービス等利用計画の作成が求められる。しかし、計画を作成する相談支援事業所がどの程度まで視覚障害者のリハビリテーションを理解しているのかは不明な部分が多い。これは、一般相談でも同様であると考えられる。

また、当事者団体や点字図書館などの情報提供施設、視覚特別支援学校などにおいても、訓練へとつなげていく相談支援があるが、どの程度の役割を果たしているのかは、なかなか分かりづらい部分がある。

一方、医療の分野では、全国各地でシステムとしてのスマートサイトが始まり、その出発点としての医療機関は、視覚障害者が自らの進路を決定していく上で、重要な役割を果たし始めている。しかし、その医療機関では、どの程度まで視覚障害者のリハビリテーションが理解されているのか、また、各地域に存在する視覚障害に関する社会資源がどこまで把握できているのかなど、分かりづらい部分がある。

本調査を通して、医療機関や福祉、教育関係などの視覚障害関係の社会資源の実態を把握し、連携しながら視覚障害者を訓練に結び付けていけるのかが明確になれば、本調査の2つ目の目的も達成されるものである。

### 3 事業の概要

#### 1. 事業名

視覚障害者が日常生活を送る上で必要な支援に関する調査研究事業

#### 2. 事業の目的

視覚障害者が自立した生活や社会参加を行うためには、生活訓練（歩行訓練）などの自立に必要な訓練が安定的に実施されることが重要である。

しかし、障害福祉サービスとしての「自立訓練（機能訓練）」においては、視覚障害者を主たる対象とする事業所数が少なく、視覚障害者に対して全国均一で安定的な訓練事業が実施されていない。一方、近年では十分な歩行訓練を受けられなかった視覚障害者が、外出時に交通事故などの被害に遭うケースが増えている。そのため、視覚障害者からは、安心して訓練が受けられる体制を求める声が多い。

以上の現状を踏まえ、平成28年度には「視覚障害者のニーズに対応した機能訓練事業所の効果的・効率的な運営のあり方に関する調査研究事業」として、訓練を実施する事業所と視覚障害当事者への調査を行った。調査の結果、様々な課題や問題点が見つかる中で、訓練を必要とする視覚障害者に対して、地域の中で訓練に結びつけていく連携体制がないことが判明した。また、受け皿となる訓練事業所については、障害福祉サービスで実施すべき内容の整理、訓練や支援の具体的な効果などについて、さらなる調査が必要との指摘を受けた。

本事業では、昨年度事業において判明した課題の解決を中心に、各調査の実施を通して次の論点整理を行い、視覚障害者が日常生活を送る上で必要な支援である生活訓練（歩行訓練）について研究をする。

#### 論点①

訓練を受ける視覚障害者への効果的な訓練体制のあり方

#### 論点②

視覚障害者を訓練に効果的につなげる支援体制のあり方

### 3. 調査内容

(1) 調査1 訓練施設向け調査

調査名 施設基本情報に関する調査  
調査方法 アンケート調査  
調査期間 平成29年10月13日～11月20日  
対象 視覚障害者向け訓練実施施設 23施設  
(機能訓練10施設、非機能訓練13施設)

(2) 調査2 視覚障害当事者向け調査

調査名  
調査2-1 訓練施設につながるまでの経緯に関する調査  
調査2-2 訓練前後の生活の変化に関する調査  
調査方法 アンケート調査  
調査期間 平成29年10月13日～12月15日  
対象 訓練を受講した視覚障害者 各約115名

(3) 調査3 訓練紹介機関向け調査

調査名 視覚障害者を訓練につなぐ相談支援に関する調査  
調査方法 アンケート調査  
調査期間 平成29年11月16日～12月15日  
対象 視覚障害者を訓練につなげる可能性のある機関 5業種 約870機関

(4) 調査4 訓練内容の詳細に関する調査

調査名 視覚障害当事者の訓練経過に関する調査  
調査方法 訓練実施施設の訓練担当者からのレポート提出  
調査期間 平成29年10月24日  
～平成30年1月31日  
対象 視覚障害者向け訓練実施施設 3施設

## 4 調査の実施体制

調査の実施にあたり、平成29年7月から平成30年3月末までに下記のとおり検討委員会を開催し、検討された内容をもとに調査の実施および報告書の取りまとめを行った。

|                    |   |
|--------------------|---|
| 第1回委員会             | 期日：平成29年8月4日<br>場所：日本盲人福祉センター 研修室<br>議事：事業内容の検討、調査内容の検討、調査票の検討                        |
| 第2回委員会             | 期日：平成29年8月28日<br>場所：日本盲人福祉センター 研修室<br>議事：調査方法の検討、調査票の検討、調査4の検討                        |
| 第3回委員会             | 期日：平成29年12月25日<br>場所：日本盲人福祉センター 研修室<br>議事：調査結果の報告、調査結果の検討、報告書作成に向けた検討、シンポジウムの開催に向けた検討 |
| 第4回委員会             | 期日：平成30年1月29日<br>場所：日本盲人福祉センター 研修室<br>議事：各調査の追加報告、調査結果の検討、報告書作成に向けた検討、シンポジウムの開催に向けた検討 |
| 第5回委員会<br>(シンポジウム) | 期日：平成30年3月4日<br>場所：TKP神田駅前ビジネスセンター<br>議事：調査結果の取りまとめ内容の検討、調査結果の発表と意見交換                 |

## 第 2 章 調査 1 訓練施設向け調査 調査結果

# 1 調査概要

## 【調査目的】

- ・ 視覚リハを実施している訓練施設において、機能訓練事業所、そして機能訓練事業所ではないが積極的に視覚リハを実施している事業所（非機能訓練事業所）の運営状況などを調査するため、検討委員会で選定した施設に対して調査を行った。
- ・ 調査においては、各施設の運営状況に加え、個別ニーズに関する内容を多角的に調査した。
- ・ 機能訓練事業所の課題を浮き彫りにするため、非機能訓練事業所との比較を前提に調査を実施した。

## 【対象施設】

- ・ 施設の選定においては、全国平均を掴むため、各ブロックにおいて活発的に訓練を実施し、かつ特色がある施設を検討委員会で選定し、以下の機能訓練事業所10施設、非機能訓練事業所13施設を対象にした。

| ブロック | 機能訓練事業所 |      | 非機能訓練事業所 |      |
|------|---------|------|----------|------|
| 北海道  | サンプル A  | 北海道① | サンプル K   | 北海道② |
| 東北   |         |      | サンプル L   | 宮城県  |
| 関東   | サンプル B  | 埼玉県  | サンプル M   | 神奈川県 |
|      | サンプル C  | 神奈川県 |          |      |
| 東京   | サンプル D  | 東京都① | サンプル N   | 東京都② |
| 甲信越  | サンプル E  | 山梨県  | サンプル O   | 福井県  |
| 東海   | サンプル F  | 愛知県  | サンプル P   | 静岡県  |
| 関西   | サンプル G  | 京都府  | サンプル Q   | 兵庫県  |
| 大阪   | サンプル H  | 大阪府① | サンプル R   | 大阪府② |
| 中国   |         |      | サンプル S   | 島根県  |
|      |         |      | サンプル T   | 岡山県  |
| 四国   |         |      | サンプル U   | 高知県  |
| 九州   | サンプル I  | 福岡県① | サンプル V   | 佐賀県  |
|      | サンプル J  | 福岡県② | サンプル W   | 大分県  |

## 【調査方法】

- ・ 検討委員会において検討を行った調査票（資料集161～163ページ掲載）を使用して調査を実施した。

## 【調査期間】

- ・ 平成29年10月13日～11月20日

## 【回収】

|          | 回収数(件) | 依頼数(件) | 回収率(%) |
|----------|--------|--------|--------|
| 機能訓練事業所  | 10     | 10     | 100.0  |
| 非機能訓練事業所 | 13     | 13     | 100.0  |
| 合計       | 23     | 23     | 100.0  |

## 【回答の傾向（注意点）】

- ・機能訓練事業所については、視覚リハを実施している主要事業所からの回答が得られた。ただし、都市圏と地方の事業所を対象にしたものの、東北、中国、四国においては、対象となる事業所がなく、地方や規模の小さい事業所の状況が把握できていない部分が若干ある。
- ・非機能訓練事業所についても、視覚リハを実施している主要事業所からの回答が得られた。また、大都市と地方のバランス、規模の大小のバランスが取れた調査対象になり、回答にも地域性が表れている。なお、対象とした事業所が（指定）障害者支援施設、視聴覚障害者情報提供施設、盲導犬訓練施設、当事者団体、民間企業、外部施設への委託などを調査対象にしたことで、これらの事業所の多様な運営形態をもカバーした調査結果となった。

## 【調査結果の掲載方式】

- ・各サンプルから得られた回答を機能訓練と非機能訓練に分けて集計を行い、調査結果として掲載をする。

## 2 調査結果

### 1. 施設種別

(複数回答あり)

|                    | 機能訓練(n=10) |       | 非機能訓練(n=13)<br>(*1) |       |
|--------------------|------------|-------|---------------------|-------|
|                    | 件数         | %     | 件数                  | %     |
| (指定)障害者支援施設        | 8          | 80.0  | 1                   | 7.1   |
| (指定)障害福祉サービス事業所    | 2          | 20.0  | 2                   | 14.3  |
| 視聴覚障害者情報提供施設・点字図書館 | 0          | 0.0   | 4                   | 28.6  |
| 盲導犬協会・盲導犬訓練施設      | 0          | 0.0   | 2                   | 14.3  |
| 民間企業               | 0          | 0.0   | 1                   | 7.1   |
| その他(*2)            | 0          | 0.0   | 4                   | 28.6  |
| 合計                 | 10         | 100.0 | 14                  | 100.0 |

(\*1)一部の施設が複数に該当するため、複数回答として集計する。割合は総件数14件より割り出す

(\*2)当事者団体、自治体内の部署 など

### 2. 職員数

(単位：人)

|         | 機能訓練(n=10) |    |    | 非機能訓練(n=13) |    |    |
|---------|------------|----|----|-------------|----|----|
|         | 平均         | 最小 | 最大 | 平均          | 最小 | 最大 |
| 訓練実施者   | 7.2        | 2  | 13 | 2.8         | 0  | 8  |
| 歩行訓練実施者 | 4.9        | 2  | 8  | 2.4         | 1  | 5  |

#### ※訓練実施者の内訳

(単位：人)

|      | 機能訓練(n=10) |    |    | 非機能訓練(n=13) |    |    |
|------|------------|----|----|-------------|----|----|
|      | 平均         | 最小 | 最大 | 平均          | 最小 | 最大 |
| 正職員  | 6.3        | 2  | 10 | 1.8         | 0  | 5  |
| 嘱託職員 | 0.9        | 0  | 4  | 1           | 0  | 4  |

#### ※歩行訓練実施者の内訳

(単位：人)

|      | 機能訓練(n=10) |    |    | 非機能訓練(n=13) |    |    |
|------|------------|----|----|-------------|----|----|
|      | 平均         | 最小 | 最大 | 平均          | 最小 | 最大 |
| 正職員  | 4.6        | 2  | 8  | 1.7         | 0  | 4  |
| 嘱託職員 | 0.2        | 0  | 1  | 0.7         | 0  | 4  |

### 3. 訓練形態および実施体制 実施ができない訓練

#### (1) 機能訓練

|    | 機能訓練(n=10) |      |      |      |    |      |     |      |
|----|------------|------|------|------|----|------|-----|------|
|    | 歩行         |      | パソコン |      | 点字 |      | ADL |      |
|    | 件数         | %    | 件数   | %    | 件数 | %    | 件数  | %    |
| 通所 | 0          | 0.0  | 0    | 0.0  | 0  | 0.0  | 0   | 0.0  |
| 入所 | 3          | 30.0 | 3    | 30.0 | 3  | 30.0 | 3   | 30.0 |
| 訪問 | 0          | 0.0  | 2    | 20.0 | 3  | 30.0 | 2   | 20.0 |

#### (2) 非機能訓練

|    | 非機能訓練(n=13) |      |      |      |    |      |     |      |
|----|-------------|------|------|------|----|------|-----|------|
|    | 歩行          |      | パソコン |      | 点字 |      | ADL |      |
|    | 件数          | %    | 件数   | %    | 件数 | %    | 件数  | %    |
| 通所 | 1           | 7.7  | 1    | 7.7  | 1  | 7.7  | 3   | 23.1 |
| 入所 | 9           | 69.2 | 9    | 69.2 | 9  | 69.2 | 9   | 69.2 |
| 訪問 | 0           | 0.0  | 1    | 7.7  | 2  | 15.4 | 1   | 7.7  |

### 4. 利用者の状況

#### (1) 利用定員（1日あたり）

|        | 機能訓練(n=10) |       | 非機能訓練(n=13) |       |
|--------|------------|-------|-------------|-------|
|        | 件数         | %     | 件数          | %     |
| 1～5名   | 0          | 0.0   | 3           | 23.1  |
| 6～10名  | 3          | 30.0  | 0           | 0.0   |
| 11～15名 | 0          | 0.0   | 0           | 0.0   |
| 16～20名 | 4          | 40.0  | 0           | 0.0   |
| 21名以上  | 2          | 20.0  | 0           | 0.0   |
| なし     | 1          | 10.0  | 10          | 76.9  |
| 合計     | 10         | 100.0 | 13          | 100.0 |

#### (2) 年間の利用者数の制限

|      | 機能訓練(n=10) |       | 非機能訓練(n=13) |       |
|------|------------|-------|-------------|-------|
|      | 件数         | %     | 件数          | %     |
| あり   | 1          | 10.0  | 1           | 7.7   |
| 一部あり | 1          | 10.0  | 1           | 7.7   |
| なし   | 8          | 80.0  | 11          | 84.6  |
| 合計   | 10         | 100.0 | 13          | 100.0 |

### (3) 年間の訓練回数の制限

|      | 機能訓練(n=10) |       | 非機能訓練(n=13) |       |
|------|------------|-------|-------------|-------|
|      | 件数         | %     | 件数          | %     |
| あり   | 0          | 0.0   | 2           | 15.4  |
| 一部あり | 1          | 10.0  | 4           | 30.8  |
| なし   | 9          | 90.0  | 7           | 53.8  |
| 合計   | 10         | 100.0 | 13          | 100.0 |

### (4) 利用者数

#### ① 1日あたり

| 人数<br>(以上～未満) | 機能訓練(n=10) |       | 非機能訓練(n=12)<br>(*1) |       |
|---------------|------------|-------|---------------------|-------|
|               | 件数         | %     | 件数                  | %     |
| 1.0名未満        | 1          | 10.0  | 5                   | 41.7  |
| 1.0～4.0名      | 1          | 10.0  | 7                   | 58.3  |
| 4.0～7.0名      | 0          | 0.0   | 0                   | 0.0   |
| 7.0～10.0名     | 3          | 30.0  | 0                   | 0.0   |
| 10.0名以上       | 5          | 50.0  | 0                   | 0.0   |
| 合計            | 10         | 100.0 | 12                  | 100.0 |
| 平均人数(人)       | 10.2       |       | 1.6                 |       |

(\*1)非機能訓練  
前年度実績がない  
1施設は対象外とする

#### ②のべ実人数

| 人数       | 機能訓練(n=10) |       | 非機能訓練(n=10)<br>(*1) |       |
|----------|------------|-------|---------------------|-------|
|          | 件数         | %     | 件数                  | %     |
| 10名以下    | 1          | 10.0  | 0                   | 0.0   |
| 11～29名   | 3          | 30.0  | 0                   | 0.0   |
| 30～49名   | 1          | 10.0  | 2                   | 20.0  |
| 50～69名   | 4          | 40.0  | 2                   | 20.0  |
| 70～89名   | 1          | 10.0  | 0                   | 0.0   |
| 90～109名  | 0          | 0.0   | 1                   | 10.0  |
| 110～129名 | 0          | 0.0   | 2                   | 20.0  |
| 130～149名 | 0          | 0.0   | 0                   | 0.0   |
| 150名以上   | 0          | 0.0   | 3                   | 30.0  |
| 合計       | 10         | 100.0 | 10                  | 100.0 |
| 平均人数(人)  | 42.0       |       | 114.8               |       |

(\*1)非機能訓練  
前年度実績がない  
1施設、回答に信憑性がない2施設  
は対象外とする

### (5) 利用頻度 (1週間あたり)

| 回数/週<br>(以上～未満) | 機能訓練(n=10) |       | 非機能訓練(n=12)<br>(*1) |       |
|-----------------|------------|-------|---------------------|-------|
|                 | 件数         | %     | 件数                  | %     |
| 0.25回未満         | 0          | 0.0   | 0                   | 0.0   |
| 0.25～0.5回       | 0          | 0.0   | 2                   | 16.7  |
| 0.5～0.75回       | 0          | 0.0   | 4                   | 33.3  |
| 0.75～1回         | 0          | 0.0   | 0                   | 0.0   |
| 1～2回            | 4          | 40.0  | 6                   | 50.0  |
| 2～3回            | 2          | 20.0  | 0                   | 0.0   |
| 3～4回            | 3          | 30.0  | 0                   | 0.0   |
| 4回以上            | 1          | 10.0  | 0                   | 0.0   |
| 合計              | 10         | 100.0 | 12                  | 100.0 |
| 平均頻度<br>(回数/週)  | 2.6        |       | 0.8                 |       |

(\*1) 非機能訓練  
1施設は未回答

### (6) 紹介経路

|        | 機能訓練(n=420)<br>(*1) |       | 非機能訓練(n=1,047)<br>(*2) |       | 合計(n=1,467) |       |
|--------|---------------------|-------|------------------------|-------|-------------|-------|
|        | 人数                  | %     | 人数                     | %     | 人数          | %     |
| 医療機関   | 62                  | 14.7  | 111                    | 10.6  | 173         | 11.8  |
| 福祉施設   | 41                  | 9.8   | 95                     | 9.1   | 136         | 9.3   |
| 行政機関   | 47                  | 11.2  | 131                    | 12.5  | 178         | 12.1  |
| 教育機関   | 23                  | 5.5   | 31                     | 3.0   | 54          | 3.7   |
| 当事者団体  | 16                  | 3.8   | 86                     | 8.2   | 102         | 6.9   |
| 相談支援機関 | 78                  | 18.6  | 115                    | 11.0  | 193         | 13.2  |
| 介護保険関係 | 4                   | 0.9   | 32                     | 3.0   | 36          | 2.5   |
| 個人     | 44                  | 10.5  | 288                    | 27.5  | 332         | 22.6  |
| ホームページ | 12                  | 2.8   | 20                     | 1.9   | 32          | 2.2   |
| メディア   | 2                   | 0.5   | 16                     | 1.5   | 18          | 1.2   |
| その他    | 91                  | 21.7  | 122                    | 11.7  | 213         | 14.5  |
| 合計     | 420                 | 100.0 | 1,047                  | 100.0 | 1,467       | 100.0 |

(\*1) 機能訓練 回答があった10施設より集計

(\*2) 非機能訓練 回答があった10施設より集計

## 5. 訓練対応の可否

\* 注意 非機能訓練事業所の母数

対象とした非機能訓練事業所からの回答は、昨年度実績がなしが1施設、無回答が1施設あった。そのため、左表は全体集計（n=13）、右表は実績集計（n=11）として整理を行った。

### (1) 15歳未満

| 全体集計    | 機能訓練<br>(n=10) |       | 非機能訓練<br>(n=13) |       | 実績集計    | 機能訓練<br>(n=10) |     | 非機能訓練<br>(n=11) |      |
|---------|----------------|-------|-----------------|-------|---------|----------------|-----|-----------------|------|
|         | 件数             | %     | 件数              | %     |         | 件数             | %   | 件数              | %    |
| 可能      | 1              | 10.0  | 6               | 46.2  | 「あり」施設数 | 0              | 0.0 | 5               | 45.5 |
| 要相談(*1) | 0              | 0.0   | 6               | 46.2  | 合計      | 0              |     | 11              |      |
| 不可      | 9              | 90.0  | 1               | 7.6   | 平均      | 0.0            |     | 1.0             |      |
| 合計      | 10             | 100.0 | 13              | 100.0 | 最大/最小   | 0              | 0   | 4               | 0    |

(\*1) 主な内容

- ・普通校に通い、盲学校の支援などを受けていない場合
- ・原則不可だが、盲学校在籍者以外は対応を検討
- ・盲学校を紹介した上で協議
- ・要綱（歩行訓練）には年齢制限についての記載がないが、これまでの実績がないため、訓練希望があれば、その都度、都道府県との協議により判断する
- ・療育センターなどと調整
- ・保護者からの申し込みが必要

### (2) 身体障害者手帳未所持

| 全体集計    | 機能訓練<br>(n=10) |       | 非機能訓練<br>(n=13) |       | 実績集計    | 機能訓練<br>(n=10) |      | 非機能訓練<br>(n=11) |      |
|---------|----------------|-------|-----------------|-------|---------|----------------|------|-----------------|------|
|         | 件数             | %     | 件数              | %     |         | 件数             | %    | 件数              | %    |
| 可能      | 2              | 20.0  | 8               | 61.5  | 「あり」施設数 | 1              | 10.0 | 5               | 45.5 |
| 要相談(*1) | 4              | 40.0  | 4               | 30.8  | 合計      | 2              |      | 12              |      |
| 不可      | 4              | 40.0  | 1               | 7.7   | 平均      | 0.2            |      | 1.1             |      |
| 合計      | 10             | 100.0 | 13              | 100.0 | 最大/最小   | 2              | 0    | 5               | 0    |

(\*1) 主な内容

- ・手帳申請予定であること
- ・申請は不可能だが、明らかに不自由をきたしていると思われる場合
- ・訪問訓練は原則不可だが、通所で対応する

### (3) 医療機関に出向いての相談対応・訪問訓練

| 全体集計    | 機能訓練<br>(n=10) |       | 非機能訓練<br>(n=13) |       | 実績集計    | 機能訓練<br>(n=10) |      | 非機能訓練<br>(n=11) |      |
|---------|----------------|-------|-----------------|-------|---------|----------------|------|-----------------|------|
|         | 件数             | %     | 件数              | %     |         | 件数             | %    | 件数              | %    |
| 可能      | 5              | 50.0  | 12              | 92.3  | 「あり」施設数 | 4              | 40.0 | 8               | 72.7 |
| 要相談(*1) | 3              | 30.0  | 1               | 7.7   | 合計      | 32             |      | 47              |      |
| 不可      | 2              | 20.0  | 0               | 0.0   | 平均      | 3.6            |      | 4.3             |      |
| 合計      | 10             | 100.0 | 13              | 100.0 | 最大/最小   | 24   0         |      | 28   0          |      |

(\*1) 主な内容

- ・ 同法人内の病院限定
- ・ 相談のみ対応
- ・ 医療機関と調整が必要

### (4) 片道50km以上または1時間半以上かかる方への訪問訓練

| 全体集計    | 機能訓練<br>(n=10) |       | 非機能訓練<br>(n=13) |       | 実績集計    | 機能訓練<br>(n=10) |      | 非機能訓練<br>(n=11) |      |
|---------|----------------|-------|-----------------|-------|---------|----------------|------|-----------------|------|
|         | 件数             | %     | 件数              | %     |         | 件数             | %    | 件数              | %    |
| 可能      | 4              | 40.0  | 9               | 69.2  | 「あり」施設数 | 5              | 50.0 | 8               | 72.7 |
| 要相談(*1) | 3              | 30.0  | 2               | 15.4  | 合計      | 14             |      | 47              |      |
| 不可      | 3              | 30.0  | 2               | 15.4  | 平均      | 1.4            |      | 4.3             |      |
| 合計      | 10             | 100.0 | 13              | 100.0 | 最大/最小   | 9   0          |      | 12   0          |      |

(\*1) 主な内容

- ・ 緊急度や状況による
- ・ 施設所在の市に在住・在勤の者で、通勤のため市外での歩行訓練が必要な場合
- ・ 契約している自治体のみ
- ・ 2回程度であれば

### (5) 県外に在住

| 全体集計    | 機能訓練<br>(n=10) |       | 非機能訓練<br>(n=13) |       | 実績集計    | 機能訓練<br>(n=10) |      | 非機能訓練<br>(n=11) |      |
|---------|----------------|-------|-----------------|-------|---------|----------------|------|-----------------|------|
|         | 件数             | %     | 件数              | %     |         | 件数             | %    | 件数              | %    |
| 可能      | 8              | 80.0  | 2               | 15.4  | 「あり」施設数 | 8              | 80.0 | 5               | 45.5 |
| 要相談(*1) | 2              | 20.0  | 6               | 46.1  | 合計      | 63             |      | 84              |      |
| 不可      | 0              | 0.0   | 5               | 38.5  | 平均      | 6.3            |      | 7.6             |      |
| 合計      | 10             | 100.0 | 13              | 100.0 | 最大/最小   | 30   0         |      | 78   0          |      |

(\*1) 主な内容

- ・ 相談のみ対応可能
- ・ 近隣の訓練施設がない場合に限る
- ・ 居住地域に支援を受けられる団体がない場合、かつ施設所在地域への通勤・通学に

限る（訓練場所も同様）

- ・住民票は他都道府県だが、施設が所在する都道府県内への勤務・通勤・通所などであれば対応可能
- ・緊急度や状況、必要度による
- ・実績がないため、訓練希望があれば、その都度、県との協議により判断する
- ・来館が可能な者

## （６）県外での訓練

| 全体集計    | 機能訓練<br>(n=10) |       | 非機能訓練<br>(n=13) |       | 実績集計    | 機能訓練<br>(n=10) |      | 非機能訓練<br>(n=11) |      |
|---------|----------------|-------|-----------------|-------|---------|----------------|------|-----------------|------|
|         | 件数             | %     | 件数              | %     |         | 件数             | %    | 件数              | %    |
| 可能      | 4              | 40.0  | 2               | 15.4  | 「あり」施設数 | 4              | 40.0 | 4               | 36.4 |
| 要相談(*1) | 3              | 30.0  | 5               | 38.5  | 合計      | 29             |      | 74              |      |
| 不可      | 3              | 30.0  | 6               | 46.1  | 平均      | 2.9            |      | 6.7             |      |
| 合計      | 10             | 100.0 | 13              | 100.0 | 最大/最小   | 24   0         |      | 70   0          |      |

(\*1)主な内容

- ・訓練終了後に現地でのフォローアップが必要と判断された場合
- ・新規環境、通学、通勤、日帰り圏内など、内容による
- ・緊急度や状況、必要度による
- ・目的地が訓練場所として問題がなく、施設所在の都道府県に隣接している場合
- ・実績がないため、訓練希望があれば、その都度、都道府県との協議により判断する
- ・訓練士の体制による
- ・近隣の訓練施設がない場合に限る

## （７）２週間以内に訓練開始を希望

| 全体集計    | 機能訓練<br>(n=10) |       | 非機能訓練<br>(n=13) |       | 実績集計    | 機能訓練<br>(n=10) |      | 非機能訓練<br>(n=11) |      |
|---------|----------------|-------|-----------------|-------|---------|----------------|------|-----------------|------|
|         | 件数             | %     | 件数              | %     |         | 件数             | %    | 件数              | %    |
| 可能      | 1              | 10.0  | 5               | 38.5  | 「あり」施設数 | 2              | 20.0 | 9               | 81.8 |
| 要相談(*1) | 6              | 60.0  | 8               | 61.5  | 合計      | 7              |      | 192             |      |
| 不可      | 3              | 30.0  | 0               | 0.0   | 平均      | 0.7            |      | 17.5            |      |
| 合計      | 10             | 100.0 | 13              | 100.0 | 最大/最小   | 5   0          |      | 127   0         |      |

(\*1)主な内容

- ・自治体からの受給者証の発行、必要書類の提出、所内での調整が完了すれば可能
- ・職員のスケジュール調整ができれば可能
- ・緊急の対応が必要な場合
- ・必要度により検討
- ・その時の状況によるが、早めに初めの１回は対応できるようにはしている

### (8) 数回で終了する訓練希望

| 全体集計    | 機能訓練<br>(n=10) |       | 非機能訓練<br>(n=13) |       |
|---------|----------------|-------|-----------------|-------|
|         | 件数             | %     | 件数              | %     |
| 可能      | 5              | 50.0  | 13              | 100.0 |
| 要相談(*1) | 5              | 50.0  | 0               | 0.0   |
| 不可      | 0              | 0.0   | 0               | 0.0   |
| 合計      | 10             | 100.0 | 13              | 100.0 |

| 実績集計    | 機能訓練<br>(n=10) |      | 非機能訓練<br>(n=11) |      |
|---------|----------------|------|-----------------|------|
|         | 件数             | %    | 件数              | %    |
| 「あり」施設数 | 5              | 50.0 | 10              | 90.9 |
| 合計      | 14             |      | 373             |      |
| 平均      | 1.4            |      | 33.9            |      |
| 最大/最小   | 7              | 0    | 150             | 0    |

(\*1)主な内容

- ・フォローアップなどの範囲内で行える場合にはフォローアップとして実施
- ・受給者証の交付状況による
- ・相談対応として可能

### (9) 頻度の低い訓練希望

| 全体集計    | 機能訓練<br>(n=10) |       | 非機能訓練<br>(n=13) |       |
|---------|----------------|-------|-----------------|-------|
|         | 件数             | %     | 件数              | %     |
| 可能      | 5              | 50.0  | 13              | 100.0 |
| 要相談(*1) | 4              | 40.0  | 0               | 0.0   |
| 不可      | 1              | 10.0  | 0               | 0.0   |
| 合計      | 10             | 100.0 | 13              | 100.0 |

| 実績集計    | 機能訓練<br>(n=10) |      | 非機能訓練<br>(n=11) |      |
|---------|----------------|------|-----------------|------|
|         | 件数             | %    | 件数              | %    |
| 「あり」施設数 | 3              | 30.0 | 9               | 81.8 |
| 合計      | 4              |      | 33              |      |
| 平均      | 0.4            |      | 3.0             |      |
| 最大/最小   | 2              | 0    | 8               | 0    |

(\*1)主な内容

- ・本人の状況的に頻度を望めず、かつ効果が期待できる場合であれば可能
- ・効果が見込まれること

### (10) フルタイムで就労中

| 全体集計    | 機能訓練<br>(n=10) |       | 非機能訓練<br>(n=13) |       |
|---------|----------------|-------|-----------------|-------|
|         | 件数             | %     | 件数              | %     |
| 可能      | 2              | 20.0  | 10              | 76.9  |
| 要相談(*1) | 5              | 50.0  | 3               | 23.1  |
| 不可      | 3              | 30.0  | 0               | 0.0   |
| 合計      | 10             | 100.0 | 13              | 100.0 |

| 実績集計    | 機能訓練<br>(n=10) |      | 非機能訓練<br>(n=11) |       |
|---------|----------------|------|-----------------|-------|
|         | 件数             | %    | 件数              | %     |
| 「あり」施設数 | 5              | 50.0 | 11              | 100.0 |
| 合計      | 11             |      | 89              |       |
| 平均      | 1.1            |      | 8.1             |       |
| 最大/最小   | 3              | 0    | 50              | 1     |

(\*1)主な内容

- ・平日などで一定の訓練時間の確保ができれば可能
- ・利用時間内に訓練できる場合
- ・職場の時間保障または年休活用
- ・就業時間中の訓練、または早退・休みを取るなどの対応がどの程度可能かによる（それにより訓練内容・回数が限定される場合あり）

- ・支給決定市町村の許可が必要
- ・夜間歩行など
- ・歩行訓練の場合は通勤時間帯で対応

### (11) 高校・大学・盲学校在学中

| 全体集計    | 機能訓練<br>(n=10) |       | 非機能訓練<br>(n=13) |       | 実績集計    | 機能訓練<br>(n=10) |      | 非機能訓練<br>(n=11) |      |
|---------|----------------|-------|-----------------|-------|---------|----------------|------|-----------------|------|
|         | 件数             | %     | 件数              | %     |         | 件数             | %    | 件数              | %    |
| 可能      | 5              | 50.0  | 7               | 53.8  | 「あり」施設数 | 3              | 30.0 | 5               | 45.5 |
| 要相談(*1) | 5              | 50.0  | 6               | 46.2  | 合計      | 4              |      | 15              |      |
| 不可      | 0              | 0.0   | 0               | 0.0   | 平均      | 0.4            |      | 1.4             |      |
| 合計      | 10             | 100.0 | 13              | 100.0 | 最大/最小   | 2   0          |      | 6   0           |      |

#### (\*1) 主な内容

- ・平日などで一定の訓練時間の確保ができれば可能
- ・支給決定市町村の許可が必要
- ・高校・大学在学中は可能（盲学校は理療科在学中で、入学前より関りがある場合は対応している）
- ・盲学校は除く
- ・盲学校などとの相談により、役割分担などの対応を検討
- ・保護者からの希望による

### (12) 2年半を超える訓練

| 全体集計    | 機能訓練<br>(n=10) |       | 非機能訓練<br>(n=13) |       | 実績集計    | 機能訓練<br>(n=10) |     | 非機能訓練<br>(n=11) |      |
|---------|----------------|-------|-----------------|-------|---------|----------------|-----|-----------------|------|
|         | 件数             | %     | 件数              | %     |         | 件数             | %   | 件数              | %    |
| 可能      | 1              | 10.0  | 9               | 69.2  | 「あり」施設数 | 0              | 0.0 | 6               | 54.5 |
| 要相談(*1) | 2              | 20.0  | 4               | 30.8  | 合計      | 0              |     | 55              |      |
| 不可      | 7              | 70.0  | 0               | 0.0   | 平均      | 0.0            |     | 5.0             |      |
| 合計      | 10             | 100.0 | 13              | 100.0 | 最大/最小   | 0   0          |     | 21   0          |      |

#### (\*1) 主な内容

- ・必要を認めた場合
- ・支給決定市町村の許可が必要
- ・実績がないため、訓練希望があれば、その都度、都道府県との協議により判断する
- ・利用者と相談の上で決定

### (13) 急激に視力低下した方の入院から在宅復帰までの支援

| 全体集計    | 機能訓練<br>(n=10) |       | 非機能訓練<br>(n=13) |       | 実績集計    | 機能訓練<br>(n=10) |      | 非機能訓練<br>(n=11) |      |
|---------|----------------|-------|-----------------|-------|---------|----------------|------|-----------------|------|
|         | 件数             | %     | 件数              | %     |         | 件数             | %    | 件数              | %    |
| 可能      | 2              | 20.0  | 11              | 84.6  | 「あり」施設数 | 1              | 10.0 | 2               | 18.2 |
| 要相談(*1) | 4              | 40.0  | 2               | 15.4  | 合計      | 2              |      | 5               |      |
| 不可      | 4              | 40.0  | 0               | 0.0   | 平均      | 0.2            |      | 0.5             |      |
| 合計      | 10             | 100.0 | 13              | 100.0 | 最大/最小   | 2   0          |      | 3   0           |      |

(\*1)主な内容

- ・ 訓練ではなく社会的支援として実施
- ・ 受給者証発行による
- ・ リハビリテーションにかかわる部分を支援
- ・ 医療機関などとの協議が必要

### (14) 復職・一般就労の準備訓練

| 全体集計 | 機能訓練<br>(n=10) |       | 非機能訓練<br>(n=13) |       | 実績集計    | 機能訓練<br>(n=10) |       | 非機能訓練<br>(n=11) |      |
|------|----------------|-------|-----------------|-------|---------|----------------|-------|-----------------|------|
|      | 件数             | %     | 件数              | %     |         | 件数             | %     | 件数              | %    |
| 可能   | 10             | 100.0 | 13              | 100.0 | 「あり」施設数 | 10             | 100.0 | 9               | 81.8 |
| 要相談  | 0              | 0.0   | 0               | 0.0   | 合計      | 80             |       | 20              |      |
| 不可   | 0              | 0.0   | 0               | 0.0   | 平均      | 8.0            |       | 1.8             |      |
| 合計   | 10             | 100.0 | 13              | 100.0 | 最大/最小   | 22   1         |       | 10   0          |      |

### (15) 復職・一般就労に向けた就労支援

| 全体集計    | 機能訓練<br>(n=10) |       | 非機能訓練<br>(n=13) |       | 実績集計    | 機能訓練<br>(n=10) |      | 非機能訓練<br>(n=11) |     |
|---------|----------------|-------|-----------------|-------|---------|----------------|------|-----------------|-----|
|         | 件数             | %     | 件数              | %     |         | 件数             | %    | 件数              | %   |
| 可能      | 9              | 90.0  | 8               | 61.5  | 「あり」施設数 | 9              | 90.0 | 1               | 9.1 |
| 要相談(*1) | 1              | 10.0  | 4               | 30.8  | 合計      | 48             |      | 1               |     |
| 不可      | 0              | 0.0   | 1               | 7.7   | 平均      | 4.8            |      | 0.1             |     |
| 合計      | 10             | 100.0 | 13              | 100.0 | 最大/最小   | 14   0         |      | 1   0           |     |

(\*1)主な内容

- ・ 職場での歩行訓練やPC訓練など
- ・ 就業センターなどとの連携を図りながら対応
- ・ 就労支援施設やハローワークで対応が難しい場合のみ対応（基本的にはこれら機関を紹介する）

### (16) 盲学校進学準備

| 全体集計    | 機能訓練<br>(n=10) |       | 非機能訓練<br>(n=13) |       |
|---------|----------------|-------|-----------------|-------|
|         | 件数             | %     | 件数              | %     |
| 可能      | 10             | 100.0 | 12              | 92.3  |
| 要相談(*1) | 0              | 0.0   | 1               | 7.7   |
| 不可      | 0              | 0.0   | 0               | 0.0   |
| 合計      | 10             | 100.0 | 13              | 100.0 |

| 実績集計    | 機能訓練<br>(n=10) |      | 非機能訓練<br>(n=11) |      |
|---------|----------------|------|-----------------|------|
|         | 件数             | %    | 件数              | %    |
| 「あり」施設数 | 8              | 80.0 | 7               | 63.6 |
| 合計      | 23             |      | 11              |      |
| 平均      | 2.3            |      | 1.0             |      |
| 最大/最小   | 7              | 0    | 3               | 0    |

(\*1)主な内容

- ・普通校からの転入の場合

### (17) 相談支援事業所との連携による支援

| 全体集計 | 機能訓練<br>(n=10) |       | 非機能訓練<br>(n=13) |       |
|------|----------------|-------|-----------------|-------|
|      | 件数             | %     | 件数              | %     |
| 可能   | 10             | 100.0 | 13              | 100.0 |
| 要相談  | 0              | 0.0   | 0               | 0.0   |
| 不可   | 0              | 0.0   | 0               | 0.0   |
| 合計   | 10             | 100.0 | 13              | 100.0 |

| 実績集計    | 機能訓練<br>(n=10) |       | 非機能訓練<br>(n=11) |       |
|---------|----------------|-------|-----------------|-------|
|         | 件数             | %     | 件数              | %     |
| 「あり」施設数 | 10             | 100.0 | 11              | 100.0 |
| 合計      | 236            |       | 80              |       |
| 平均      | 23.6           |       | 7.3             |       |
| 最大/最小   | 60             | 1     | 29              | 1     |

### (18) ケアマネジャー（介護保険）との連携による支援

| 全体集計 | 機能訓練<br>(n=10) |       | 非機能訓練<br>(n=13) |       |
|------|----------------|-------|-----------------|-------|
|      | 件数             | %     | 件数              | %     |
| 可能   | 9              | 90.0  | 13              | 100.0 |
| 要相談  | 1              | 10.0  | 0               | 0.0   |
| 不可   | 0              | 0.0   | 0               | 0.0   |
| 合計   | 10             | 100.0 | 13              | 100.0 |

| 実績集計    | 機能訓練<br>(n=10) |      | 非機能訓練<br>(n=11) |      |
|---------|----------------|------|-----------------|------|
|         | 件数             | %    | 件数              | %    |
| 「あり」施設数 | 4              | 40.0 | 9               | 81.8 |
| 合計      | 12             |      | 46              |      |
| 平均      | 1.2            |      | 4.2             |      |
| 最大/最小   | 5              | 0    | 18              | 0    |

## 6. 所在地（県内）にある他の視覚障害関係機関

|                     | 機能訓練＋非機能(n=23) |      |    |      |
|---------------------|----------------|------|----|------|
|                     | あり             |      | なし |      |
|                     | 件数             | %    | 件数 | %    |
| 機能訓練(視覚障害)施設        | 11             | 47.8 | 12 | 52.2 |
| 機能訓練以外の訓練実施施設・機関    | 18             | 78.3 | 5  | 21.7 |
| 視覚障害者を専門とした相談支援実施機関 | 17             | 73.9 | 6  | 26.1 |

## 7. 地域のロービジョンケアおよびネットワークの状況

|                             | 機能訓練＋非機能(n=23) |      |    |      |
|-----------------------------|----------------|------|----|------|
|                             | あり             |      | なし |      |
|                             | 件数             | %    | 件数 | %    |
| ロービジョンケア実施医療機関              | 20             | 87.0 | 3  | 13.0 |
| 医療従事者向けリーフレット               | 11             | 47.8 | 12 | 52.2 |
| 支援者向けリーフレット                 | 12             | 52.2 | 11 | 47.8 |
| 患者・視覚障害者向けリーフレット            | 16             | 69.6 | 7  | 30.4 |
| 患者紹介・返書のための様式・ツール           | 5              | 21.7 | 18 | 78.3 |
| 医療機関・従事者向けの研修・講習会の実施        | 18             | 78.3 | 5  | 21.7 |
| 相談支援専門員やケアマネを中心とした研修・講習会の実施 | 9              | 39.1 | 14 | 60.9 |
| その他(*1)                     | 3              | 13.0 | 20 | 87.0 |

(\*1) 主な内容

- ・ 視覚障害者の周りにいる関係者を対象とした、視覚障害者への接し方講習会の開催
- ・ 当事者と支援者を対象とするイベントの開催
- ・ 同行援護従業者、福祉職への研修



## 第3章 調査2 視覚障害当事者向け調査 調査結果

# 1 調査概要

## 【調査目的】

- ・ 視覚障害者向け訓練において、①訓練へのつながり方、②訓練効果を調査する目的で、訓練中または訓練後の視覚障害者へ調査を実施した。なお、調査は上記①と②を明確化するために、以下の調査に分け、対象者も調査ごとに分けた。

調査２－１ 訓練施設につながるまでの経緯に関する調査

調査２－２ 訓練前後の生活の変化に関する調査

- ・ 機能訓練事業所と非機能訓練事業所の違いを調査するために、非機能訓練事業所との比較を前提に調査を実施した。

## 【対象者】

- ・ 調査１において依頼を行った下記の訓練施設に対して、それぞれの調査に該当する対象者の選定を依頼した。

調査２－１ 訓練施設につながるまでの経緯に関する調査

対象者：該当施設で訓練を受けた視覚障害者

目標人数：各施設５名（機能：５０名、非機能：６５名）

調査２－２ 訓練前後の生活の変化に関する調査

対象者：該当施設において、平成２８年度から平成２９年度にかけて訓練を終了または終了見込みの視覚障害者

目標人数：各施設５名（機能：５０名、非機能：６５名）

| ブロック | 機能訓練事業所 |      | 非機能訓練事業所 |      |
|------|---------|------|----------|------|
| 北海道  | サンプル A  | 北海道① | サンプル K   | 北海道② |
| 東北   |         |      | サンプル L   | 宮城県  |
| 関東   | サンプル B  | 埼玉県  | サンプル M   | 神奈川県 |
|      | サンプル C  | 神奈川県 |          |      |
| 東京   | サンプル D  | 東京都① | サンプル N   | 東京都② |
| 甲信越  | サンプル E  | 山梨県  | サンプル O   | 福井県  |
| 東海   | サンプル F  | 愛知県  | サンプル P   | 静岡県  |
| 関西   | サンプル G  | 京都府  | サンプル Q   | 兵庫県  |
| 大阪   | サンプル H  | 大阪府① | サンプル R   | 大阪府② |
| 中国   |         |      | サンプル S   | 島根県  |
|      |         |      | サンプル T   | 岡山県  |
| 四国   |         |      | サンプル U   | 高知県  |
| 九州   | サンプル I  | 福岡県① | サンプル V   | 佐賀県  |
|      | サンプル J  | 福岡県② | サンプル W   | 大分県  |

## 【調査方法】

- ・検討委員会において検討を行った調査票（資料集164～166ページ、167～169ページ掲載）を使用して調査を実施した。
- ・調査票への記入は①本人が記入、②訓練士が聞き取りの上で記入、③家族などの支援者が聞き取りの上で記入から選択をし、依頼先施設が調査票を取りまとめた上で、本連合への提出を求めた。
- ・個人情報を伴う調査につき、回答する視覚障害者には調査内容に同意を求め、回答の提出と共に同意書（資料集170ページ）の提出を求めた。

## 【調査期間】

- ・平成29年10月13日～12月15日

## 【回収】

|          | 調査2-1      |            |            | 調査2-2      |            |            |
|----------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|
|          | 回収数<br>(件) | 依頼数<br>(件) | 回収率<br>(%) | 回収数<br>(件) | 依頼数<br>(件) | 回収率<br>(%) |
| 機能訓練事業所  | 50         | 50         | 100.0      | 46         | 50         | 92.0       |
| 非機能訓練事業所 | 60         | 65         | 92.3       | 56         | 65         | 86.2       |
| 合計       | 110        | 115        | 95.6       | 102        | 115        | 88.7       |

## 【回答の傾向（注意点）】

- ・調査1と同じ施設に依頼をしたため、機能訓練については、一部の地方（東北、中国、四国）からの回答はないものの、全国平均を表すには十分な回答数が得られた。
- ・男女比、年齢層とも、訓練を受けている視覚障害者の実態（以下、実態）に概ね近い数値を表している。ただし、75歳以上の後期高齢者は実態よりも少ない人数の回答になっている。
- ・障害等級は1級・2級の重度障害者にやや偏っており、全般的にロービジョン者の回答は少ない傾向であった。
- ・原因疾患は、概ね実態の分布に近い傾向を表している。
- ・約8割の回答者が30分圏内にバス停か駅があると回答しており、訓練施設には公共交通機関を利用して移動することができる回答者が中心であった。なお、最寄り交通機関がないと回答した回答者は約2%になる。

## 【調査結果の掲載方式】

- ・各サンプルから得られた回答を機能訓練と非機能訓練に分けて集計を行い、調査結果として掲載をする。

## 2 調査結果 調査2-1

### 1. 調査対象者のプロフィール

#### (1) 年齢

|     | 機能訓練(n=50) |       | 非機能訓練(n=60) |       | 合計(n=110) |       |
|-----|------------|-------|-------------|-------|-----------|-------|
|     | 件数         | %     | 件数          | %     | 件数        | %     |
| 10代 | 1          | 2.0   | 1           | 1.7   | 2         | 1.8   |
| 20代 | 2          | 4.0   | 2           | 3.3   | 4         | 3.7   |
| 30代 | 3          | 6.0   | 3           | 5.0   | 6         | 5.5   |
| 40代 | 12         | 24.0  | 10          | 16.7  | 22        | 20.0  |
| 50代 | 8          | 16.0  | 16          | 26.7  | 24        | 21.8  |
| 60代 | 17         | 34.0  | 20          | 33.3  | 37        | 33.6  |
| 70代 | 6          | 12.0  | 8           | 13.3  | 14        | 12.7  |
| 80代 | 1          | 2.0   | 0           | 0.0   | 1         | 0.9   |
| 合計  | 50         | 100.0 | 60          | 100.0 | 110       | 100.0 |

#### (2) 性別

|    | 機能訓練(n=50) |       | 非機能訓練(n=60) |       | 合計(n=110) |       |
|----|------------|-------|-------------|-------|-----------|-------|
|    | 件数         | %     | 件数          | %     | 件数        | %     |
| 男性 | 27         | 54.0  | 26          | 43.3  | 53        | 48.2  |
| 女性 | 23         | 46.0  | 34          | 56.7  | 57        | 51.8  |
| 合計 | 50         | 100.0 | 60          | 100.0 | 110       | 100.0 |

#### (3) 手帳等級

|         | 機能訓練(n=50) |       | 非機能訓練(n=60) |       | 合計(n=110) |       |
|---------|------------|-------|-------------|-------|-----------|-------|
|         | 件数         | %     | 件数          | %     | 件数        | %     |
| 1級      | 26         | 52.0  | 41          | 68.3  | 67        | 60.9  |
| 2級      | 19         | 38.0  | 15          | 25.0  | 34        | 30.9  |
| 3級      | 1          | 2.0   | 1           | 1.7   | 2         | 1.8   |
| 4級      | 2          | 4.0   | 0           | 0.0   | 2         | 1.8   |
| 5級      | 2          | 4.0   | 1           | 1.7   | 3         | 2.8   |
| 6級      | 0          | 0.0   | 0           | 0.0   | 0         | 0.0   |
| 未所持・申請中 | 0          | 0.0   | 2           | 3.3   | 2         | 1.8   |
| 合計      | 50         | 100.0 | 60          | 100.0 | 110       | 100.0 |

#### (4) 原因疾患

(複数回答あり)

|         | 機能訓練(n=50) |      | 非機能訓練(n=60) |      | 合計(n=110) |      |
|---------|------------|------|-------------|------|-----------|------|
|         | 件数         | %    | 件数          | %    | 件数        | %    |
| 網膜色素変性症 | 18         | 36.0 | 19          | 31.7 | 37        | 33.6 |
| 緑内障     | 15         | 30.0 | 15          | 25.0 | 30        | 27.3 |
| 糖尿病網膜症  | 5          | 10.0 | 4           | 6.7  | 9         | 8.2  |
| 黄斑変性    | 1          | 2.0  | 0           | 0.0  | 1         | 0.9  |
| その他     | 15         | 30.0 | 24          | 40.0 | 39        | 35.5 |

#### (5) 視力

|           | 機能訓練(n=50) |       | 非機能訓練(n=60) |       | 合計(n=110) |       |
|-----------|------------|-------|-------------|-------|-----------|-------|
|           | 件数         | %     | 件数          | %     | 件数        | %     |
| 0.01 以下   | 22         | 44.0  | 40          | 66.7  | 62        | 56.4  |
| 0.02~0.09 | 16         | 32.0  | 16          | 26.7  | 32        | 29.1  |
| 0.1 以上    | 12         | 24.0  | 4           | 6.6   | 16        | 14.5  |
| 合計        | 50         | 100.0 | 60          | 100.0 | 110       | 100.0 |

#### (6) 同居している家族

(複数回答あり)

|      | 機能訓練(n=50) |      | 非機能訓練(n=60) |      | 合計(n=110) |      |
|------|------------|------|-------------|------|-----------|------|
|      | 件数         | %    | 件数          | %    | 件数        | %    |
| 配偶者  | 23         | 46.0 | 23          | 38.3 | 46        | 41.8 |
| 子    | 18         | 36.0 | 11          | 18.3 | 29        | 26.4 |
| 親    | 14         | 28.0 | 17          | 28.3 | 31        | 28.2 |
| 兄弟姉妹 | 5          | 10.0 | 6           | 10.0 | 11        | 10.0 |
| なし   | 9          | 18.0 | 20          | 33.3 | 29        | 26.4 |
| その他  | 3          | 6.0  | 2           | 3.3  | 5         | 4.5  |

## 2. 訓練施設につながるまでの経緯

\* 注意 発症時期、訓練開始などの設問については集計データをもとに作成した内容を次項に掲載する。

### (1) 医療機関から受けた情報提供の内容 (複数回答あり)

|                 | 機能+非機能(n=110) |      |
|-----------------|---------------|------|
|                 | 件数            | %    |
| 身体障害者手帳の申請方法    | 54            | 49.1 |
| 受けられる福祉サービス     | 18            | 16.4 |
| 補装具や日常生活用具の品目   | 24            | 21.8 |
| 補装具や日常生活用具の申請方法 | 16            | 14.5 |
| 障害年金            | 16            | 14.5 |
| 生活上の困りごとの相談窓口   | 11            | 10.0 |
| 訓練施設や訓練の内容      | 17            | 15.5 |
| なし              | 33            | 30.0 |
| その他(*1)         | 6             | 5.5  |
| 無回答             | 3             | 2.7  |

(\*1) 眼疾患について、生命保険手続き、パソコン・携帯教室の予約 など

### (2) 医療機関から紹介された機関 (複数回答あり)

|                    | 機能+非機能(n=110) |      |                |      |
|--------------------|---------------|------|----------------|------|
|                    | ①紹介された機関      |      | ②紹介されて実際に行った機関 |      |
|                    | 件数            | %    | 件数             | %    |
| 役所(福祉課)            | 46            | 41.8 | 49             | 44.5 |
| 他の医療機関             | 6             | 5.5  | 7              | 6.4  |
| 訓練施設               | 19            | 17.3 | 17             | 15.5 |
| 盲学校                | 13            | 11.8 | 11             | 10.0 |
| 点字図書館・視聴覚障害者情報提供施設 | 9             | 8.2  | 8              | 7.3  |
| 当事者団体              | 12            | 10.9 | 8              | 7.3  |
| 用具等の販売業者           | 10            | 9.1  | 5              | 4.5  |
| 介護保険関係機関           | 4             | 3.6  | 2              | 1.8  |
| 相談支援機関(障害福祉)       | 5             | 4.5  | 4              | 3.6  |
| なし                 | 41            | 37.3 | 44             | 40.0 |
| その他                | 4(*1)         | 3.6  | 5(*2)          | 4.5  |
| 無回答                | 3             | 2.7  | 0              | 0.0  |

(\*1) 特定疾患についての情報提供、ロービジョンケアができる医療機関・専門家、生活保護窓口

(\*2) 保健所、生活保護窓口、ロービジョンケアができる医療機関

### (3) 行政から情報提供を受けた内容（身障手帳申請時）

（複数回答あり）

|                 | 機能＋非機能(n=110) |      |
|-----------------|---------------|------|
|                 | 件数            | %    |
| 身体障害者手帳の申請方法    | 61            | 55.5 |
| 受けられる福祉サービス     | 52            | 47.3 |
| 補装具や日常生活用具の品目   | 36            | 32.7 |
| 補装具や日常生活用具の申請方法 | 37            | 33.6 |
| 障害年金            | 26            | 23.6 |
| 生活上の困りごとの相談窓口   | 22            | 20.0 |
| 訓練施設や訓練の内容      | 15            | 13.6 |
| なし              | 22            | 20.0 |
| その他(*1)         | 13            | 11.8 |
| 無回答             | 0             | 0.0  |

(\*1) 福祉のしおりを渡されて「困ったときには連絡を」と説明された、幼少期に親が申請したため詳細不明、手帳の等級が上がったときに教えてもらった、補装具は説明されたが日常生活用具は説明がなかった、点字の勉強ができる場所 など

### (4) 行政から紹介を受けた機関（身障手帳申請時）

（複数回答あり）

|                    | 機能＋非機能(n=110) |      |                    |      |
|--------------------|---------------|------|--------------------|------|
|                    | ①紹介された機関      |      | ②紹介されて<br>実際に行った機関 |      |
|                    | 件数            | %    | 件数                 | %    |
| 役所(福祉課)            | 17            | 15.5 | 15                 | 13.6 |
| 他の医療機関             | 3             | 2.7  | 1                  | 0.9  |
| 訓練施設               | 13            | 11.8 | 11                 | 10.0 |
| 盲学校                | 5             | 4.5  | 3                  | 2.7  |
| 点字図書館・視聴覚障害者情報提供施設 | 10            | 9.1  | 7                  | 6.4  |
| 当事者団体              | 7             | 6.4  | 5                  | 4.5  |
| 用具などの販売業者          | 12            | 10.9 | 9                  | 8.2  |
| 介護保険関係機関           | 3             | 2.7  | 1                  | 0.9  |
| 相談支援機関(障害福祉)       | 13            | 11.8 | 13                 | 11.8 |
| なし                 | 59            | 53.6 | 63                 | 57.3 |
| その他                | 8(*1)         | 7.3  | 2(*2)              | 1.8  |
| 無回答                | 0             | 0.0  | 6                  | 5.5  |

(\*1) ボランティア、同行援護事業所。なお、紹介先ではない内容（こちらから聞いたから教えてくれた、自分で探せと言われた）なども含まれている。

(\*2) ボランティアなど

(5) 訓練施設を紹介してくれた機関・媒体 (複数回答あり)

|                    | 機能＋非機能(n=110) |      |
|--------------------|---------------|------|
|                    | 件数            | %    |
| 医療機関               | 22            | 20.0 |
| 福祉施設               | 12            | 10.9 |
| 行政機関(ハローワーク含む)     | 21            | 19.1 |
| 教育機関(盲学校、大学など)     | 6             | 5.5  |
| 当事者団体              | 14            | 12.7 |
| 相談支援機関(障害福祉)       | 22            | 20.0 |
| 介護保険関係機関           | 1             | 0.9  |
| 個人(家族、友人、口コミなど)    | 26            | 23.6 |
| ホームページ             | 10            | 9.1  |
| メディア(テレビ、ラジオ、新聞など) | 4             | 3.6  |
| その他(*1)            | 9             | 8.2  |
| 無回答                | 4             | 3.6  |

(\*1) 福祉用具業者、パンフレット、点字サークル、会社、ボランティア、ロービジョンケア施設、当事者団体会報 など

(6) 初めて相談した施設での訓練

① 初めて相談をした施設での訓練実施の有無

|              | 機能＋非機能(n=110) |      |
|--------------|---------------|------|
|              | 件数            | %    |
| 訓練を受けなかった    | 14            | 12.7 |
| 訓練を受けた、受けている | 96            | 87.3 |

② 受けなかった理由

(複数回答あり)

|                             | 機能＋非機能(n=14) |       |
|-----------------------------|--------------|-------|
|                             | 件数           | %(*1) |
| 手続きが煩雑・時間がかかるから             | 0            | 0.0   |
| 希望する内容の訓練を実施していなかったから       | 1            | 0.9   |
| 希望する方法(通い・訪問など)で対応してもらえないから | 0            | 0.0   |
| 希望する回数・頻度で実施してくれないから        | 1            | 0.9   |
| 自宅から遠かったから、交通費がかかるから        | 4            | 3.6   |
| 相談対応に不満があったから               | 1            | 0.9   |
| 気持ちがまだ訓練に向かなかったから           | 1            | 0.9   |
| その他(*2)                     | 9            | 8.2   |

(\*1) 割合は回答総数(n=110)より算出する

(\*2) 複数の施設で訓練を受けている、訓練を実施していなかったから、用具を見に行っただけだったから など

## (7) 訓練施設に行こうという気持ちになった理由

|   | 機能＋非機能(n=110) |       |
|---|---------------|-------|
|   | 件数            | %     |
| 医者に勧められたから                                | 6             | 5.5   |
| 医者以外の病院関係者(看護師、視能訓練士、医療ソーシャルワーカー)に勧められたから | 4             | 3.6   |
| 家族に勧められたから                                | 8             | 7.3   |
| 友人や知人に勧められたから                             | 10            | 9.1   |
| 役所で勧められたから                                | 1             | 0.9   |
| ケアマネや相談支援員に勧められたから                        | 5             | 4.5   |
| 白杖などの用具を購入したときに勧められたから                    | 3             | 2.7   |
| 訓練施設の職員とイベント等施設外で会う機会があったから               | 3             | 2.7   |
| ハローワークで言われたから                             | 1             | 0.9   |
| 会社(上司)から言われたから                            | 2             | 1.8   |
| 自分が困りごとを解決したいと思ったから                       | 52            | 47.3  |
| その他(*1)                                   | 8             | 7.3   |
| 無回答                                       | 7             | 6.4   |
| 合計  | 110           | 100.0 |

(\*1) 単独歩行をしたかったから、福祉用具業者に勧められたから、教員に勧められたから、社会復帰しなければならないから、ボランティアに勧められたから

## (8) 訓練施設の情報 適切と思う情報提供のタイミング

(複数回答あり)

|                                  | 機能＋非機能<br>(n=110) |      |
|----------------------------------|-------------------|------|
|                                  | 件数                | %    |
| 眼科(医療機関)で見え方の改善が見込めないと言われたとき     | 72                | 65.5 |
| 眼科(医療機関)で身障手帳の取得を勧められたとき         | 33                | 30.0 |
| 仕事の継続が困難となり、産業医と面接したとき           | 29                | 26.4 |
| 行政機関で身障手帳の申請をしたとき                | 47                | 42.7 |
| 行政機関で身障手帳を渡されたとき                 | 36                | 32.7 |
| 実際に福祉サービスを使うために行政機関に相談や手続きに行ったとき | 37                | 33.6 |
| その他(*1) (*2)                     | 13                | 11.8 |
| 無回答                              | 3                 | 2.7  |

(\*1) 眼鏡店で眼鏡を作り替えるとき、もう少し見えているとき、用具購入時 など

(\*2) 情報提供に関する意見や要望も少数含まれていた。主な内容：メディアを通して日常的に耳に入るようにする、医療機関・行政機関などの窓口にパンフレットを置いて欲しい、見えにくさが増してきたときに教えて欲しい など

### 3. 訓練施設につながるまでの経緯

#### (1) 手帳取得（最終更新）から相談までの期間

|             | 機能訓練(n=50) |       | 非機能訓練(n=60) |       | 合計(n=110) |       |
|-------------|------------|-------|-------------|-------|-----------|-------|
|             | 件数         | %     | 件数          | %     | 件数        | %     |
| 1年未満        | 14         | 28.0  | 10          | 16.7  | 24        | 21.8  |
| 1年以上2年未満    | 5          | 10.0  | 4           | 6.7   | 9         | 8.2   |
| 2年以上3年未満    | 1          | 2.0   | 3           | 5.0   | 4         | 3.6   |
| 3年以上10年未満   | 13         | 26.0  | 14          | 23.3  | 27        | 24.5  |
| 10年以上       | 9          | 18.0  | 16          | 26.7  | 25        | 22.7  |
| 相談後手帳取得(更新) | 8          | 16.0  | 8           | 13.3  | 16        | 14.6  |
| 無効回答        | 0          | 0.0   | 5           | 8.3   | 5         | 4.6   |
| 合計          | 50         | 100.0 | 60          | 100.0 | 110       | 100.0 |

#### (2) 手帳取得（最終更新）から訓練開始までの期間

|             | 機能訓練(n=50) |       | 非機能訓練(n=60) |       | 合計(n=110) |       |
|-------------|------------|-------|-------------|-------|-----------|-------|
|             | 件数         | %     | 件数          | %     | 件数        | %     |
| 1年未満        | 12         | 24.0  | 9           | 15.0  | 21        | 19.1  |
| 1年以上2年未満    | 6          | 12.0  | 5           | 8.3   | 11        | 10.0  |
| 2年以上3年未満    | 4          | 8.0   | 2           | 3.4   | 6         | 5.5   |
| 3年以上10年未満   | 12         | 24.0  | 14          | 23.3  | 26        | 23.6  |
| 10年以上       | 13         | 26.0  | 19          | 31.7  | 32        | 29.1  |
| 相談後手帳取得(更新) | 3          | 6.0   | 5           | 8.3   | 8         | 7.2   |
| 無効回答        | 0          | 0.0   | 6           | 10.0  | 6         | 5.5   |
| 合計          | 50         | 100.0 | 60          | 100.0 | 110       | 100.0 |

#### (3) 相談から訓練開始までの期間

|           | 機能訓練(n=50) |       | 非機能訓練(n=60) |       | 合計(n=110) |       |
|-----------|------------|-------|-------------|-------|-----------|-------|
|           | 件数         | %     | 件数          | %     | 件数        | %     |
| 1年未満      | 4          | 8.0   | 18          | 30.0  | 22        | 20.0  |
| 1年以上2年未満  | 15         | 30.0  | 17          | 28.3  | 32        | 29.1  |
| 2年以上3年未満  | 12         | 24.0  | 6           | 10.0  | 18        | 16.3  |
| 3年以上10年未満 | 10         | 20.0  | 2           | 3.4   | 12        | 10.9  |
| 10年以上     | 8          | 16.0  | 12          | 20.0  | 20        | 18.2  |
| 無効回答      | 1          | 2.0   | 5           | 8.3   | 6         | 5.5   |
| 合計        | 50         | 100.0 | 60          | 100.0 | 110       | 100.0 |

### 3 調査結果 調査2-2

#### 1. 調査対象者のプロフィール

##### (1) 年齢

|     | 機能訓練(n=46) |       | 非機能訓練(n=56) |       | 合計(n=102) |       |
|-----|------------|-------|-------------|-------|-----------|-------|
|     | 件数         | %     | 件数          | %     | 件数        | %     |
| 10代 | 0          | 0.0   | 0           | 0.0   | 0         | 0.0   |
| 20代 | 0          | 0.0   | 3           | 5.4   | 3         | 2.9   |
| 30代 | 7          | 15.2  | 6           | 10.7  | 13        | 12.7  |
| 40代 | 15         | 32.6  | 8           | 14.3  | 23        | 22.6  |
| 50代 | 8          | 17.4  | 12          | 21.4  | 20        | 19.6  |
| 60代 | 12         | 26.1  | 18          | 32.1  | 30        | 29.4  |
| 70代 | 4          | 8.7   | 9           | 16.1  | 13        | 12.8  |
| 80代 | 0          | 0.0   | 0           | 0.0   | 0         | 0.0   |
| 合計  | 46         | 100.0 | 56          | 100.0 | 102       | 100.0 |

##### (2) 性別

|    | 機能訓練(n=46) |       | 非機能訓練(n=56) |       | 合計(n=102) |       |
|----|------------|-------|-------------|-------|-----------|-------|
|    | 件数         | %     | 件数          | %     | 件数        | %     |
| 男性 | 24         | 52.2  | 24          | 42.9  | 48        | 47.1  |
| 女性 | 22         | 47.8  | 32          | 57.1  | 54        | 52.9  |
| 合計 | 46         | 100.0 | 56          | 100.0 | 102       | 100.0 |

##### (3) 手帳等級

|         | 機能訓練(n=46) |       | 非機能訓練(n=56) |       | 合計(n=102) |       |
|---------|------------|-------|-------------|-------|-----------|-------|
|         | 件数         | %     | 件数          | %     | 件数        | %     |
| 1級      | 21         | 45.7  | 29          | 51.8  | 50        | 49.0  |
| 2級      | 20         | 43.5  | 26          | 46.4  | 46        | 45.1  |
| 3級      | 5          | 10.8  | 1           | 1.8   | 6         | 5.9   |
| 4級      | 0          | 0.0   | 0           | 0.0   | 0         | 0.0   |
| 5級      | 0          | 0.0   | 0           | 0.0   | 0         | 0.0   |
| 6級      | 0          | 0.0   | 0           | 0.0   | 0         | 0.0   |
| 未所持・申請中 | 0          | 0.0   | 0           | 0.0   | 0         | 0.0   |
| 合計      | 46         | 100.0 | 56          | 100.0 | 102       | 100.0 |

#### (4) 原因疾患

|         | 機能訓練(n=46) |       | 非機能訓練(n=56) |       | 合計(n=102) |       |
|---------|------------|-------|-------------|-------|-----------|-------|
|         | 件数         | %     | 件数          | %     | 件数        | %     |
| 網膜色素変性症 | 20         | 43.5  | 18          | 32.1  | 38        | 37.3  |
| 緑内障     | 6          | 13.0  | 13          | 23.2  | 19        | 18.6  |
| 糖尿病網膜症  | 4          | 8.7   | 2           | 3.6   | 6         | 5.9   |
| 黄斑変性    | 2          | 4.4   | 1           | 1.8   | 3         | 2.9   |
| その他     | 14         | 30.4  | 22          | 39.3  | 36        | 35.3  |
| 合計      | 46         | 100.0 | 56          | 100.0 | 102       | 100.0 |

#### (5) 視力

|           | 機能訓練(n=46) |       | 非機能訓練(n=56) |       | 合計(n=102) |       |
|-----------|------------|-------|-------------|-------|-----------|-------|
|           | 件数         | %     | 件数          | %     | 件数        | %     |
| 0.01 以下   | 16         | 34.8  | 33          | 58.9  | 49        | 48.0  |
| 0.02~0.09 | 20         | 43.5  | 18          | 32.2  | 38        | 37.3  |
| 0.1 以上    | 10         | 21.7  | 5           | 8.9   | 15        | 14.7  |
| 合計        | 46         | 100.0 | 56          | 100.0 | 102       | 100.0 |

#### ※訓練開始後の視力

|           | 機能訓練(n=46) |      | 非機能訓練(n=56) |      | 合計(n=102) |      |
|-----------|------------|------|-------------|------|-----------|------|
|           | 件数         | %    | 件数          | %    | 件数        | %    |
| 0.01 以下   | 18         | 39.1 | 30          | 53.6 | 48        | 47.1 |
| 0.02~0.09 | 17         | 37.0 | 17          | 30.4 | 34        | 33.3 |
| 0.1 以上    | 10         | 21.7 | 6           | 10.7 | 16        | 15.7 |
| 無回答       | 1          | 2.2  | 3           | 5.3  | 4         | 3.9  |
| 合計        | 46         | 100  | 56          | 100  | 102       | 100  |

#### (6) 同居している家族

(複数回答あり)

|      | 機能訓練+非機能訓練(n=102) |      |
|------|-------------------|------|
|      | 件数                | %    |
| 配偶者  | 44                | 43.1 |
| 子    | 20                | 19.6 |
| 親    | 20                | 19.6 |
| 兄弟姉妹 | 9                 | 8.8  |
| なし   | 31                | 30.4 |
| その他  | 3                 | 2.9  |
| 無回答  | 3                 | 2.9  |

### (7) 最寄りの交通機関

|       | 機能訓練＋非機能訓練(n=102) |       |
|-------|-------------------|-------|
|       | 件数                | %     |
| 電車・バス | 20                | 19.6  |
| 電車    | 27                | 26.5  |
| バス    | 49                | 48.0  |
| なし    | 2                 | 2.0   |
| 無回答   | 4                 | 3.9   |
| 合計    | 102               | 100.0 |

### ※最寄り交通機関までの所要時間

|            | 電車利用者(n=47) |       | バス利用者(n=69) |       |
|------------|-------------|-------|-------------|-------|
|            | 件数          | %     | 件数          | %     |
| 10分未満      | 17          | 36.2  | 39          | 56.5  |
| 10分以上30分未満 | 23          | 48.9  | 24          | 34.8  |
| 30分以上      | 6           | 12.8  | 4           | 5.8   |
| 無回答        | 1           | 2.1   | 2           | 2.9   |
| 合計         | 47          | 100.0 | 69          | 100.0 |

## 2. 訓練前後の状況の変化について

### (1) 実施した訓練

#### ①機能訓練 (n=46)

|              | 人数 | %    | 平均回数 | 最小 | 最大  |
|--------------|----|------|------|----|-----|
| 歩行訓練         | 43 | 93.5 | 33.4 | 4  | 113 |
| パソコン訓練       | 39 | 84.8 | 82.1 | 1  | 404 |
| 点字訓練         | 33 | 71.7 | 66.2 | 1  | 279 |
| ADL訓練        | 36 | 78.3 | 24.5 | 1  | 138 |
| ロービジョン訓練     | 18 | 39.1 | 12.2 | 1  | 25  |
| PC以外の機器の操作訓練 | 33 | 71.7 | 20.1 | 1  | 230 |
| その他(*1)      | 16 | 34.8 | 93.7 | 2  | 375 |
| 無回答          | 0  | 0.0  |      |    |     |

(\*1) ハンドライティング、スポーツ・教養・美術工芸・感覚訓練、電話対応

#### ②非機能訓練 (n=56)

|              | 人数 | %    | 平均回数 | 最小 | 最大 |
|--------------|----|------|------|----|----|
| 歩行訓練         | 43 | 76.8 | 18.3 | 1  | 80 |
| パソコン訓練       | 22 | 39.3 | 16.1 | 1  | 60 |
| 点字訓練         | 11 | 19.6 | 12.3 | 1  | 33 |
| ADL訓練        | 14 | 25.0 | 6.4  | 1  | 18 |
| ロービジョン訓練     | 9  | 16.1 | 3.9  | 1  | 10 |
| PC以外の機器の操作訓練 | 18 | 32.1 | 4.6  | 1  | 17 |
| その他(*1)      | 9  | 16.1 | 2.1  | 1  | 9  |
| 無回答          | 3  | 5.4  |      |    |    |

(\*1) 盲導犬、ハンドライティング、相談、アセスメント

#### ③合計 (①+②) (n=102)

|              | 人数 | %    | 平均回数 | 最小 | 最大  |
|--------------|----|------|------|----|-----|
| 歩行訓練         | 86 | 84.3 | 25.9 | 1  | 113 |
| パソコン訓練       | 61 | 59.8 | 58.3 | 1  | 404 |
| 点字訓練         | 44 | 43.1 | 52.7 | 1  | 279 |
| ADL訓練        | 50 | 49.0 | 19.4 | 1  | 138 |
| ロービジョン訓練     | 27 | 26.5 | 9.7  | 1  | 25  |
| PC以外の機器の操作訓練 | 51 | 50.0 | 14.5 | 1  | 230 |
| その他          | 25 | 24.5 | 63.2 | 1  | 375 |
| 無回答          | 3  | 2.9  |      |    |     |

## (2) 訓練期間

|         | 機能訓練(n=46) |       | 非機能訓練(n=56) |       | 合計(n=102) |       |
|---------|------------|-------|-------------|-------|-----------|-------|
|         | 件数         | %     | 件数          | %     | 件数        | %     |
| 1か月未満   | 0          | 0.0   | 0           | 0.0   | 0         | 0.0   |
| 1～3か月   | 2          | 4.4   | 13          | 23.2  | 15        | 14.7  |
| 4～6か月   | 7          | 15.2  | 8           | 14.3  | 15        | 14.7  |
| 7～9か月   | 10         | 21.7  | 10          | 17.9  | 20        | 19.6  |
| 10～12か月 | 6          | 13.0  | 6           | 10.7  | 12        | 11.7  |
| 13～18か月 | 13         | 28.3  | 3           | 5.4   | 16        | 15.6  |
| 19～24か月 | 5          | 10.9  | 3           | 5.4   | 8         | 7.9   |
| 25か月以上  | 3          | 6.5   | 5           | 8.9   | 8         | 7.9   |
| 無回答     | 0          | 0.0   | 8           | 14.2  | 8         | 7.9   |
| 合計      | 46         | 100.0 | 56          | 100.0 | 102       | 100.0 |
| 平均(月)   | 13.0       |       | 15.0        |       | 14.0      |       |

## (3) 訓練回数 (トータル)

|           | 機能訓練(n=46) |       | 非機能訓練(n=56) |       | 合計(n=102) |       |
|-----------|------------|-------|-------------|-------|-----------|-------|
|           | 件数         | %     | 件数          | %     | 件数        | %     |
| 10回以下     | 2          | 4.3   | 16          | 28.6  | 18        | 17.6  |
| 11回～30回   | 1          | 2.2   | 17          | 30.4  | 18        | 17.6  |
| 31回～50回   | 4          | 8.7   | 11          | 19.6  | 15        | 14.7  |
| 51回～80回   | 4          | 8.7   | 5           | 8.9   | 9         | 8.8   |
| 81回～110回  | 6          | 13.0  | 3           | 5.4   | 9         | 8.8   |
| 111回～140回 | 2          | 4.3   | 0           | 0.0   | 2         | 2.0   |
| 141回～170回 | 5          | 10.9  | 0           | 0.0   | 5         | 4.9   |
| 171回～200回 | 6          | 13.0  | 0           | 0.0   | 6         | 5.9   |
| 201回以上    | 16         | 34.9  | 0           | 0.0   | 16        | 15.7  |
| 無回答       | 0          | 0.0   | 4           | 7.1   | 4         | 4.0   |
| 合計        | 46         | 100.0 | 56          | 100.0 | 102       | 100.0 |
| 平均(回)     | 218.8      |       | 28.8        |       | 117.9     |       |

(4) 訓練前後の道具や機器の使用状況、サービスの利用状況の変化 (n=102)

|                 | 訓練前<br>「あり」<br>の人数 | %(A) | 訓練後<br>「あり」<br>の人数 | %(B) | UP 率<br>(B-A) |
|-----------------|--------------------|------|--------------------|------|---------------|
| 「適切な」白杖の所持      | 33                 | 32.4 | 93                 | 91.2 | 58.8          |
| 遮光レンズの使用        | 38                 | 37.3 | 63                 | 61.8 | 24.5          |
| 拡大読書器の使用        | 23                 | 22.5 | 33                 | 32.4 | 9.9           |
| 録音機器            | 31                 | 30.4 | 73                 | 71.6 | 41.2          |
| 音声時計の使用         | 34                 | 33.3 | 54                 | 52.9 | 19.6          |
| 携帯電話・スマートフォンの使用 | 77                 | 75.5 | 90                 | 88.2 | 12.7          |
| パソコンの使用         | 39                 | 38.2 | 70                 | 68.6 | 30.4          |
| インターネットの利用      | 40                 | 39.2 | 70                 | 68.6 | 29.4          |
| 点字を書く道具         | 20                 | 19.6 | 43                 | 42.2 | 22.6          |
| ピンディスプレイ        | 5                  | 4.9  | 10                 | 9.8  | 4.9           |
| 同行援護の利用         | 28                 | 27.5 | 59                 | 57.8 | 30.3          |
| 日中サービス          | 21                 | 20.6 | 44                 | 43.1 | 22.5          |

(5) 訓練前後の技術的な変化

① 訓練前における「できない」と「不満足」(n=102)

|   |                    | 訓練前<br>「できない」<br>(*1) | %    | 訓練前<br>「不満足」<br>(*2) | %    |
|---|--------------------|-----------------------|------|----------------------|------|
| A | 自宅などよく知っている屋内の移動   | 7                     | 6.9  | 18                   | 17.6 |
|   | 屋外をよく知っている場所の移動    | 46                    | 45.1 | 51                   | 50.0 |
|   | 初めての場所や不慣れな場所の移動   | 77                    | 75.5 | 76                   | 74.5 |
|   | 階段やエスカレーターの利用      | 35                    | 34.3 | 53                   | 52.0 |
|   | 交差点横断や信号判断         | 59                    | 57.8 | 63                   | 61.8 |
|   | 公共交通機関の利用          | 53                    | 52.0 | 56                   | 54.9 |
|   | 混雑した場所の移動          | 69                    | 67.6 | 69                   | 67.6 |
|   | 夜間の移動              | 73                    | 71.6 | 71                   | 69.6 |
| B | 書類(郵便物や請求書など)を読む   | 68                    | 66.7 | 73                   | 71.6 |
|   | 新聞・雑誌・書籍を読む        | 70                    | 68.6 | 67                   | 65.7 |
|   | メモをとる(録音など含む)      | 50                    | 49.0 | 58                   | 56.9 |
|   | メールを書く             | 46                    | 45.1 | 50                   | 49.0 |
|   | 文章を書く              | 52                    | 51.0 | 53                   | 52.0 |
|   | ホームページを見る・検索する     | 58                    | 56.9 | 59                   | 57.8 |
| C | 整容(髭剃り、化粧、爪切りなど)   | 20                    | 19.6 | 32                   | 31.4 |
|   | 衣類の選択・管理をする        | 24                    | 23.5 | 36                   | 35.3 |
|   | 料理をする              | 42                    | 41.2 | 48                   | 47.1 |
|   | 洗濯をする              | 16                    | 15.7 | 22                   | 21.6 |
|   | お茶・コーヒーを入れる        | 27                    | 26.5 | 35                   | 34.3 |
|   | 薬の管理、服薬            | 17                    | 16.7 | 18                   | 17.6 |
|   | 持ち物の区別・整理・管理       | 17                    | 16.7 | 26                   | 25.5 |
|   | お金の弁別・支払い          | 23                    | 22.5 | 36                   | 35.3 |
|   | 金融機関の利用            | 38                    | 37.3 | 45                   | 44.1 |
|   | 時間の把握              | 10                    | 9.8  | 13                   | 12.7 |
|   | 電話をかける・うける         | 11                    | 10.8 | 14                   | 13.7 |
|   | 買い物                | 36                    | 35.3 | 45                   | 44.1 |
| D | 会話を楽しむ             | 12                    | 11.8 | 15                   | 14.7 |
|   | 趣味・余暇活動を楽しむ        | 42                    | 41.2 | 45                   | 44.1 |
|   | 仕事をする              | 50                    | 49.0 | 47                   | 46.1 |
|   | 近所の人や見えていた時の友人との交流 | 30                    | 29.4 | 34                   | 33.3 |
|   | 他の視覚障害の方との交流       | 54                    | 52.9 | 45                   | 44.1 |

(\*1) 4段階評価における「どちらかといえばできない」「できない」の合算

(\*2) 4段階評価における「やや不満」「不満」の合算

## ②訓練前後での「できる」の変化 (n=102)

|              |                    | 訓練前<br>「できる」<br>(*1) | %<br>(A) | 訓練後<br>「できる」<br>(*1) | %<br>(B) | UP 率<br>(B-A) |
|--------------|--------------------|----------------------|----------|----------------------|----------|---------------|
| A            | 自宅などよく知っている屋内の移動   | 93                   | 91.2     | 99                   | 97.1     | 5.9           |
|              | 屋外をよく知っている場所の移動    | 54                   | 52.9     | 93                   | 91.2     | 38.3          |
|              | 初めての場所や不慣れな場所の移動   | 24                   | 23.5     | 55                   | 53.9     | 30.4          |
|              | 階段やエスカレーターの利用      | 65                   | 63.7     | 93                   | 91.2     | 27.5          |
|              | 交差点横断や信号判断         | 42                   | 41.2     | 84                   | 82.4     | 41.2          |
|              | 公共交通機関の利用          | 47                   | 46.1     | 84                   | 82.4     | 36.3          |
|              | 混雑した場所の移動          | 31                   | 30.4     | 65                   | 63.7     | 33.3          |
|              | 夜間の移動              | 26                   | 25.5     | 53                   | 52.0     | 26.5          |
| B            | 書類(郵便物や請求書など)を読む   | 28                   | 27.5     | 42                   | 41.2     | 13.7          |
|              | 新聞・雑誌・書籍を読む        | 26                   | 25.5     | 50                   | 49.0     | 23.5          |
|              | メモをとる(録音など含む)      | 46                   | 45.1     | 71                   | 69.6     | 24.5          |
|              | メールを書く             | 50                   | 49.0     | 75                   | 73.5     | 24.5          |
|              | 文章を書く              | 43                   | 42.2     | 71                   | 69.6     | 27.4          |
|              | ホームページを見る・検索する     | 37                   | 36.3     | 59                   | 57.8     | 21.5          |
| C            | 整容(髭剃り、化粧、爪切りなど)   | 75                   | 73.5     | 79                   | 77.5     | 4.0           |
|              | 衣類の選択・管理をする        | 71                   | 69.6     | 75                   | 73.5     | 3.9           |
|              | 料理をする              | 53                   | 52.0     | 64                   | 62.7     | 10.7          |
|              | 洗濯をする              | 79                   | 77.5     | 85                   | 83.3     | 5.8           |
|              | お茶・コーヒーを入れる        | 66                   | 64.7     | 77                   | 75.5     | 10.8          |
|              | 薬の管理、服薬            | 78                   | 76.5     | 85                   | 83.3     | 6.8           |
|              | 持ち物の区別・整理・管理       | 78                   | 76.5     | 84                   | 82.4     | 5.9           |
|              | お金の弁別・支払い          | 73                   | 71.6     | 85                   | 83.3     | 11.7          |
|              | 金融機関の利用            | 55                   | 53.9     | 58                   | 56.9     | 3.0           |
|              | 時間の把握              | 85                   | 83.3     | 92                   | 90.2     | 6.9           |
|              | 電話をかける・うける         | 84                   | 82.4     | 89                   | 87.3     | 4.9           |
| D            | 買い物                | 59                   | 57.8     | 72                   | 70.6     | 12.8          |
|              | 会話を楽しむ             | 83                   | 81.4     | 92                   | 90.2     | 8.8           |
|              | 趣味・余暇活動を楽しむ        | 54                   | 52.9     | 80                   | 78.4     | 25.5          |
|              | 仕事をする              | 41                   | 40.2     | 47                   | 46.1     | 5.9           |
|              | 近所の人や見えていた時の友人との交流 | 65                   | 63.7     | 68                   | 66.7     | 3.0           |
| 他の視覚障害の方との交流 | 38                 | 37.3                 | 83       | 81.4                 | 44.1     |               |

(\*1) 4段階評価における「できる」「どちらかと言えばできる」の合算

## ※訓練内容別での変化

### A 歩行訓練実施群 (n=86)

|                  | 訓練前<br>「できる」 | %<br>(A) | 訓練後<br>「できる」 | %<br>(B) | UP 率<br>(B-A) |
|------------------|--------------|----------|--------------|----------|---------------|
| 自宅などよく知っている屋内の移動 | 82           | 95.3     | 85           | 98.8     | 3.5           |
| 屋外をよく知っている場所の移動  | 46           | 53.5     | 81           | 94.2     | 40.7          |
| 初めての場所や不慣れな場所の移動 | 18           | 20.9     | 46           | 53.5     | 32.6          |
| 階段やエスカレーターの利用    | 56           | 65.1     | 81           | 94.2     | 29.1          |
| 交差点横断や信号判断       | 34           | 39.5     | 74           | 86.0     | 46.5          |
| 公共交通機関の利用        | 37           | 43.0     | 73           | 84.9     | 41.9          |
| 混雑した場所の移動        | 24           | 27.9     | 57           | 66.3     | 38.4          |
| 夜間の移動            | 21           | 24.4     | 47           | 54.7     | 30.3          |

### B パソコン訓練実施群 (n=61)

|                  | 訓練前<br>「できる」 | %<br>(A) | 訓練後<br>「できる」 | %<br>(B) | UP 率<br>(B-A) |
|------------------|--------------|----------|--------------|----------|---------------|
| 書類(郵便物や請求書など)を読む | 14           | 23.0     | 27           | 44.3     | 21.3          |
| 新聞・雑誌・書籍を読む      | 18           | 29.5     | 33           | 54.1     | 24.6          |
| メモをとる(録音など含む)    | 24           | 39.3     | 47           | 77.0     | 37.7          |
| メールを書く           | 29           | 47.5     | 52           | 85.2     | 37.7          |
| 文章を書く            | 25           | 41.0     | 51           | 83.6     | 42.6          |
| ホームページを見る・検索する   | 21           | 34.4     | 50           | 82.0     | 47.6          |

### C A D L 訓練実施群 (n=50)

|                  | 訓練前<br>「できる」 | %<br>(A) | 訓練後<br>「できる」 | %<br>(B) | UP 率<br>(B-A) |
|------------------|--------------|----------|--------------|----------|---------------|
| 整容(髭剃り、化粧、爪切りなど) | 37           | 74.0     | 41           | 82.0     | 8.0           |
| 衣類の選択・管理をする      | 35           | 70.0     | 40           | 80.0     | 10.0          |
| 料理をする            | 24           | 48.0     | 36           | 72.0     | 24.0          |
| 洗濯をする            | 39           | 78.0     | 45           | 90.0     | 12.0          |
| お茶・コーヒーを入れる      | 30           | 60.0     | 41           | 82.0     | 22.0          |
| 薬の管理、服薬          | 38           | 76.0     | 45           | 90.0     | 14.0          |
| 持ち物の区別・整理・管理     | 39           | 78.0     | 46           | 92.0     | 14.0          |
| お金の弁別・支払い        | 33           | 66.0     | 45           | 90.0     | 24.0          |
| 金融機関の利用          | 26           | 52.0     | 31           | 62.0     | 10.0          |
| 時間の把握            | 44           | 88.0     | 47           | 94.0     | 6.0           |
| 電話をかける・うける       | 42           | 84.0     | 46           | 92.0     | 8.0           |
| 買い物              | 30           | 60.0     | 39           | 78.0     | 18.0          |

### ③ 訓練前後の「満足（納得）度」の変化 (n=102)

|   |                    | 訓練前<br>「満足」<br>(*1) | %<br>(A) | 訓練後<br>「満足」<br>(*1) | %<br>(B) | UP 率<br>(B-A) |
|---|--------------------|---------------------|----------|---------------------|----------|---------------|
| A | 自宅などよく知っている屋内の移動   | 82                  | 80.4     | 92                  | 90.2     | 9.8           |
|   | 屋外をよく知っている場所の移動    | 49                  | 48.0     | 87                  | 85.3     | 37.3          |
|   | 初めての場所や不慣れな場所の移動   | 25                  | 24.5     | 63                  | 61.8     | 37.3          |
|   | 階段やエスカレーターの利用      | 47                  | 46.1     | 87                  | 85.3     | 39.2          |
|   | 交差点横断や信号判断         | 37                  | 36.3     | 75                  | 73.5     | 37.2          |
|   | 公共交通機関の利用          | 44                  | 43.1     | 79                  | 77.5     | 34.4          |
|   | 混雑した場所の移動          | 31                  | 30.4     | 68                  | 66.7     | 36.3          |
|   | 夜間の移動              | 28                  | 27.5     | 60                  | 58.8     | 31.3          |
| B | 書類(郵便物や請求書など)を読む   | 33                  | 32.4     | 42                  | 41.2     | 8.8           |
|   | 新聞・雑誌・書籍を読む        | 29                  | 28.4     | 56                  | 54.9     | 26.5          |
|   | メモをとる(録音など含む)      | 38                  | 37.3     | 68                  | 66.7     | 29.4          |
|   | メールを書く             | 46                  | 45.1     | 76                  | 74.5     | 29.4          |
|   | 文章を書く              | 42                  | 41.2     | 68                  | 66.7     | 25.5          |
|   | ホームページを見る・検索する     | 36                  | 35.3     | 65                  | 63.7     | 28.4          |
| C | 整容(髭剃り、化粧、爪切りなど)   | 63                  | 61.8     | 71                  | 69.6     | 7.8           |
|   | 衣類の選択・管理をする        | 59                  | 57.8     | 64                  | 62.7     | 4.9           |
|   | 料理をする              | 47                  | 46.1     | 62                  | 60.8     | 14.7          |
|   | 洗濯をする              | 72                  | 70.6     | 81                  | 79.4     | 8.8           |
|   | お茶・コーヒーを入れる        | 58                  | 56.9     | 70                  | 68.6     | 11.7          |
|   | 薬の管理、服薬            | 76                  | 74.5     | 83                  | 81.4     | 6.9           |
|   | 持ち物の区別・整理・管理       | 69                  | 67.6     | 76                  | 74.5     | 6.9           |
|   | お金の弁別・支払い          | 60                  | 58.8     | 73                  | 71.6     | 12.8          |
|   | 金融機関の利用            | 48                  | 47.1     | 53                  | 52.0     | 4.9           |
|   | 時間の把握              | 82                  | 80.4     | 88                  | 86.3     | 5.9           |
|   | 電話をかける・うける         | 81                  | 79.4     | 83                  | 81.4     | 2.0           |
|   | 買い物                | 50                  | 49.0     | 66                  | 64.7     | 15.7          |
| D | 会話を楽しむ             | 80                  | 78.4     | 86                  | 84.3     | 5.9           |
|   | 趣味・余暇活動を楽しむ        | 51                  | 50.0     | 76                  | 74.5     | 24.5          |
|   | 仕事をする              | 44                  | 43.1     | 56                  | 54.9     | 11.8          |
|   | 近所の人や見えていた時の友人との交流 | 61                  | 59.8     | 72                  | 70.6     | 10.8          |
|   | 他の視覚障害の方との交流       | 46                  | 45.1     | 80                  | 78.4     | 33.3          |

(\*1) 4段階評価における「満足」「やや満足」の合算

## ※訓練内容別での変化

### A 歩行訓練実施群 (n=86)

|                  | 訓練前<br>「満足」 | %<br>(A) | 訓練後<br>「満足」 | %<br>(B) | UP 率<br>(B-A) |
|------------------|-------------|----------|-------------|----------|---------------|
| 自宅などよく知っている屋内の移動 | 72          | 83.7     | 80          | 93.0     | 9.3           |
| 屋外をよく知っている場所の移動  | 40          | 46.5     | 77          | 89.5     | 43.0          |
| 初めての場所や不慣れな場所の移動 | 18          | 20.9     | 52          | 60.5     | 39.6          |
| 階段やエスカレーターの利用    | 41          | 47.7     | 78          | 90.7     | 43.0          |
| 交差点横断や信号判断       | 29          | 33.7     | 66          | 76.7     | 43.0          |
| 公共交通機関の利用        | 34          | 39.5     | 69          | 80.2     | 40.7          |
| 混雑した場所の移動        | 24          | 27.9     | 60          | 69.8     | 41.9          |
| 夜間の移動            | 21          | 24.4     | 53          | 61.6     | 37.2          |

### B パソコン訓練実施群 (n=61)

|                  | 訓練前<br>「満足」 | %<br>(A) | 訓練後<br>「満足」 | %<br>(B) | UP 率<br>(B-A) |
|------------------|-------------|----------|-------------|----------|---------------|
| 書類(郵便物や請求書など)を読む | 15          | 24.6     | 31          | 50.8     | 26.2          |
| 新聞・雑誌・書籍を読む      | 21          | 34.4     | 39          | 63.9     | 29.5          |
| メモをとる(録音など含む)    | 23          | 37.7     | 48          | 78.7     | 41.0          |
| メールを書く           | 27          | 44.3     | 53          | 86.9     | 42.6          |
| 文章を書く            | 26          | 42.6     | 50          | 82.0     | 39.4          |
| ホームページを見る・検索する   | 22          | 36.1     | 48          | 78.7     | 42.6          |

### C A D L 訓練実施群 (n=50)

|                  | 訓練前<br>「満足」 | %<br>(A) | 訓練後<br>「満足」 | %<br>(B) | UP 率<br>(B-A) |
|------------------|-------------|----------|-------------|----------|---------------|
| 整容(髭剃り、化粧、爪切りなど) | 32          | 64.0     | 39          | 78.0     | 14.0          |
| 衣類の選択・管理をする      | 31          | 62.0     | 37          | 74.0     | 12.0          |
| 料理をする            | 24          | 48.0     | 39          | 78.0     | 30.0          |
| 洗濯をする            | 37          | 74.0     | 45          | 90.0     | 16.0          |
| お茶・コーヒーを入れる      | 26          | 52.0     | 39          | 78.0     | 26.0          |
| 薬の管理、服薬          | 38          | 76.0     | 45          | 90.0     | 14.0          |
| 持ち物の区別・整理・管理     | 35          | 70.0     | 43          | 86.0     | 16.0          |
| お金の弁別・支払い        | 30          | 60.0     | 41          | 82.0     | 22.0          |
| 金融機関の利用          | 25          | 50.0     | 30          | 60.0     | 10.0          |
| 時間の把握            | 42          | 84.0     | 46          | 92.0     | 8.0           |
| 電話をかける・うける       | 40          | 80.0     | 44          | 88.0     | 8.0           |
| 買い物              | 25          | 50.0     | 35          | 70.0     | 20.0          |

## (6) 訓練後の生活の変化

### ①全体

|                                  | 機能訓練<br>(n=46) |      | 非機能訓練<br>(n=56) |      | 合計<br>(n=102) |      | A-B  |
|----------------------------------|----------------|------|-----------------|------|---------------|------|------|
|                                  | 件数             | %(A) | 件数              | %(B) | 件数            | %    |      |
| 外出の頻度があがった                       | 31             | 67.4 | 34              | 60.7 | 65            | 63.7 | 6.7  |
| 一人で歩ける場所ができた・増えた                 | 31             | 67.4 | 36              | 64.3 | 67            | 65.7 | 3.1  |
| 移動の安全性が向上した                      | 40             | 87.0 | 41              | 73.2 | 81            | 79.4 | 13.8 |
| 定期的な外出先ができた                      | 30             | 65.2 | 35              | 62.5 | 65            | 63.7 | 2.7  |
| 行動範囲が広がった                        | 30             | 65.2 | 35              | 62.5 | 65            | 63.7 | 2.7  |
| 読書ができるようになった                     | 30             | 65.2 | 14              | 25.0 | 44            | 43.1 | 40.2 |
| 家の中のものを自分で管理・把握できるようになった         | 14             | 30.4 | 11              | 19.6 | 25            | 24.5 | 10.8 |
| 家事や身の回りのことなど自宅の中で自分でできることが増えた    | 26             | 56.5 | 9               | 16.1 | 35            | 34.3 | 40.4 |
| 自分でできること・できないことの判断ができるようになった     | 33             | 71.7 | 28              | 50.0 | 61            | 59.8 | 21.7 |
| できないことに対する考え方や工夫の仕方が身に付いた        | 42             | 91.3 | 38              | 67.9 | 80            | 78.4 | 23.4 |
| 自分で情報収集ができるようになった                | 28             | 60.9 | 24              | 42.9 | 52            | 51.0 | 18.0 |
| 情報発信ができるようになった(メール、SNS、ブログ、投稿など) | 19             | 41.3 | 14              | 25.0 | 33            | 32.4 | 16.3 |
| 趣味や余暇活動が充実した                     | 22             | 47.8 | 20              | 35.7 | 42            | 41.2 | 12.1 |
| 困ったときに相談できる仲間ができた                | 32             | 69.6 | 28              | 50.0 | 60            | 58.8 | 19.6 |
| 気持ちが前向きになった                      | 37             | 80.4 | 38              | 67.9 | 75            | 73.5 | 12.5 |
| 今後の目標が見つかった                      | 32             | 69.6 | 25              | 44.6 | 57            | 55.9 | 25.0 |
| 視覚障害に対する受け止め方が変わった               | 37             | 80.4 | 31              | 55.4 | 68            | 66.7 | 25.0 |
| なし                               | 0              | 0.0  | 2               | 3.6  | 2             | 2.0  | -3.6 |
| その他(*1)                          | 8              | 17.4 | 6               | 10.7 | 14            | 13.7 | 6.7  |

(\*1) 自信が持てるようになった、周りの人に助けを求めることが簡単になった、白杖を持って外に出ようと思った、鬱の状態が改善した、周りの視覚障害者への理解不足が分かった、インフラ設備不足を感じた

## ② 訓練回数別の比較

|                                  | 30回未満<br>(n=35) |      | 30回以上～<br>100回未満<br>(n=31) |      | 100回以上<br>(n=32) |      |
|----------------------------------|-----------------|------|----------------------------|------|------------------|------|
|                                  | 件数              | %    | 件数                         | %    | 件数               | %    |
| 外出の頻度があがった                       | 21              | 60.0 | 19                         | 61.3 | 24               | 75.0 |
| 一人で歩ける場所ができた・増えた                 | 22              | 62.9 | 19                         | 61.3 | 25               | 78.1 |
| 移動の安全性が向上した                      | 24              | 68.6 | 24                         | 77.4 | 30               | 93.8 |
| 定期的な外出先ができた                      | 20              | 57.1 | 23                         | 74.2 | 21               | 65.6 |
| 行動範囲が広がった                        | 23              | 65.7 | 18                         | 58.1 | 23               | 71.9 |
| 読書ができるようになった                     | 8               | 22.9 | 15                         | 48.4 | 21               | 65.6 |
| 家の中のものを自分で管理・把握できるようになった         | 6               | 17.1 | 8                          | 25.8 | 11               | 34.4 |
| 家事や身の回りのことなど自宅の中で自分でできることが増えた    | 5               | 14.3 | 10                         | 32.3 | 20               | 62.5 |
| 自分でできること・できないことの判断ができるようになった     | 12              | 34.3 | 25                         | 80.6 | 24               | 75.0 |
| できないことに対する考え方や工夫の仕方が身に付いた        | 23              | 65.7 | 26                         | 83.9 | 29               | 90.6 |
| 自分で情報収集ができるようになった                | 12              | 34.3 | 17                         | 54.8 | 21               | 65.6 |
| 情報発信ができるようになった(メール、SNS、ブログ、投稿など) | 6               | 17.1 | 12                         | 38.7 | 14               | 43.8 |
| 趣味や余暇活動が充実した                     | 11              | 31.4 | 17                         | 54.8 | 14               | 43.8 |
| 困ったときに相談できる仲間ができた                | 14              | 40.0 | 18                         | 58.1 | 25               | 78.1 |
| 気持ちが前向きになった                      | 23              | 65.7 | 22                         | 71.0 | 29               | 90.6 |
| 今後の目標が見つかった                      | 13              | 37.1 | 20                         | 64.5 | 23               | 71.9 |
| 視覚障害に対する受け止め方が変わった               | 19              | 54.3 | 25                         | 80.6 | 24               | 75.0 |
| なし                               | 2               | 5.7  | 0                          | 0.0  | 0                | 0.0  |
| その他                              | 4               | 11.4 | 5                          | 16.1 | 5                | 15.6 |

### ③ 訓練期間別の比較

|                                  | 半年以内<br>(n=30) |      | 半年～<br>1年以内<br>(n=32) |      | 1年以上<br>(n=32) |      |
|----------------------------------|----------------|------|-----------------------|------|----------------|------|
|                                  | 件数             | %    | 件数                    | %    | 件数             | %    |
| 外出の頻度があがった                       | 17             | 56.7 | 21                    | 65.6 | 25             | 78.1 |
| 一人で歩ける場所ができた・増えた                 | 22             | 73.3 | 18                    | 56.3 | 25             | 78.1 |
| 移動の安全性が向上した                      | 25             | 83.3 | 22                    | 68.8 | 30             | 93.8 |
| 定期的な外出先ができた                      | 16             | 53.3 | 23                    | 71.9 | 22             | 68.8 |
| 行動範囲が広がった                        | 21             | 70.0 | 18                    | 56.3 | 24             | 75.0 |
| 読書ができるようになった                     | 10             | 33.3 | 15                    | 46.9 | 19             | 59.4 |
| 家の中のものを自分で管理・把握できるようになった         | 7              | 23.3 | 7                     | 21.9 | 9              | 28.1 |
| 家事や身の回りのことなど自宅の中で自分でできることが増えた    | 7              | 23.3 | 13                    | 40.6 | 13             | 40.6 |
| 自分でできること・できないことの判断ができるようになった     | 11             | 36.7 | 22                    | 68.8 | 24             | 75.0 |
| できないことに対する考え方や工夫の仕方が身に付いた        | 18             | 60.0 | 30                    | 93.8 | 27             | 84.4 |
| 自分で情報収集ができるようになった                | 13             | 43.3 | 14                    | 43.8 | 23             | 71.9 |
| 情報発信ができるようになった(メール、SNS、ブログ、投稿など) | 7              | 23.3 | 10                    | 31.3 | 15             | 46.9 |
| 趣味や余暇活動が充実した                     | 7              | 23.3 | 15                    | 46.9 | 20             | 62.5 |
| 困ったときに相談できる仲間ができた                | 14             | 46.7 | 20                    | 62.5 | 21             | 65.6 |
| 気持ちが前向きになった                      | 20             | 66.7 | 24                    | 75.0 | 26             | 81.3 |
| 今後の目標が見つかった                      | 16             | 53.3 | 19                    | 59.4 | 19             | 59.4 |
| 視覚障害に対する受け止め方が変わった               | 13             | 43.3 | 27                    | 84.4 | 26             | 81.3 |
| なし                               | 1              | 3.3  | 0                     | 0.0  | 0              | 0.0  |
| その他                              | 5              | 16.7 | 5                     | 15.6 | 4              | 12.5 |

## 第 4 章 調査 3 訓練紹介機関向け調査 調査結果

# 1 調査概要

## 【調査目的】

- ・ 地域に住む視覚障害者が相談などを行う可能性のある機関に対して、視覚障害者からの相談内容や相談に対する対応など、訓練につなげる背景を把握するべく調査を行った。
- ・ 調査2-1では当事者から見た訓練のつながり方を調査したが、訓練へとつなげる外部要因からのつながり方を意識した調査を行った。

## 【調査対象】

- ・ 地域の視覚障害者が相談を行う可能性のある機関を整理するため、調査対象を検討委員会で整理し、以下の3グループ・5対象に区分けした。
- ・ 区分けを行ったグループ・対象は、それぞれの対象機関を束ねる中央団体に依頼を行い、中央団体から対象機関に対してアンケートの配布を行った。

| グループ           | 対象                 | 依頼先                              | 依頼数<br>(件)    |
|----------------|--------------------|----------------------------------|---------------|
| A 医療機関         | ①医療機関(眼科)          | 視覚障害者用補装具適合<br>判定医師研修会OB<br>(*1) | 301           |
| B 相談支援機関       | ②相談支援事業所           | 日本相談支援専門員協会                      | 約 300<br>(*2) |
| C 視覚障害者系<br>機関 | ③視覚障害者の<br>当事者団体   | 日本盲人会連合、<br>日本網膜色素変性症協会          | 101           |
|                | ④視覚障害者向け<br>情報提供施設 | 全国視覚障害者情報提供<br>施設協会              | 101           |
|                | ⑤視覚特別支援学校          | 全国盲学校長会                          | 67            |
| 合計             |                    |                                  | 約 870         |

(\*1) 国立障害者リハビリテーションセンター学院において実施する「視覚障害者用補装具適合判定医師研修会」を受講した眼科などに勤務する医療機関従事者に対して調査を依頼した。

(\*2) 依頼先機関より各支部に対してアンケート参加への要請を行い、各支部から会員に対して周知を行った。ただし、各支部の判断のもと、メーリングリストなどで配布を行ったため、実際の依頼数は不明になる。そのため、依頼数は集計結果の回答数と回答地域などから算出した予測数を掲載した。

## 【調査方法】

- ・ 調査票（資料集 172 ページ掲載）を使用し、対象機関に配布し、回答を求めた。

## 【調査期間】

- ・ 平成 29 年 11 月 16 日～12 月 15 日

## 【回収】

(\*1)依頼数が不明につき回収率は参考値とする。

| グループ           | 対象                 | 回答数<br>(件) | 依頼数<br>(件) | 回収率<br>(%)   | 全体比率 (%)<br>(n=406) |      |
|----------------|--------------------|------------|------------|--------------|---------------------|------|
| A 医療機関         | ①医療機関(眼科)          | 124        | 301        | 41.2         | 30.5                |      |
| B 相談支援機関       | ②相談支援事業所           | 116        | 約 300      | 38.6<br>(*1) | 28.6                |      |
| C 視覚障害者系<br>機関 | ③視覚障害者の<br>当事者団体   | 50         | 101        | 49.5         | 12.3                | 40.9 |
|                | ④視覚障害者向け<br>情報提供施設 | 61         | 101        | 60.4         | 15.1                |      |
|                | ⑤視覚特別支援学校          | 55         | 67         | 82.1         | 13.5                |      |
| 合計             |                    | 406        | 約 870      | 46.7         | 100.0               |      |

- ・ 各対象において回収率に開きはあるものの、概ねで約 40% 以上の回収率、合計 400 件を超える回答が集まったことから、調査結果として一定の信頼性はある。
- ・ 調査対象によっては回答を得た地域の偏りがあるものの、全国から平均的に回答が得られており、全国調査としても一定の信頼性はある。

## 【回答の傾向（注意点）】

### ・ A 医療機関

視覚障害者支援の研修を受講した医療関係者を対象に調査を行っていることから、全国の医療機関（眼科）と比べ、視覚障害者支援に対して理解がある眼科医からの回答を多く含んでいる。また、該当機関向けの調査ではあったが、医療従事者個人としての回答も含んでいる。

### ・ B 相談支援機関

対象者の配布方法により回答数に地域差が出ており、やや中山間地域に偏った回答になっている。また、該当機関向けの調査ではあったが、相談支援員個人としての回答も含んでいる。

### ・ C 視覚障害者系機関

③視覚障害者の当事者団体においては、④視覚障害者向け情報提供施設も兼ねている機関がごく少数あり、回答の内容が混同している回答があった。

## 【調査結果の掲載方式】

- ・ 対象ごとの合計値と比率を掲載する。

## 2 調査結果

### 1. 地域に住む視覚障害者からの相談の有無

|    | ①医療機関<br>(眼科) |       | ②相談支援<br>事業所 |       | ③当事者<br>団体 |       | ④情報提供<br>施設 |       | ⑤視覚特別<br>支援学校 |       | 合計      |       |
|----|---------------|-------|--------------|-------|------------|-------|-------------|-------|---------------|-------|---------|-------|
|    | (n=124)       |       | (n=116)      |       | (n=50)     |       | (n=61)      |       | (n=55)        |       | (n=406) |       |
|    | 件数            | %     | 件数           | %     | 件数         | %     | 件数          | %     | 件数            | %     | 件数      | %     |
| ある | 119           | 96.0  | 91           | 78.4  | 49         | 98.0  | 59          | 96.7  | 55            | 100.0 | 373     | 91.9  |
| ない | 5             | 4.0   | 25           | 21.6  | 1          | 2.0   | 2           | 3.3   | 0             | 0.0   | 33      | 8.1   |
| 合計 | 124           | 100.0 | 116          | 100.0 | 50         | 100.0 | 61          | 100.0 | 55            | 100.0 | 406     | 100.0 |

### 2. 相談がある場合の実態

#### (1) 相談内容

(複数回答あり)

|              | ①医療機関<br>(眼科) |      | ②相談支援<br>事業所 |      | ③当事者<br>団体 |      | ④情報提供<br>施設 |      | ⑤視覚特別<br>支援学校 |      | 合計      |      |
|--------------|---------------|------|--------------|------|------------|------|-------------|------|---------------|------|---------|------|
|              | (n=119)       |      | (n=91)       |      | (n=49)     |      | (n=59)      |      | (n=55)        |      | (n=373) |      |
|              | 件数            | %    | 件数           | %    | 件数         | %    | 件数          | %    | 件数            | %    | 件数      | %    |
| 見えにく<br>さの改善 | 115           | 96.6 | 8            | 8.8  | 26         | 53.1 | 19          | 32.2 | 38            | 69.1 | 206     | 55.2 |
| 治療<br>方法     | 108           | 90.8 | 4            | 4.4  | 16         | 32.7 | 6           | 10.2 | 3             | 5.5  | 137     | 36.7 |
| 日常生活<br>の改善  | 104           | 87.4 | 40           | 44.0 | 44         | 89.8 | 39          | 66.1 | 46            | 83.6 | 273     | 73.2 |
| 仕事<br>全般     | 63            | 52.9 | 16           | 17.6 | 30         | 61.2 | 20          | 33.9 | 16            | 29.1 | 145     | 38.9 |
| 読み書き         | 100           | 84.0 | 18           | 19.8 | 36         | 73.5 | 46          | 78.0 | 42            | 76.4 | 242     | 64.9 |
| 歩行<br>手段     | 57            | 47.9 | 20           | 22.0 | 43         | 87.8 | 26          | 44.1 | 37            | 67.3 | 183     | 49.1 |
| 福祉制度<br>の利用  | 89            | 74.8 | 84           | 92.3 | 48         | 98.0 | 50          | 84.7 | 35            | 63.6 | 306     | 82.0 |
| 心理的<br>サポート  | 51            | 42.9 | 21           | 23.1 | 32         | 65.3 | 19          | 32.2 | 25            | 45.5 | 148     | 39.7 |
| 教育           | 44            | 37.0 | 7            | 7.7  | 23         | 46.9 | 21          | 35.6 | 54            | 98.2 | 149     | 39.9 |
| その他          | 19            | 16.0 | 12           | 13.2 | 6          | 12.2 | 17          | 28.8 | 9             | 16.4 | 63      | 16.9 |

## (2) 自らの機関で対応できる支援

(複数回答あり)

|                | ①医療機関<br>(眼科) |      | ②相談支援<br>事業所 |      | ③当事者<br>団体 |      | ④情報提供<br>施設 |      | ⑤視覚特別<br>支援学校 |      | 合計      |      |
|----------------|---------------|------|--------------|------|------------|------|-------------|------|---------------|------|---------|------|
|                | (n=119)       |      | (n=91)       |      | (n=49)     |      | (n=59)      |      | (n=55)        |      | (n=373) |      |
|                | 件数            | %    | 件数           | %    | 件数         | %    | 件数          | %    | 件数            | %    | 件数      | %    |
| 眼の治療           | 113           | 95.0 | 1            | 1.1  | 1          | 2.0  | 0           | 0.0  | 0             | 0.0  | 115     | 30.8 |
| ロービジョン<br>ケア   | 107           | 89.9 | 1            | 1.1  | 13         | 26.5 | 11          | 18.6 | 30            | 54.5 | 162     | 43.4 |
| 歩行訓練           | 11            | 9.2  | 4            | 4.4  | 23         | 46.9 | 20          | 33.9 | 27            | 49.1 | 85      | 22.8 |
| 歩行訓練<br>以外の訓練  | 10            | 8.4  | 3            | 3.3  | 33         | 67.3 | 43          | 72.9 | 38            | 69.1 | 127     | 34.0 |
| 福祉制度<br>等の紹介   | 102           | 85.7 | 86           | 94.5 | 44         | 89.8 | 50          | 84.7 | 49            | 89.1 | 331     | 88.7 |
| 補装具や日<br>生具の紹介 | 104           | 87.4 | 36           | 39.6 | 46         | 93.9 | 50          | 84.7 | 52            | 94.5 | 288     | 77.2 |
| 上記以外の<br>支援    | 22            | 18.5 | 22           | 24.2 | 13         | 26.5 | 14          | 23.7 | 18            | 32.7 | 89      | 23.9 |
| 特になし           | 0             | 0.0  | 1            | 1.1  | 1          | 2.0  | 0           | 0.0  | 0             | 0.0  | 2       | 0.5  |

## (3) 他機関への紹介の可否

(自らの機関で支援ができない場合)

|          | ①医療機関<br>(眼科) |       | ②相談支援<br>事業所 |       | ③当事者<br>団体 |       | ④情報提供<br>施設 |       | ⑤視覚特別<br>支援学校 |       | 合計      |       |
|----------|---------------|-------|--------------|-------|------------|-------|-------------|-------|---------------|-------|---------|-------|
|          | (n=119)       |       | (n=91)       |       | (n=49)     |       | (n=59)      |       | (n=55)        |       | (n=373) |       |
|          | 件数            | %     | 件数           | %     | 件数         | %     | 件数          | %     | 件数            | %     | 件数      | %     |
| でき<br>る  | 118           | 99.2  | 79           | 86.8  | 49         | 100.0 | 57          | 96.6  | 55            | 100.0 | 358     | 96.0  |
| でき<br>ない | 1             | 0.8   | 12           | 13.2  | 0          | 0.0   | 2           | 3.4   | 0             | 0.0   | 15      | 4.0   |
| 合計       | 119           | 100.0 | 91           | 100.0 | 49         | 100.0 | 59          | 100.0 | 55            | 100.0 | 373     | 100.0 |

(4) 紹介できる場合 紹介ができる機関 (複数回答あり)

|               | ①医療機関<br>(眼科) |      | ②相談支援<br>事業所 |      | ③当事者<br>団体 |      | ④情報提供<br>施設 |      | ⑤視覚特別<br>支援学校 |      | 合計      |      |
|---------------|---------------|------|--------------|------|------------|------|-------------|------|---------------|------|---------|------|
|               | (n=118)       |      | (n=79)       |      | (n=49)     |      | (n=57)      |      | (n=55)        |      | (n=358) |      |
|               | 件数            | %    | 件数           | %    | 件数         | %    | 件数          | %    | 件数            | %    | 件数      | %    |
| ①医療機関         | 77            | 65.3 | 31           | 39.2 | 27         | 55.1 | 18          | 31.6 | 43            | 78.2 | 196     | 54.7 |
| ②相談支援<br>事業所  | 86            | 72.9 | 41           | 51.9 | 35         | 71.4 | 38          | 66.7 | 40            | 72.7 | 240     | 67.0 |
| ③当事者団<br>体    | 58            | 49.2 | 28           | 35.4 | 33         | 67.3 | 42          | 73.7 | 34            | 61.8 | 195     | 54.5 |
| ④情報提供<br>施設   | 78            | 66.1 | 30           | 38.0 | 41         | 83.7 | 26          | 45.6 | 42            | 76.4 | 217     | 60.6 |
| ⑤視覚特別<br>支援学校 | 80            | 67.8 | 19           | 24.1 | 36         | 73.5 | 35          | 61.4 | 15            | 27.3 | 185     | 51.7 |
| 訓練実施<br>機関    | 75            | 63.6 | 29           | 36.7 | 35         | 71.4 | 40          | 70.2 | 42            | 76.4 | 221     | 61.7 |
| その他           | 7             | 5.9  | 20           | 25.3 | 8          | 16.3 | 10          | 17.5 | 6             | 10.9 | 51      | 14.2 |

(5) 紹介できる場合 紹介先の満足度

|          | ①医療機関<br>(眼科) |       | ②相談支援<br>事業所 |       | ③当事者<br>団体 |       | ④情報提供<br>施設 |       | ⑤視覚特別<br>支援学校 |       | 合計      |       |
|----------|---------------|-------|--------------|-------|------------|-------|-------------|-------|---------------|-------|---------|-------|
|          | (n=118)       |       | (n=79)       |       | (n=49)     |       | (n=57)      |       | (n=55)        |       | (n=358) |       |
|          | 件数            | %     | 件数           | %     | 件数         | %     | 件数          | %     | 件数            | %     | 件数      | %     |
| 安心       | 50            | 42.4  | 17           | 21.5  | 15         | 30.6  | 18          | 31.6  | 25            | 45.5  | 125     | 34.9  |
| やや<br>安心 | 45            | 38.1  | 20           | 25.3  | 15         | 30.6  | 17          | 29.8  | 13            | 23.6  | 110     | 30.7  |
| 普通       | 22            | 18.6  | 34           | 43.0  | 15         | 30.6  | 20          | 35.1  | 10            | 18.2  | 101     | 28.2  |
| やや<br>不安 | 1             | 0.9   | 6            | 7.6   | 3          | 6.2   | 2           | 3.5   | 2             | 3.6   | 14      | 3.9   |
| 不安       | 0             | 0.0   | 1            | 1.3   | 0          | 0.0   | 0           | 0.0   | 1             | 1.8   | 2       | 0.6   |
| 無回<br>答  | 0             | 0.0   | 1            | 1.3   | 1          | 2.0   | 0           | 0.0   | 4             | 7.3   | 6       | 1.7   |
| 合計       | 118           | 100.0 | 79           | 100.0 | 49         | 100.0 | 57          | 100.0 | 55            | 100.0 | 358     | 100.0 |

(6) 紹介できない場合 紹介できない理由

(複数回答あり)

|                                  | ①医療機関<br>(眼科) |       | ②相談支援<br>事業所 |      | ③当事者<br>団体 |     | ④情報提供<br>施設 |       | ⑤視覚特別<br>支援学校 |     | 合計     |      |
|----------------------------------|---------------|-------|--------------|------|------------|-----|-------------|-------|---------------|-----|--------|------|
|                                  | (n=1)         |       | (n=12)       |      | (n=0)      |     | (n=2)       |       | (n=0)         |     | (n=15) |      |
|                                  | 件数            | %     | 件数           | %    | 件数         | %   | 件数          | %     | 件数            | %   | 件数     | %    |
| 近隣に紹介できる機<br>関・施設がない             | 1             | 100.0 | 5            | 41.7 | 0          | 0.0 | 2           | 100.0 | 0             | 0.0 | 8      | 53.3 |
| 紹介できる機関・施<br>設が遠方にあるため<br>紹介しにくい | 0             | 0.0   | 0            | 0.0  | 0          | 0.0 | 1           | 50.0  | 0             | 0.0 | 1      | 6.7  |
| 安心して紹介ができ<br>る機関・施設がない           | 0             | 0.0   | 0            | 0.0  | 0          | 0.0 | 0           | 0.0   | 0             | 0.0 | 0      | 0.0  |
| 紹介先の情報を知ら<br>ない                  | 1             | 100.0 | 7            | 58.3 | 0          | 0.0 | 1           | 50.0  | 0             | 0.0 | 9      | 60.0 |
| 分からない                            | 0             | 0.0   | 1            | 8.3  | 0          | 0.0 | 0           | 0.0   | 0             | 0.0 | 1      | 6.7  |
| その他                              | 0             | 0.0   | 2            | 16.7 | 0          | 0.0 | 0           | 0.0   | 0             | 0.0 | 2      | 13.3 |

### 3. 連携体制の実態

#### (1) 地域における視覚障害者向け連携体制の有無

|           | ①医療機関<br>(眼科) |       | ②相談支援<br>事業所 |       | ③当事者<br>団体 |       | ④情報提供<br>施設 |       | ⑤視覚特別<br>支援学校 |       | 合計      |       |
|-----------|---------------|-------|--------------|-------|------------|-------|-------------|-------|---------------|-------|---------|-------|
|           | (n=124)       |       | (n=116)      |       | (n=50)     |       | (n=61)      |       | (n=55)        |       | (n=406) |       |
|           | 件数            | %     | 件数           | %     | 件数         | %     | 件数          | %     | 件数            | %     | 件数      | %     |
| ある        | 82            | 66.1  | 58           | 50.0  | 30         | 60.0  | 38          | 62.3  | 38            | 69.1  | 246     | 60.6  |
| ない        | 28            | 22.6  | 26           | 22.4  | 15         | 30.0  | 20          | 32.8  | 16            | 29.1  | 105     | 25.9  |
| 分から<br>ない | 14            | 11.3  | 32           | 27.6  | 5          | 10.0  | 3           | 4.9   | 1             | 1.8   | 55      | 13.5  |
| 合計        | 124           | 100.0 | 116          | 100.0 | 50         | 100.0 | 61          | 100.0 | 55            | 100.0 | 406     | 100.0 |

#### (2) 連携体制の必要性

|          | ①医療機関<br>(眼科) |       | ②相談支援<br>事業所 |       | ③当事者<br>団体 |       | ④情報提供<br>施設 |       | ⑤視覚特別<br>支援学校 |       | 合計      |       |
|----------|---------------|-------|--------------|-------|------------|-------|-------------|-------|---------------|-------|---------|-------|
|          | (n=124)       |       | (n=116)      |       | (n=50)     |       | (n=61)      |       | (n=55)        |       | (n=406) |       |
|          | 件数            | %     | 件数           | %     | 件数         | %     | 件数          | %     | 件数            | %     | 件数      | %     |
| 必要<br>ある | 123           | 99.2  | 110          | 94.8  | 49         | 98.0  | 61          | 100.0 | 53            | 96.4  | 396     | 97.5  |
| 必要<br>ない | 1             | 0.8   | 5            | 4.3   | 0          | 0.0   | 0           | 0.0   | 1             | 1.8   | 7       | 1.7   |
| 無回<br>答  | 0             | 0.0   | 1            | 0.9   | 1          | 2.0   | 0           | 0.0   | 1             | 1.8   | 3       | 0.8   |
| 合計       | 124           | 100.0 | 116          | 100.0 | 50         | 100.0 | 61          | 100.0 | 55            | 100.0 | 406     | 100.0 |

#### ※グループ別 連携の必要性の理由

| *連携が「必要ある」と回答した中より、<br>自由記述の内容を整理し、集計を行っ<br>た。 | A 医療機関  |      | B 相談支援  |      | C 視覚障害者 |      |
|--|---------|------|---------|------|---------|------|
|  | (n=123) |      | (n=110) |      | (n=163) |      |
|  | 件数      | %    | 件数      | %    | 件数      | %    |
| 自らの機関では支援に限界がある                                | 33      | 26.8 | 12      | 10.9 | 28      | 17.1 |
| 支援の専門性が確保できる                                   | 21      | 17.1 | 10      | 9.1  | 28      | 17.1 |
| 支援の効率性が良くなる                                    | 14      | 11.4 | 0       | 0.0  | 22      | 13.4 |
| 視覚障害者の特性を考慮すると必要                               | 10      | 8.1  | 12      | 10.9 | 25      | 15.3 |
| 本人のために必要                                       | 7       | 5.7  | 10      | 9.1  | 9       | 5.5  |
| 地域性の問題を解決できる                                   | 3       | 2.4  | 18      | 16.4 | 6       | 3.6  |
| ※連携自体への意見(期待、要望など)                             | 22      | 17.9 | 17      | 15.5 | 26      | 15.9 |

## 4. その他

### (1) 視覚障害者との対応で困ること

(複数回答あり)

|                         | ①医療機関<br>(眼科) |      | ②相談支援<br>事業所 |      | ③当事者<br>団体 |      | ④情報提供<br>施設 |      | ⑤視覚特別<br>支援学校 |      | 合計      |      |
|-------------------------|---------------|------|--------------|------|------------|------|-------------|------|---------------|------|---------|------|
|                         | (n=124)       |      | (n=116)      |      | (n=50)     |      | (n=61)      |      | (n=55)        |      | (n=406) |      |
|                         | 件数            | %    | 件数           | %    | 件数         | %    | 件数          | %    | 件数            | %    | 件数      | %    |
| 視覚障害者の対応に慣れた職員<br>がないこと | 31            | 25.0 | 44           | 37.9 | 7          | 14.0 | 3           | 4.9  | 2             | 3.6  | 87      | 21.4 |
| 移動の介助ができないこと            | 12            | 9.7  | 21           | 18.1 | 10         | 20.0 | 4           | 6.6  | 3             | 5.5  | 50      | 12.3 |
| 代読・代筆ができないこと            | 17            | 13.7 | 9            | 7.8  | 7          | 14.0 | 2           | 3.3  | 0             | 0.0  | 35      | 8.6  |
| 点字や音声で情報提供ができないこと       | 46            | 37.1 | 30           | 25.9 | 5          | 10.0 | 1           | 1.6  | 2             | 3.6  | 84      | 20.7 |
| 特になし                    | 39            | 31.5 | 36           | 31.0 | 24         | 48.0 | 35          | 57.4 | 47            | 85.5 | 181     | 44.6 |
| その他                     | 33            | 26.6 | 25           | 21.6 | 12         | 24.0 | 17          | 27.9 | 2             | 3.6  | 89      | 21.9 |
| 無回答                     | 1             | 0.8  | 1            | 0.9  | 1          | 2.0  | 1           | 1.6  | 0             | 0.0  | 4       | 1.0  |

(2) 訓練施設に対して求めること

(複数回答あり)

|                                    | ①医療機関<br>(眼科) |      | ②相談支援<br>事業所 |      | ③当事者<br>団体 |      | ④情報提供<br>施設 |      | ⑤視覚特別<br>支援学校 |      | 合計      |      |
|------------------------------------|---------------|------|--------------|------|------------|------|-------------|------|---------------|------|---------|------|
|                                    | (n=124)       |      | (n=116)      |      | (n=50)     |      | (n=61)      |      | (n=55)        |      | (n=406) |      |
|                                    | 件数            | %    | 件数           | %    | 件数         | %    | 件数          | %    | 件数            | %    | 件数      | %    |
| 訓練施設で対応した内容を紹介元へ報告して欲しい            | 76            | 61.3 | 29           | 25.0 | 20         | 40.0 | 12          | 19.7 | 15            | 27.3 | 152     | 37.4 |
| 訓練施設が利用者宅や紹介元に訪問し、視覚障害者の相談に対応して欲しい | 72            | 58.1 | 44           | 37.9 | 20         | 40.0 | 20          | 32.8 | 18            | 32.7 | 174     | 42.9 |
| 訓練施設の広報や啓発活動を強化して欲しい               | 65            | 52.4 | 49           | 42.2 | 29         | 58.0 | 23          | 37.7 | 23            | 41.8 | 189     | 46.6 |
| 訓練に関する事例報告や事例検討会の開催を行って欲しい         | 63            | 50.8 | 43           | 37.1 | 27         | 54.0 | 13          | 21.3 | 21            | 38.2 | 167     | 41.1 |
| 視覚障害者に対する支援法などの研修会を開催して欲しい         | 68            | 54.8 | 15           | 12.9 | 1          | 2.0  | 6           | 9.8  | 5             | 9.1  | 95      | 23.4 |
| 特になし                               | 9             | 7.3  | 14           | 12.1 | 5          | 10.0 | 14          | 23.0 | 5             | 9.1  | 47      | 11.6 |
| その他                                | 16            | 12.9 | 6            | 5.2  | 8          | 16.0 | 5           | 8.2  | 6             | 10.9 | 41      | 10.1 |
| 無回答                                | 0             | 0.0  | 1            | 0.9  | 0          | 0.0  | 0           | 0.0  | 0             | 0.0  | 1       | 0.2  |

## 第 5 章 調査 4 訓練内容の詳細に関する調査 調査結果

# 1 調査概要

## 【調査目的】

- ・ 訓練を受ける視覚障害当事者の訓練経過の詳細を可視化する目的で実施する。
- ・ 調査1の訓練実態および調査2-2の訓練効果をより深く追求するために調査を実施する。

## 【対象者】

- ・ 調査1の対象となる訓練施設において、地域特性や訓練形態を考慮した上で、以下の施設に依頼を行う。
- ・ 依頼を受けた施設は、該当要件に見合う利用者1名を選定し、調査を実施する。

### 【要件】

#### ・ 対象者像

対象施設で訓練を行い、地域特性と見合う視覚障害者  
中途視覚障害など、初めて訓練を受ける対象者を優先する

#### ・ 対象期間

平成29年8月1日～平成30年1月31日の期間から概ね3か月程度

|        | 地域特性   | 訓練形態  | 対象者     |
|--------|--------|-------|---------|
| 訓練施設 A | 都心部    | 機能訓練  | 女性 60歳代 |
| 訓練施設 B | 都心より郊外 | 非機能訓練 | 男性 50歳代 |
| 訓練施設 C | 中山間地域  | 非機能訓練 | 男性 40歳代 |

## 【調査方法】

- ・ 依頼先の訓練担当者（歩行訓練士）は、調査対象者の訓練経過を記録した資料を作成する。
- ・ 心理面の変化などは調査対象者にヒアリングを行いながら作成をする。
- ・ 個人情報を伴う調査につき、回答する視覚障害者には調査内容に同意を求め、回答の提出と共に同意書（資料集174ページ）の提出を求めた。

## 【調査期間】

- ・ 平成29年10月24日～平成30年1月31日

## 【調査結果の掲載方式】

- ・ 各調査対象施設より提供を受けた資料をもとに、調査事務局で文章整理を行い、レポート資料として調査結果を掲載する。

## 2 調査結果 訓練施設 A（都市部/機能訓練）

### 1. 訓練に関する情報

#### (1) 対象者

- ・ 年 齢 60代
- ・ 性 別 女性
- ・ 家族構成 夫と二人暮らし
- ・ 障害程度 視覚障害1種2級  
右) 光覚なし 左) 0.02
- ・ 特徴(困りごと)
  - ・ 拡大読書器を使用しての文字記入が難しく、斜めに書いてしまう。
  - ・ 各種機器や用具を使いこなすことが難しい
  - ・ パソコンはまったくの初心者
  - ・ 携帯用の白杖を持っているが、人前で出すことはない
  - ・ 白杖を出すことに抵抗がある
  - ・ 外出はほとんど家族かガイドと共に移動をする
  - ・ 単独で外出すると、電柱にぶつかったりする

#### (2) 地域特性

##### ① 訓練の実施体制について

- ・ 同じ都道府県内に機能訓練を実施する施設はあるが、すべて通所のみで、入所を希望する場合は、隣接県の施設に行かねばならない。
- ・ 機能訓練事業所の立地はどこも恵まれていて、最寄駅から数分の距離になる。
- ・ 訪問のみのサービスを提供している非機能訓練事業所もあり、全地域をカバーしている。自治体の補助事業として実施している。
- ・ 通所に関しては、同行援護や移動支援の利用が可能になっている場合もある。
- ・ サービス提供は、すべて障害者総合支援法の自立訓練(機能訓練)の基準に則って行われている。

##### ② 対象者の住環境について

- ・ 自宅は最寄駅からは徒歩3～4分程度の住宅地。
- ・ 自宅のそばにはコンビニや飲食店がある。

- ・電車は頻繁に運行している。駅前から繁華街に出ることのできるバスも運行している（頻回）。

### （３）訓練を受けるまでの経過

- ・調理や掃除などの日常的なことはできていたが、自分でできることを増やしたいと考えていた。
- ・当事者団体の紹介で訓練に辿り着いた。

### （４）訓練前のニーズ確認

#### ①初期支援計画 訓練開始期のニーズと評価

- ・初期のニーズ
  - ・単独での移動を楽にしたい。
  - ・各種機器や用具を使いこなしたい。
  - ・ネット検索やメールができるようになりたい。
- ・初期評価
  - ・単独移動の経験はあるが、白杖は抵抗があって出せない。移動の際は白い傘を利用していた。
  - ・パソコンは経験がない。
  - ・i P a dを所有しているが、使いこなせていない。
  - ・C D読書器は使用しているが、十分ではない。
  - ・点字は今から修得するのには抵抗がある。
  - ・保有視覚の活用はできる。
  - ・調理などは特に問題がない。

#### ②中期支援計画（初期計画3か月後）までの目標

##### A 歩 行

- ・白杖の基本操作の習得、交通機関の利用

##### B パソコン

- ・キーボード操作の少ないソフトの利用
- ・キーボード操作の習得

##### C C D読書器

- ・操作方法の習得

##### D そ の 他

- ・拡大読書器やi P a dの操作方法の習得
- ・遮光眼鏡の選択

## 2. 訓練の経過

訓練は訓練施設 A への通所（週 1～2 回）を中心に実施する。

### （1）訓練開始後 1 か月目

#### 訓練の実施状況

- ・週 2 回のペースで、歩行、パソコンを実施。
- ・他の訓練は 1～2 週間ごとに 1 回程度で実施。
- ・歩行については、単独歩行への意欲が強いが白杖への抵抗感は強く、特に自宅周辺の歩行には躊躇がある。
- ・パソコンについては定着に少し時間がかかるが、概ね順調に訓練が進んでいる。

#### A 歩行

- ・白杖の基本操作、伝い歩きなどの訓練を行う。

#### B パソコン

- ・パソコンでできることを紹介し、簡単なソフトを導入する。
- ・キーボード操作（タイピングの習得）を中心に訓練を行う。

#### C CD 読書器

- ・2 回の訓練を実施し、操作方法の習得を中心に訓練を行う。

#### D その他

- ・拡大読書器、遮光眼鏡、iPad、音声拡大読書器の操作方法などの訓練を行う。

### （2）訓練開始後 2～3 か月目

#### 訓練の実施状況

- ・週 2 回のペースで歩行とパソコンの訓練を継続し、本人も訓練全般に対して少しずつ意欲が出てきている。
- ・各種機器は完璧な習得まではいかないが、自宅でも練習をするなど、非常に熱心に取り組んでいる。
- ・白杖への抵抗は、以前よりは小さくなっている様子が伺える。交通機関の利用中に「白杖を出してみようかな」と考えるようになったと本人が述べている。
- ・訓練や同じ利用者との共有時間を楽しんでいる様子がみて

とれ、本人からも「楽しい」という声が聞かれる。

#### A 歩 行

- ・基本操作を継続して実施する。
- ・交通機関での利用訓練も行い、バスの乗降訓練などの訓練を行う。
- ・自宅周辺での訓練には依然として抵抗がある。

#### B パソコン

- ・キーボード操作から文章入力の基礎へと進んでいる。

#### D そ の 他

- ・拡大読書器、遮光眼鏡、i P a d、音声拡大読書器の訓練を継続する。

### 3. その後の経過

#### (1) 訓練士の見解

初期支援計画における目標は達成されたので、中期支援計画に向けて、以下の目標設定を行った。本人も訓練に対しては前向きで、自立に向けて意欲を出している。

#### (2) 今後の目標

##### A 歩 行

- ・ルート歩行（目的地までの移動）の訓練を行う。
- ・単独移動のできる範囲を広げていく。

##### B パソコン

- ・キーボード操作や文章入力は習得したので、ホームページ閲覧ソフトの活用を目標にする。

##### D そ の 他

- ・拡大読書器で文字をまっすぐ書くことを継続する。
- ・i P a dの機能（音声読み上げ）を使いこなす訓練を行う。

### 3 調査結果 訓練施設B（都市より郊外/非機能訓練）

#### 1. 訓練に関する情報

##### (1) 対象者

- ・ 年 齢 50代
- ・ 性 別 男性
- ・ 家族構成 独身（母親と同居）
- ・ 障害程度 視覚障害1種1級 糖尿病網膜症  
右) 光覚なし 左) 光覚なし
- ・ 特徴（困りごと）
  - ・ 透析治療中であり、体調に配慮が必要
  - ・ パソコンは使用したことがない

##### (2) 地域特性

###### ① 訓練の実施体制について

- ・ 居住している地域には機能訓練を行う施設はない。
- ・ 入所型の機能訓練を実施している施設へは、電車を利用しても移動に2時間程度かかる。
- ・ 訓練施設Bは、県と委託契約で非機能訓練を実施しており、対象者へは年3～5回程度の訓練を行える。この訓練では、支援計画などの作成は義務付けられておらず、訓練に関わる実費など以外の利用料負担はない。

###### ② 対象者の住環境について

- ・ 自宅は最寄り駅まで徒歩10分程度。
- ・ 電車は1時間に2本程度が運行している。

##### (3) 訓練を受けるまでの経過

- ・ 平成16年に糖尿病と判明し、以後、徐々に病状が悪化して現在の視力となる。
- ・ 糖尿病性腎症も進み、1年前から透析が始まる。
- ・ 訓練の情報を全く知ることがなかったが、ある医師との出会いから地域の視覚障害の当事者団体を紹介され、その当事者団体から訓練制度を紹介される。

##### (4) 訓練前のニーズ確認

- ・ パソコン訓練の希望があった。

## 2. 訓練の経過

訓練は、県と委託契約で行われる非機能訓練として実施し、主に自宅への訪問で訓練を行った。訓練は2か月間で3回の割合で実施する。

### (1) 訓練開始後 1～2か月目

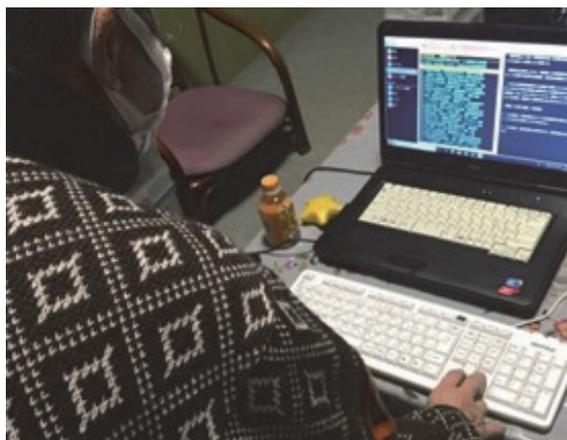
#### B パソコン

- ・施設のパソコンを貸し出し、パソコンの説明、キーボードの構造、起動と終了などの簡単な操作方法を訓練する。
- ・訓練開始後、自宅でインターネットの接続環境を整えたので、インターネットを使ったソフト（ニュースソフト）を紹介する。キー操作が簡単なソフトなのですぐに使用方法を身に付けていた。
- ・構造や操作方法の理解はよく、復習も行っている。

### (2) 訓練開始後 2～3か月目

#### B パソコン

- ・タッチタイピングの訓練を開始する。タッチタイピングは小指の動きが難しいようで、自分なり工夫をして操作している。
- ・メールソフト、読書システムソフトを紹介する。
- ・ソフトの選定、パソコンの購入方法の検討を始める。その後、パソコンを購入し、自治体へ給付申請（情報・通信支援補助用具）をしてソフトも購入する。



\* パソコン訓練の様子。ノートパソコンに対して、操作がしやすい外付けキーボードを接続して訓練を行った。

### (3) 訓練開始後 3～4か月目

#### B パソコン

- ・ソフトのインストールと環境の整備を行う。
- ・音声ブラウザソフトの訓練を開始。

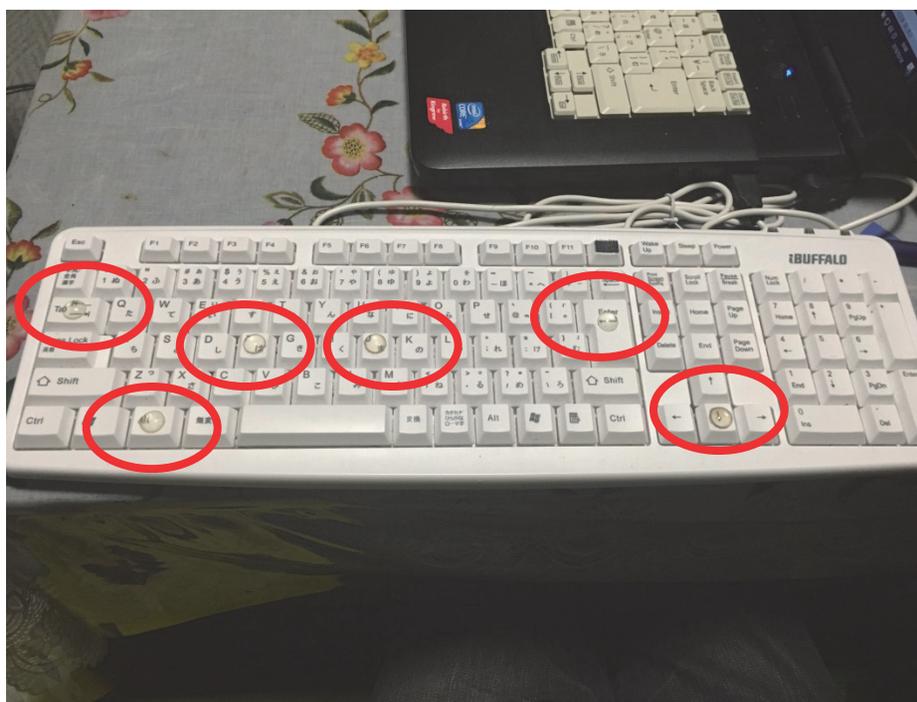
### 3. その後の経過

#### (1) 訓練士の見解

- ・少ない回数の訓練ではあったが、本人の意欲もあり、かなり順調に進んだ。
- ・パソコン操作においては、ホームページを検索して閲覧するのはまだ訓練が必要だが、自主的にも挑戦されているので、定着も早いと思われる。

#### (2) 本人の感想

- ・今までは、直接出会った人からの情報しかなく、この訓練にたどり着くまですごく時間がかかった。
- ・ただ、パソコンが使えるようになったことで、自分から情報を探せることは「大きな力」となると思う。



\* 訓練に実施したキーボード。手がかりになるポイントのキーに突起の印をつけている。

## 4 調査結果 訓練施設C（中山間地域/非機能訓練）

### 1. 訓練に関する情報

#### (1) 対象者

- ・ 年 齢 40代
- ・ 性 別 男性
- ・ 家族構成 独身（両親と同居）
- ・ 障害程度 視覚障害1種1級 脳腫瘍による視覚障害  
右) 光覚 左) 光覚なし
- ・ 特徴（困りごと）
  - ・ 外出できないこと
  - ・ 時間が分からないこと
  - ・ 服を着れないこと
  - ・ 日中の楽しみがテレビ以外にないこと
  - ・ 右半身に軽度麻痺があること

#### (2) 地域特性

##### ① 訓練の実施体制について

- ・ 県内には訓練をしている機関は、非機能訓練タイプの訓練施設Cしかない。
- ・ 入所型の機能訓練事業所は隣県にあり、約200キロ離れている。
- ・ 訓練施設Cの特徴
  - ・ 訪問・通所型で実施
  - ・ 支援計画などの作成は義務付けられていない
  - ・ 訓練に関わる実費以外の利用料負担はない
  - ・ 歩行訓練士1名で対応している
  - ・ 利用回数や期間制限はない

##### ② 対象者の住環境について

- ・ 自宅周辺は最寄り駅まで徒歩45分程度。
- ・ バス停までは徒歩3分だが、1時間に1～2本程度しか運行されていない。
- ・ 本人の移動は、家族などが運転する車が中心になっている。

### (3) 訓練を受けるまでの経過

- ・ 1年前までは仕事をしていたが、脳腫瘍と診断され手術を行い、術後に失明する。
- ・ 5か月間の入院治療を経て退院後に自宅に戻り身体障害者手帳の申請を行う。
- ・ 手帳の交付後、家族が盲学校へ連絡するが、定期的な訪問ができないと言われ、訓練施設Cを紹介され、訓練に至る。
- ・ 自宅内では、サポート杖を使って移動している。

### (4) 訓練前のニーズ確認

#### ① 面談後の訓練士の見解

- ・ 本人の性格は明るく楽観的だが、「見えないから仕方ない」という依存傾向が強くなっていた。
- ・ 本人が自覚していない部分として、疲れやすさ、移動時に体を支える必要が見受けられた。
- ・ 本人が1人で「いろいろできるようになりたい」という気持ちよりも、家族が「日中に何かできないか」という気持ちが強い印象を受けた。
- ・ 家族は、どこまでの支援が必要なのかが分からず戸惑っており、少し疲れている感じがあった。他の視覚障害者の例を出しながら「見守り」と「支援」のポイントを指摘することが必要。
- ・ 福祉サービスなどの情報は、行政から冊子を貰っただけで本人も家族も何も分かっていなかった。制度や利用手続きの説明も必要。

#### ② 訓練に向けた方針

- ・ 記憶することが苦手そうなことから、取り組み内容の定着のため、最低週1回の定期的な訪問が必要になる。
- ・ 体力がなく集中力が続かず疲れやすいことから、休憩や長時間の訓練にならないようにする必要がある。
- ・ 本人の生活の楽しみを探すことを目的に、訓練においては、様々な工夫の紹介や操作の訓練を中心にする。

#### ③ 訓練の目標設定

##### A 歩 行

- ・ 手引きの受け方を身に付け、同行援護などの制度を活用して、外出ができるようにする。
- ・ 家族に対しても手引きの方法を覚えてもらう。
- ・ 白杖の選定後、手引き時の持ち方や基本操作を訓練し、散歩ができるようにする。

## B パソコン

- ・インターネットなどで情報が得られるようにする。

## C CD読書器

- ・本を楽しむため、機器を使えるようにする。

## D その他

- ・携帯電話が使えるようにする。

## 2. 訓練の経過

訓練は非機能訓練として訪問訓練を行う。回数は週1回90分を目安に実施する。

### (1) 訓練開始後 1～4か月目

#### 訓練の実施状況

- ・主に歩行、パソコン、CD読書器の操作訓練を行う。
- ・体力を付けるために、身体のリハビリができる訓練施設を探し、4か月目後半からは機能訓練事業所に母親の送迎で通所することになった(週4回)。
- ・訓練を行ったことで、本人に以下の変化があった。
  - ・リハビリ施設に通うため、外出するようになり、他の人との交流ができるようになった。
  - ・音声腕時計の給付を受けてから、時間が分かるようになり喜んでいる。
  - ・パソコンなど指先を動かす訓練を行ったことで、衣服の着衣がスムーズになり、家族の見守りが不要になった。
  - ・家族に対して感謝の意を本人が伝えることが増えた。
  - ・リモコンにシールを貼ると本人が使いやすくなるのではないかと家族から提案があり、貼る場所の検討を行った。家族と一緒に、本人の分かる印を考えらるようになった。

#### A 歩 行

- ・最初は手引き時に支えが必要だったが、体力がついてきたことから、一般的な手引きでの歩行ができるようになった。
- ・いろいろな人に手引きされることの対応力が付くようになった。
- ・家族の手引きの方法も一般的な方法に変更した。

## B パソコン

- ・ 文字入力を中心に訓練を行う。
- ・ 右手の麻痺や記憶が苦手なこともあり、訓練がなかなか進まない部分がある。本人のモチベーションが下がらないよう、好きな本の単語を入力するなど、本人が楽しく訓練に取り組めるようにした。
- ・ 訓練の工夫として、パソコンのキーボードにいくつかシールを貼り、キーボードの位置を分かりやすくした。

## C CD 読書器

- ・ 再生停止の動作は会得したので、図書のバックアップの訓練を行う。
- ・ 訓練の工夫として、機器のボタンにシールを貼り、本人がボタン確認をしやすくした。
- ・ 本人は録音図書を読むのが好きになり、生活の中での楽しみができた。



\* CD 読書器（携帯型）。シールを貼って分かりやすくした。

## (2) 訓練開始後 5か月目

### 訓練の実施状況

- ・ 訪問訓練を継続したことで、本人のスキルの向上、意欲の向上が見られたので、今後の目標を上方修正した。

#### A 歩 行

- ・ 手引き歩行、白杖の基本操作、直線歩行

#### B パソコン

- ・ 安定した文字入力、変換

#### C CD読書器

- ・ 録音図書のバックアップ、タイトル切り替え
- ・ 訓練を継続したことで、本人に以下の変化があった。
  - ・ 訓練士の訪問が楽しみにになり、時間になると玄関で待つようになった。
  - ・ 自宅内での移動では、サポート杖が不要になってきた。
  - ・ 終わる時間や始まる時間を本人が音声時計で確認し、「まだ早いね」「もう少し歩こう」「遅くなったけど大丈夫？」などの声かけが増えた。
  - ・ 訓練時間中は、家族が安心して外出することができるようになった。

### A 歩 行

- ・ 登りを歩くと疲れやすかったが、体力がつき30分～40分は休憩を入れながら歩けるようになった。

### B パソコン

- ・ 右手をホームポジションに置いてずれないように意識し始めるが、上段がずれやすい。中段と下段は、ほぼ定着できている。

### C CD読書機器

- ・ バックアップの手順は定着し、着実に操作を覚えている。
- ・ 配線の細かい作業は苦手な課題となっている。

### (3) 訓練開始後 6か月目

#### 訓練の実施状況

- ・ 歩行訓練は、外が寒くなってきたが、本人は外出の楽しみもあり、前向きに取り組んでいる。
- ・ 時間の確認は欠かさずに行っている。
- ・ 年末に読みたい本を考え、その本があるかなど尋ねるようになった。読んだ本の感想を積極的に話すことが増えた。
- ・ 機器に目印のシールを貼ることで、操作の動作が円滑になる。そのため、パソコンのキーボードや、CD読書器に追加のシールを貼り、さらに次の操作を覚えられるように工夫をした。

#### A 歩 行

- ・ 白杖の基本操作訓練を開始する。
- ・ 白杖を右手で操作すると疲れやすいことが分かった。
- ・ 手引きがなくても1人で歩くことができた。
- ・ 音源があれば、それに向かって歩くことはできる。しかし、音源が無いと左へのベアリングがある。これは、右の麻痺により、左足の方が強いと思われる。



\* 屋外での歩行訓練の様子

#### B パソコン

- ・ 文字入力も安定してきて、ローマ字も出てくるようになっているが、時々忘れることがある。

#### C CD読書器

- ・ 図書館のタイトル切り替えを円滑にするため、切り替えボタンにシールを貼った。

#### (4) 訓練開始後 7か月目

##### 訓練の実施状況

- ・ 本人から、自分の日々の生活であったことや、思ったことを積極的に話すようになり、コミュニケーション能力が向上したことが伺える。
- ・ 外出頻度も増えたことで筋力もつき、靴を履く際に屈む動作がスムーズになり、イライラした様子がなくなった。

##### A 歩 行

- ・ 白杖による伝い歩きはできているが、伝うものがなくなると左へ進む傾向がある。今後は直線歩行の練習が必要になる。
- ・ 降雪や体調不良のため、今月は1回しか実施できなかった。

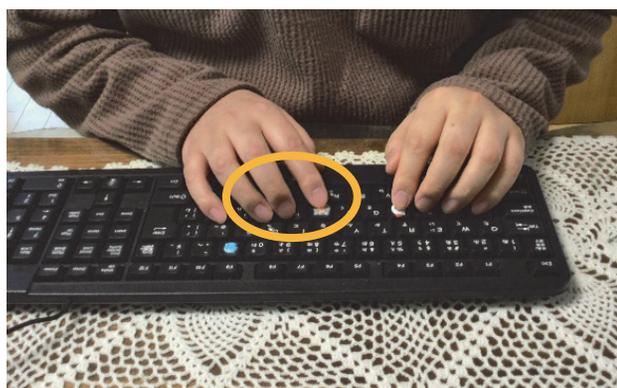
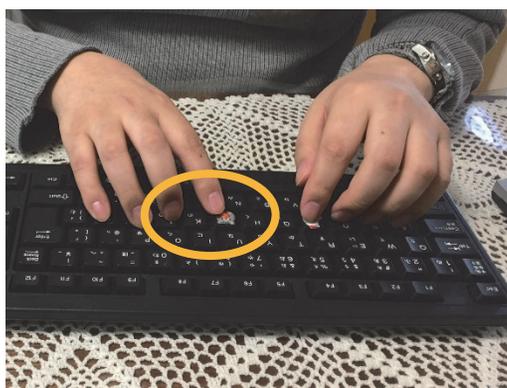
##### B パソコン

- ・ 文字入力において、漢字の変換を始める。本人の予測しない音声の説明に戸惑われることもあるが、「本を読んでいて良かった」と、ここでも前向きに取り組んでいる。
- ・ 訓練前に自発的に練習をするようになった。

##### C CD読書器

- ・ 図書のタイトル切り替えは、完全には定着できていないが、流れは理解しつつある。

#### \* キーボード入力の変化



※ 5か月目 → ※ 7か月目

5か月目では、ホームポジションに指を置いたときに、右手の人差し指と中指の間が空いていたが、7か月目では空かなくなった。

### 3. その後の経過

#### (1) 訓練士の見解

- ・ 本人は訪問を楽しみにし、訓練に対して常に前向きになっている。
- ・ 楽観的な面から、人に依存することも多かったが、本人が「どうしたいかを自分で考えなければならない」ことを意識し始めている。
- ・ 本人の体力が付いたことに伴い、動く動作がスムーズになり、ゆるやかであるが、学んだことが定着できている。
- ・ 日によって疲れやすい時もあり、その際は休憩が多めに必要となる。
- ・ 記憶の定着においては、一緒に決めた新しいルールを覚えることはできているが、初めての手順は繰り返しの訓練が必要だと分かった。
- ・ 1人で近くのコンビニに行けるようにすることや、電話をかけられるようにするなど、次の目標設定を行い、訓練を継続する。
- ・ 家族は本人のできることが増えて安心をしている。
- ・ 訓練の利用期間には限りがあるので、今後、本人と家族が、次のことを機能訓練事業所や相談支援事業所と一緒に検討していくことが必要だと感じる。

#### (3) 本人の感想

- ・ 訓練が半年以上たったという実感がなく、早かった。
- ・ 時間が分かるようになり生活が便利になった。
- ・ 本を聞けるようになり楽しみができた。
- ・ これからパソコンを使って、好きなサッカーチームのニュースを見てみたい。
- ・ 人に会うことや外に出ることが楽しい。
- ・ 1人で買い物ができるかは不安があるけど、できたらいいな。

#### (3) 家族の感想

- ・ 出かけるときは、時間までに1人で用意し、身だしなみに気を配るようになったことが非常に嬉しい。
- ・ 退院後は目が離せず、不安もあったが、日々の変化を見て安心している。まだ、先の分からないこともあるけれど、本人と一緒にしながら、本人の自立への道を探していきたい。

## 5 歩行訓練士が課題として感じていること

調査終了後、担当した3名の歩行訓練士に対して、座談会形式でインタビューを行った。インタビューでは、日々感じている課題などを中心に、他の歩行訓練士との意見交換を交えながら聞き取りを行った。

以下では、主な意見を掲載する。

### 1. 訓練全般について

- 訓練を行うことで利用者のスキルはもちろん、意欲も向上していくため、どの訓練を、どう進めるかといった目標設定は大切である。しかし、その目標設定を行うための相談（アセスメント）の時間は限られていて、回数制限がある地域では、十分に聞き取る時間や訓練をする時間がないこともある。
- 歩行訓練士がしっかりと、その人に合った効果を出せる訓練形態を考えて訓練を行うことが大切で、回数制限などある地域には、他県の様子や訓練の必要性を行政などに働きかけていくことも必要かもしれない。
- 地域での視覚障害の専門職としての役割を果たさなければならないが、訓練だけでない業務も兼務しているとなかなか動けない。
- 機能訓練事業所での制約により訓練を受けにくい地区は、非機能訓練でカバーできるようにするなど、両方の訓練が各県に最低1つずつくらいあるのが理想的だと思う。
- 訪問訓練は、自分が最も必要と思える場所（＝自宅）での訓練になり、本人の意欲も高まりやすい。一方、自宅周辺の移動に抵抗があると、訪問による指導は実施しづらい。また、他人が訪問してくることへの周囲の目を非常に気にする場合もある。

### 2. 機能訓練について

- 週に複数回の利用ができること、複数の訓練に取り組むことができることで、集中して訓練の習得ができる。しかし、現在の人員配置を考えたとき、必ずしも集中的に訓練を受けることができるとは言いづらい。
- 当事者同士が話す機会があり、動機づけが当事者間で行われることは有効になっている。多くの利用者が同じ場所に会することに非常に意味があると考えている。

- 1日数十分程度の訓練を受けるため、訓練施設に通所することについては、本人の抵抗が無いとは言い切れない。事前に了解を取っていても、実際に苦情が出ることもある。

### 3. 非機能訓練について

- 期間や回数の制限があるところもあり、短い期間、少ない回数で実施しなければならない。そのため、視覚障害当事者のニーズに応えるのが難しい場合もある。
- 訪問をするのに片道2時間かかる地域もあり、効率的ではないことも多い。
- 他の視覚障害者と出会う機会が無いため、交流の場があったほうが望ましいのだが、なかなか実施できない。実施している非機能訓練事業所もあるので、交流の機会を作る必要性は常に感じている。
- 盲ろう者や高次脳機能障害など視覚以外の障害もある場合、その障害特性から、定着を図るために毎日繰り返しをする訓練が良いが、週1回程度しか訪問することができず、上手く対応できていない。
- 訓練の利用料は、ほとんどの訓練が無料のことが多いが、地域差がある。
- 訓練開始までの手続きが割と容易になっている。
- 相談支援事業所の介入がないことで、地域支援の一環でのサービス担当者会議などに入ることが少ない。その一方で、接点がないため、相談支援事業所に視覚リハを知ってもらうことは課題になっている。
- 訓練を進める上では、目標設定や訓練における様々な工夫をしたいが、歩行訓練士が1人で職場の相談体制や訓練体制を維持するので、思うような訓練ができず、利用者に対して申し訳ないと思う部分がある。
- サービスを提供する職員（歩行訓練士）は、ほとんどが1人職場になっている。歩行訓練士には、歩行訓練以外のスキルを持つことに加え、訓練だけではない様々な相談にも対応しないといけない。それを考えると、職員のスキルの向上は必須。初任者は機能訓練で経験を積んで、その後に非機能訓練に移るといった交流も必要ではないか。



## 第 6 章 分析



## 1 訓練施設

## 1. 職員配置

### 【1-1 職員の配置状況】

|                        | 機能訓練<br>(n=10) | 非機能訓練<br>(n=13) | 単位 |
|------------------------|----------------|-----------------|----|
| 訓練実施者数(平均)             | 7.2            | 2.8             | 名  |
| 歩行訓練実施者数(平均)           | 4.9            | 2.4             | 名  |
| 訓練実施者数に占める正職員の割合(平均)   | 87.5           | 64.9            | %  |
| 歩行訓練実施者数に占める正職員の割合(平均) | 95.8           | 71.0            | %  |

「訓練実施者数」と「歩行訓練実施者数」では、機能訓練事業所の職員配置が非機能訓練事業所よりも上回っていた。また、機能訓練事業所は非機能訓練事業所よりも「訓練実施者数に占める正職員の割合」が上回っており、さらに「歩行訓練実施者の正職員の割合」では9割を超えていた。

職員の配置・待遇面では機能訓練事業所の方が恵まれていた。

## 2. 訓練形態および実施体制

機能訓練事業所では、入所機能がない施設を除き、通所・入所はすべての訓練を実施していたが、訪問でのパソコンと点字については、「実施できない」と「内容などによる条件付きで実施可能」とした施設が5割を超えていた。

非機能訓練事業所では、入所での訓練を実施していない施設は多いが、訪問ではすべての訓練の実施率が機能訓練事業所よりも高くなっていた。なお、訪問については、「実施不可」と「条件付きで実施可」を合わせても3割以下となっていた。

また、非機能訓練事業所で入所での訓練を実施していたのは盲導犬訓練施設と複数のサービスを行っている多機能型施設であった。

### 3. 利用者の状況

#### 【1-2 施設の実績状況】

|                  | 機能訓練<br>(n=10) | 非機能訓練<br>(n=13) | 単位 |
|------------------|----------------|-----------------|----|
| 利用定員なしの施設割合      | 10.0           | 76.9            | %  |
| 年間の利用者数制限なしの施設割合 | 80.0           | 84.6            | %  |
| 年間の訓練回数制限なしの施設割合 | 90.0           | 53.8            | %  |
| 1日あたり利用者数(平均)    | 10.2           | 1.6             | 名  |
| 実人数(年間・平均)       | 42.0           | 114.8           | 名  |
| 利用頻度(1週間あたり・平均)  | 2.6            | 0.8             | 回  |

非機能訓練事業所では「利用定員がない施設」が7割以上であった。機能訓練事業所では「定員5名以下の施設」はなく、「定員16～20名の施設」が4施設(40%)で最も多くなっていた。

年間の利用者数の制限では、機能訓練事業所・非機能訓練事業所ともに「制限なしの施設」が8割を超えていたが、訓練回数の制限については、非機能訓練事業所で「あり」「一部あり」の回答率が4割強になっていた。

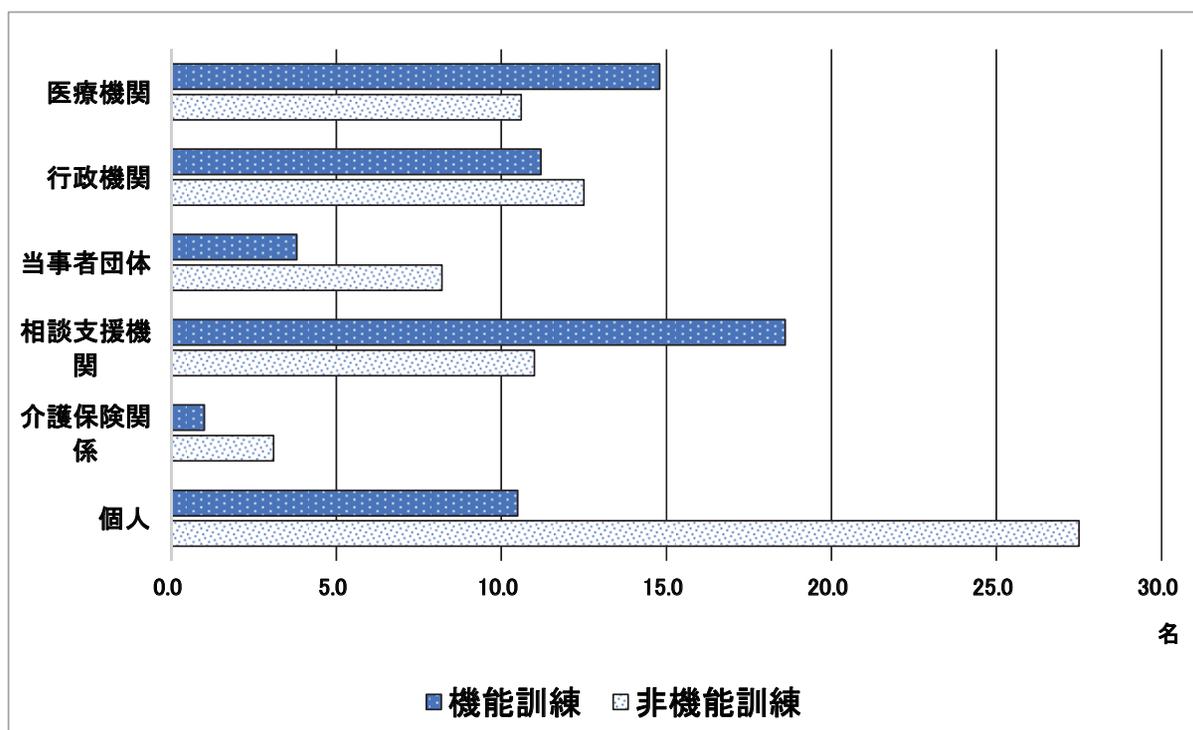
1日あたりの利用者数では、機能訓練事業所が非機能訓練事業所を大きく上回っていた。非機能訓練事業所では1日4名以上の対応をしている施設はなかった。

利用者の実人数では、非機能訓練事業所が機能訓練事業所の3倍近い利用者に訓練を実施していた。

利用頻度では、機能訓練事業所が非機能訓練事業所の3倍以上の回数を実施していた。

## 4. 紹介経路

### 【1-3 紹介経路】



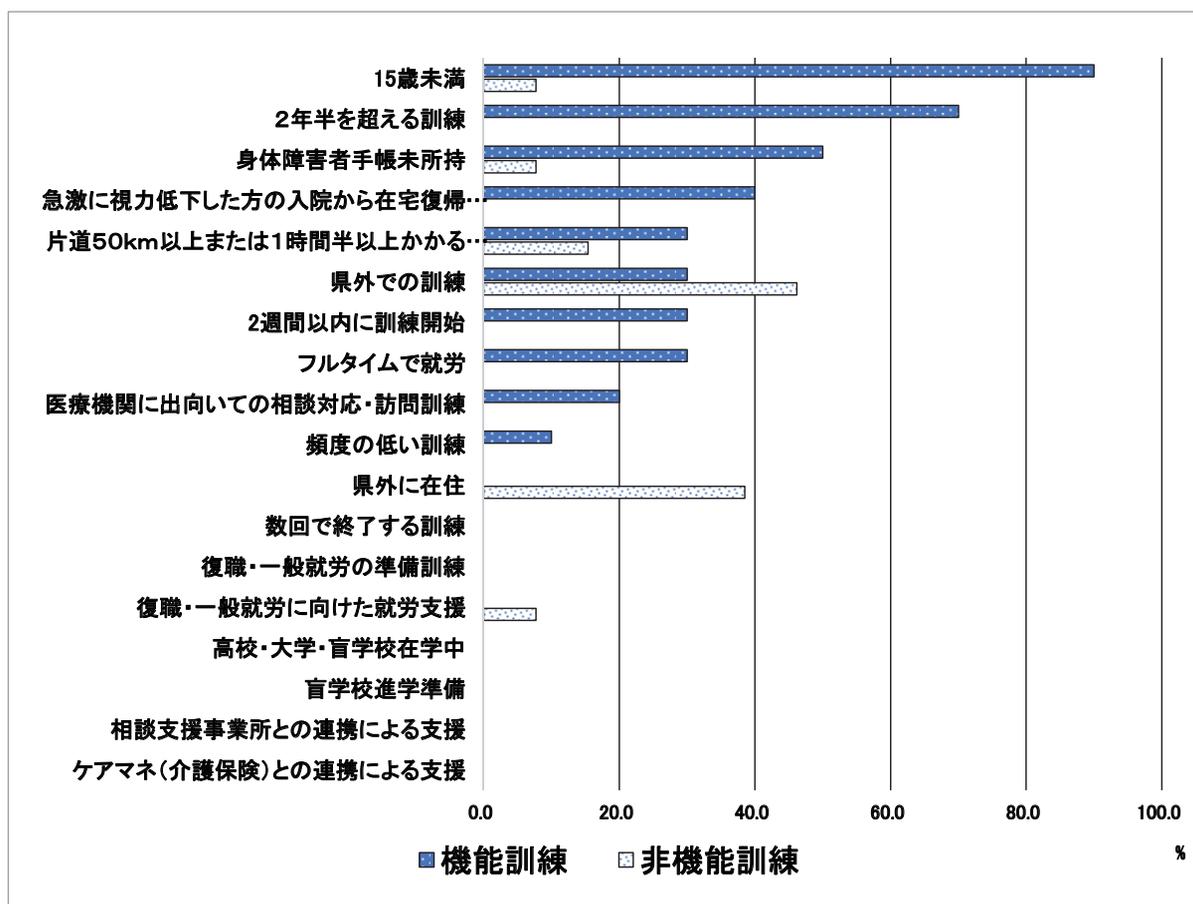
機能訓練事業所では「相談支援機関」「医療機関」「行政機関」の順に高くなっていた。ただし、機能訓練事業所の中に自施設内に相談支援機関を持っている施設が調査対象に含まれており、その施設の相談支援機関からの紹介数が調査結果に反映された可能性がある。

非機能訓練事業所では「個人」が最も高く、その次に「行政機関」「相談支援機関」の順となっていた。

機能訓練事業所と非機能訓練事業所の比較をすると、機能訓練事業所は、非機能訓練事業所に比べて「相談支援機関」「医療機関」からの紹介の割合が高くなっていた。一方で、非機能訓練事業所は、当事者団体が運営しているところが多い影響からか、「個人」からの紹介が多いのが最も特徴的で、その他に「当事者団体」「介護保険関係」からの紹介の割合が機能訓練事業所に比べて高くなっていた。

## 5. 訓練対応の可否について

### 【1-4 対応できない条件】



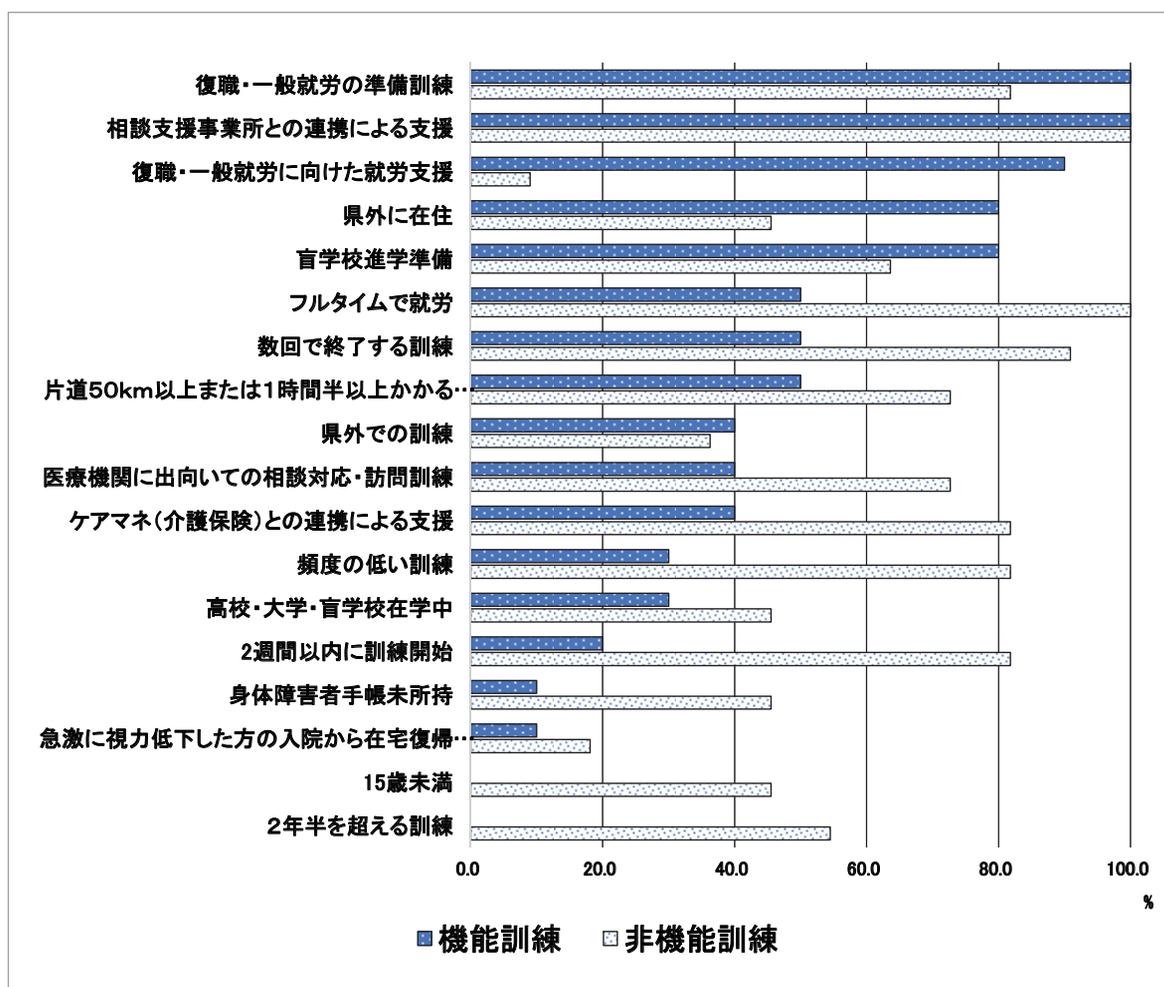
機能訓練事業所において、5割以上の事業所が訓練実施不可と回答した条件は「15歳未満」「身体障害者手帳未所持」「2年半を超える訓練」であった。5割を超えるものについては、制度上の制約によるものと言える。同じく3割以上の事業所が訓練実施不可と回答した条件は「片道50km以上または1時間半以上かかる方への訓練」「県外での訓練」「2週間以内に訓練開始を希望」「フルタイムで就労中」「急激に視力低下した方の入院から在宅復帰までの訓練」であった。

非機能訓練事業所では、5割以上の事業所が訓練実施不可と回答した条件はなかった。3割以上の事業所が訓練実施不可と回答した条件は「県外に在住」「県外での訓練」であった。県や市の事業で行っている訓練（事業）であることが影響していると思われる。

今回の設問の条件では、非機能訓練事業所の方が、機能訓練のルール上対応できない条件も含め、柔軟に訓練対応を行っていた。

## 6. 対応実績

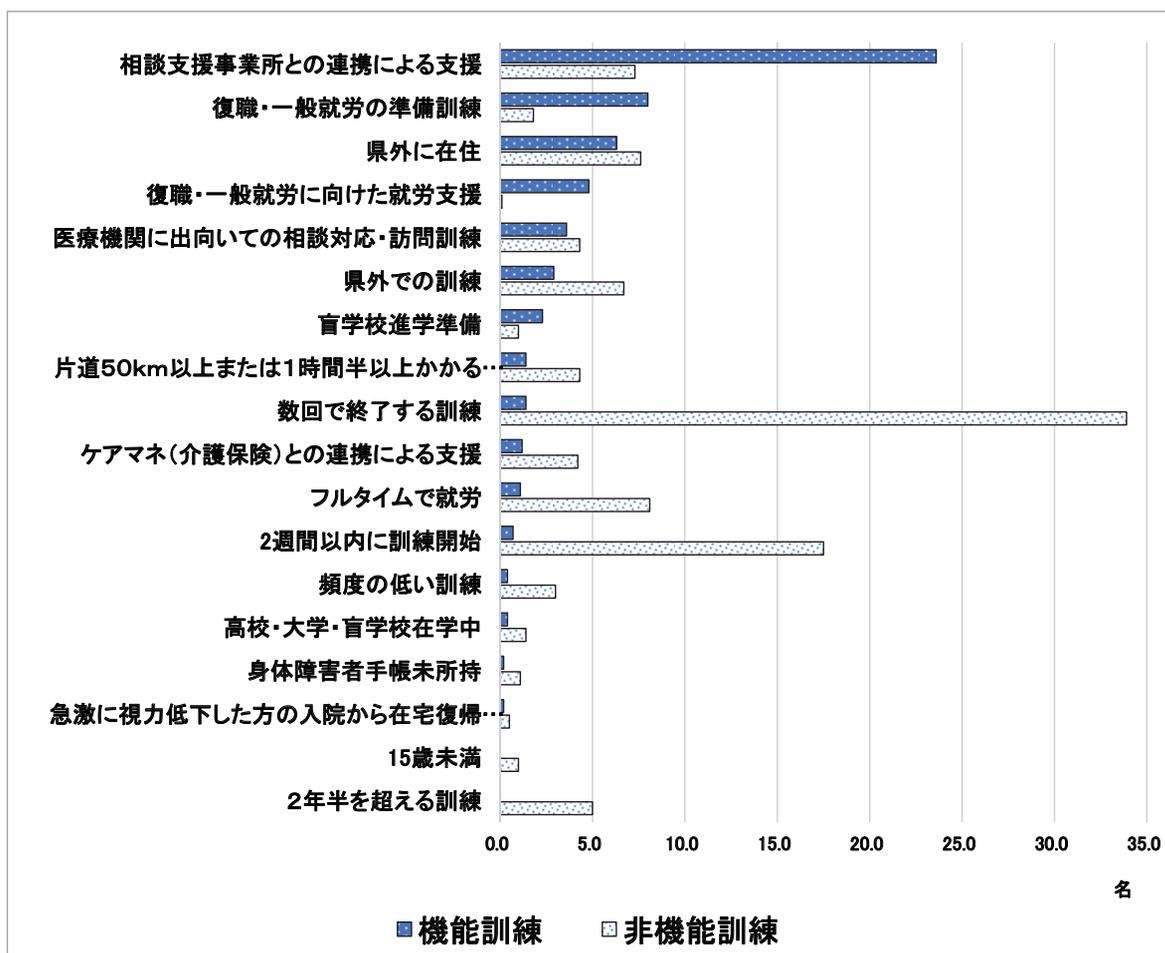
【1-5 平成28年度の「対応実績あり」】



平成28年度における対応実績では、機能訓練事業所において実施率が高く、平均実施者数も多かったのは「復職・一般就労の準備訓練」「復職・一般就労に向けた就労支援」「盲学校進学準備」などになり、多くの訓練回数や集中的な訓練が必要な条件であった。

非機能訓練事業所において実施率が高く、平均実施者数も多かったのは「15歳未満」「身体障害者手帳未所持」「医療機関に向いての相談対応・訪問訓練」「片道50km以上または1時間半以上かかる方への訓練」「2週間以内に訓練開始を希望」「数回で終了する訓練希望」「頻度の低い訓練」「フルタイムで就労中」「高校・大学・盲学校在学中」「2年半を超える訓練」「急激に視力低下した方の入院から在宅復帰までの訓練」「ケアマネージャーとの連携による支援」であった。

【1-6 平成28年度の対応実績（平均実施者数）】



対応実績については、全体的に非機能訓練事業所の方が多くの条件の利用者に対応していた。

特に「数回で終了する訓練」「2週間以内に訓練開始」の実績の多さが目立っていた。なお、その詳細な内容については、今回の調査では確認ができていない。

機能訓練事業所に対応できておらず、非機能訓練事業所に対応できている条件が、機能訓練の制度上の課題や他の障害とは違う視覚障害者のリハビリテーションのニーズを表しているのではないだろうか。

## 7. 機能訓練と非機能訓練の両方で実施している事業所の比較

【1-7 機能・非機能の両方を実施している事業所での条件による利用可否】

| 条件                       | 事業所 A |     | 事業所 B |     | 事業所 C |     |
|--------------------------|-------|-----|-------|-----|-------|-----|
|                          | 機能    | 非機能 | 機能    | 非機能 | 機能    | 非機能 |
| 15歳未満                    | ×     | ×   | ×     | △   | ○     | ○   |
| 身障手帳未所持                  | △     | ○   | ×     | △   | ○     | ○   |
| 医療機関に出向いての相談・訓練          | ○     | ○   | ×     | ○   | ○     | ○   |
| 片道50km以上または1時間半以上かかる者    | ○     | ○   | ×     | ○   | ○     | ○   |
| 県外に在住                    | ○     | ○   | ○     | △   | △     | △   |
| 数回で終了                    | ○     | ○   | △     | ○   | ○     | ○   |
| フルタイムで就労中                | △     | ○   | △     | △   | ○     | ○   |
| 高校・大学・盲学校在学中             | △     | ○   | ○     | ○   | ○     | ○   |
| 2年半を超える訓練                | △     | △   | ×     | △   | ○     | ○   |
| 急激に視力低下した方の入院から在宅復帰までの支援 | ○     | ○   | ×     | △   | ○     | ○   |

\* 表中の○は対応可、△は条件付きで対応可、×は対応不可を指す

【1-8 機能・非機能の両方を実施している施設における利用実績】

|           | 事業所 A |     | 事業所 B |     | 事業所 C |      | 単位 |
|-----------|-------|-----|-------|-----|-------|------|----|
|           | 機能    | 非機能 | 機能    | 非機能 | 機能    | 非機能  |    |
| 1日あたり利用者数 | 9.4   | 0.8 | 16.5  | 2.6 | 0.05  | 0.14 | 名  |
| 実人数(年間)   | 77    | 19  | 53    | 122 | 11    | 47   | 名  |
| 利用頻度(1週間) | 1.4   | 1.2 | 2.3   | 1   | 1     | 0.3  | 回  |

今回調査した機能訓練事業所のうち、機能訓練以外にも非機能訓練で実施していると回答した施設が3施設あった。

ここでは、この3施設の回答から、機能訓練と非機能訓練の使い分けや利用者数を比較した上で、背景を分析する。

#### ●条件における利用可否の比較

事業所Aでは「身体障害者手帳未所持」「フルタイム就労中」「高校・大学・盲学校在学中」など、機能訓練において条件や制約がつく場合は、非機能訓練として訓練を実施していた。

事業所Bについても、事業所Aと同様の傾向にあるが、「15歳未満」「身体障害者手帳未所持」「医療機関に出向いての相談・訓練」「片道50km以上もしくは1時間半以上かかる方」「2年半を超える訓練」「急激に視力低下した方の入院から在宅復帰までの支援」の条件については、機能訓練では対応せず、非機能訓練で対応するという明確な使い分けをしていた。

事業所Cについては、機能訓練と非機能訓練で対応可否の内容に差はなかった。この事業所は、まだ機能訓練事業を開始したばかりのため、明確な使い分けのルールが確定していないのかもしれない。

#### ●利用実績の比較

事業所Aでは、機能訓練の利用者の方がすべての数字が上回っており、機能訓練を中心に実施していた。

事業所B、事業所Cでは、利用頻度は非機能訓練の方が低いものの、実人数では非機能訓練の利用者の方が多くなっていた。

## 8. 同じ地域（都道府県内）での機能訓練と非機能訓練の比較

【1-9 同じ地域（都道府県内）における利用可否】

| 条件                       | 地域 A |     | 地域 B |     | 地域 C |     |
|--------------------------|------|-----|------|-----|------|-----|
|                          | 機能   | 非機能 | 機能   | 非機能 | 機能   | 非機能 |
| 15歳未満                    | ×    | ×   | ×    | △   | ○    | ○   |
| 身障手帳未所持                  | △    | ○   | ×    | △   | ○    | ○   |
| 医療機関に出向いての相談・訓練          | ○    | ○   | ×    | ○   | ○    | ○   |
| 片道50km以上または1時間半以上かかる方    | ○    | ○   | ×    | ○   | ○    | ○   |
| 県外に在住                    | ○    | ○   | ○    | △   | △    | △   |
| 数回で終了                    | ○    | ○   | △    | ○   | ○    | ○   |
| フルタイムで就労中                | △    | ○   | △    | △   | ○    | ○   |
| 高校・大学・盲学校在学中             | △    | ○   | ○    | ○   | ○    | ○   |
| 2年半を超える訓練                | △    | △   | ×    | △   | ○    | ○   |
| 急激に視力低下した方の入院から在宅復帰までの支援 | ○    | ○   | ×    | △   | ○    | ○   |

\* 表中の○は対応可、△は条件付きで対応可、×は対応不可を指す

同じ地域（都道府県内）において、機能訓練事業所・非機能訓練事業所の両方がある地域で、条件によるそれぞれの利用の可否について比較した。

地域 A では、機能訓練事業所・非機能訓練事業所どちらでも対応可能な条件も多いが、事業所間の距離が近いこともあり、それぞれの特徴を生かして、条件による住み分けが進んでいる様子が伺えた。地域 B、地域 C においては、機能訓練事業所で対応しにくい、またはできない条件を、非機能訓練事業所がカバーするという形での住み分けを行っていた。

## 9. 同じ地域（都道府県内）の訓練施設の有無

【1-10 同じ地域（都道府県内）の訓練施設の有無】

|                     | 機能訓練＋非機能(n=23) |      |    |      |
|---------------------|----------------|------|----|------|
|                     | あり             |      | なし |      |
|                     | 件数             | %    | 件数 | %    |
| 機能訓練(視覚障害)施設        | 11             | 47.8 | 12 | 52.2 |
| 機能訓練以外の訓練実施施設・機関    | 18             | 78.3 | 5  | 21.7 |
| 視覚障害者を専門とした相談支援実施機関 | 17             | 73.9 | 6  | 26.1 |

今回調査した地域では、回答した事業所以外に同じ都道府県内に機能訓練事業所があるという回答は5割を切っていたが、機能訓練以外の訓練実施施設などがあるという回答は7割を超えていた。全国的に見れば、複数の訓練施設が同じ都道府県内にあることは珍しいが、調査2において利用者に関するアンケートを行ったこともあり、訓練が比較的よく行われている地域を選んだ結果、割合が高くなっていたと考える。

また、視覚障害者を専門とした相談支援実施機関があると回答した事業所も7割を超えていた。(特定・一般)相談支援事業所のうち「視覚障害者を専門とするところがあるか」を聞く設問だったが、広義の「相談支援実施機関」で捉えられてしまったと考える。

## 10. ロービジョンケア（ネットワーク）の状況について

### 【1-11 ロービジョンケアの実施状況】

|                             | 機能＋非機能（n=23） |      |    |      |
|-----------------------------|--------------|------|----|------|
|                             | あり           |      | なし |      |
|                             | 件数           | %    | 件数 | %    |
| ロービジョンケア実施医療機関              | 20           | 87.0 | 3  | 13.0 |
| 医療従事者向けリーフレット               | 11           | 47.8 | 12 | 52.2 |
| 支援者向けリーフレット                 | 12           | 52.2 | 11 | 47.8 |
| 患者・視覚障害者向けリーフレット            | 16           | 69.6 | 7  | 30.4 |
| 患者紹介・返書のための様式・ツール           | 5            | 21.7 | 18 | 78.3 |
| 医療機関・従事者向けの研修・講習会の実施        | 18           | 78.3 | 5  | 21.7 |
| 相談支援専門員やケアマネを中心とした研修・講習会の実施 | 9            | 39.1 | 14 | 60.9 |
| その他                         | 3            | 13.0 | 20 | 87.0 |

今回調査した地域では、9割近くが「ロービジョンケア実施医療機関」を「あり」と回答していた。その他で「あり」の回答が多かったものは「医療機関・従事者向けの研修・講習会の実施」「患者・視覚障害者向けリーフレット」であった。

「なし」の回答が多かった内容は「患者紹介・返書のための様式・ツール」「相談支援専門員やケアマネを中心とした研修・講習会の実施」「医療従事者向けリーフレット」であった。

ロービジョンケア実施医療機関については、各地域で増え始めており、研修や講習会を通じた訓練施設との連携も広がり始めているが、医療機関との連携のためのツールが不足している現状が伺えた。また、相談支援専門員やケアマネへの対応が医療機関に比べると遅れている結果になっていた。

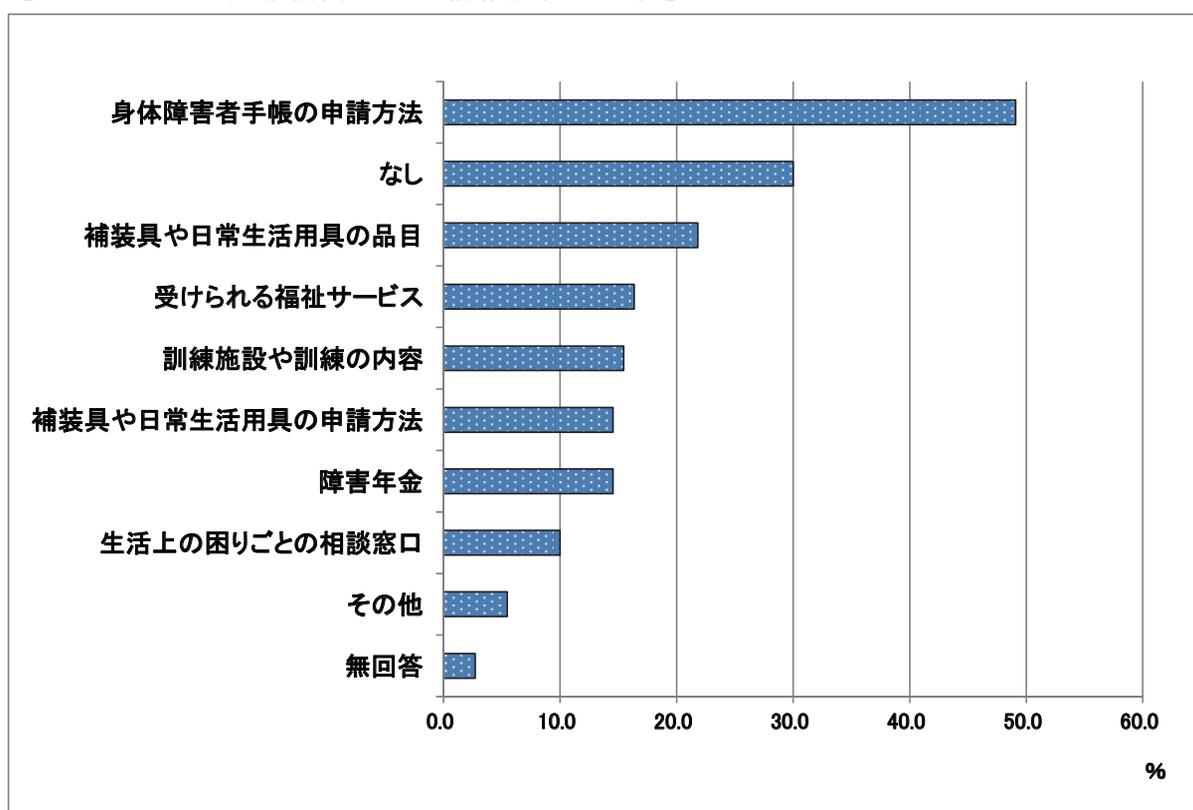
## 2 視覚障害当事者

## 調査 2 - 1 訓練施設につながるまでの経緯に関する調査

### 1. 訓練につながるまでの経緯① 医療機関について

#### (1) 情報提供の内容

##### 【2-1-1 医療機関からの情報提供の内容】

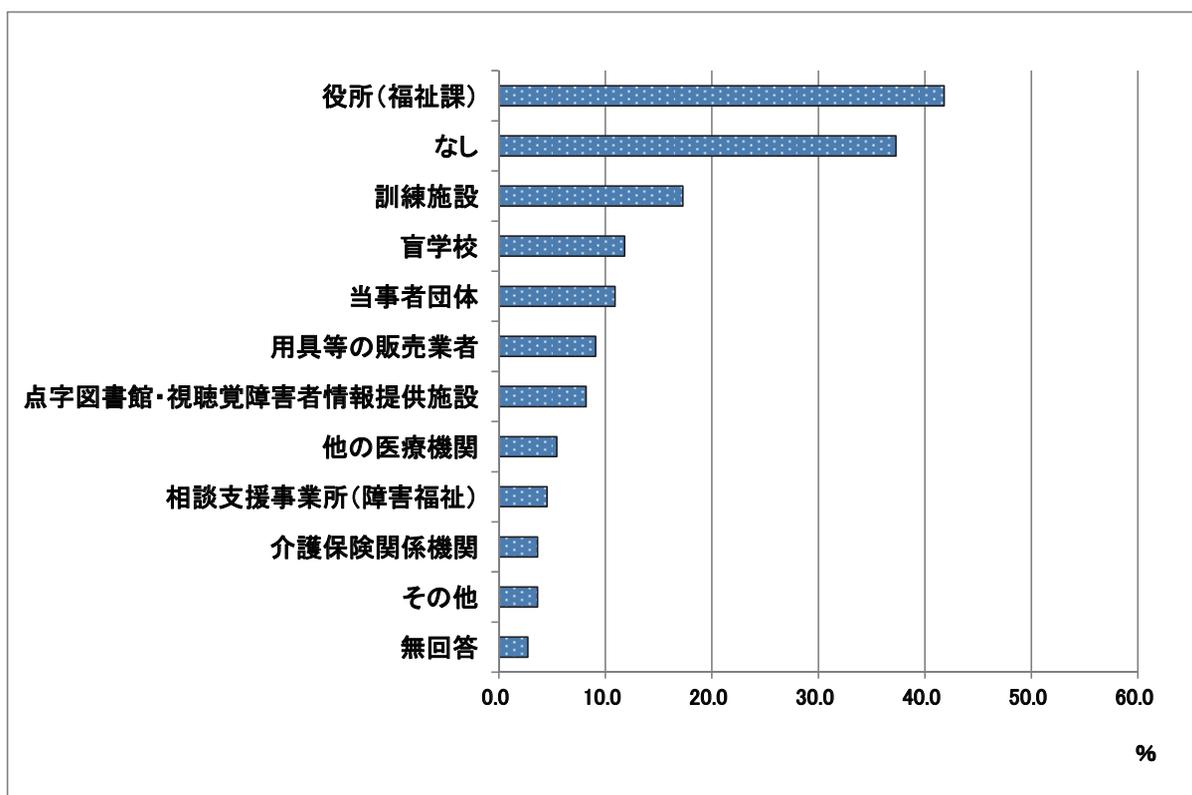


医療機関から受けた情報提供の内容では、「身体障害者手帳の申請方法」が約5割で最も割合が高かった。次に高かったのが「なし」で、3割の者は何も情報提供を受けていない結果となっていた。それ以外では、医療機関でも処方する可能性のある「補装具や日常生活用具の品目」は2割を超えていたが、「生活上の困りごとの相談窓口」や「訓練施設や訓練の内容」など具体的な相談先への紹介は2割を切っていた。

#### (2) 紹介された機関

「役所」が42%で最も割合が高かった。次に高かったのが「なし」で、4割近くの視覚障害当事者がどこも紹介してもらってなかった。「訓練施設」は17%だが、「盲学校」「当事者団体」「用具の販売業者」は15%を下回っていた。「介護保険関係機関」「相談支援事業所」はさらに低く、5%を切っていた。

【2-1-2 医療機関から紹介された機関】



この結果を踏まえると、医療関係者の多くは、「介護保険関係機関」「相談支援事業所」の機関を直接紹介するより、何をするにもまずは「役所」を紹介し、そこから「適切なところに紹介してもらえ」と考えていることが推測される。また、訓練施設が近くにある地域であれば、もう少し訓練施設を直接紹介してもらえるようになることが望ましい。

(3) 紹介後、実際に行った機関

回答の中には、紹介を受けていない機関を回答しているものも含まれていたため、個別にデータを抽出し、分析を行った。

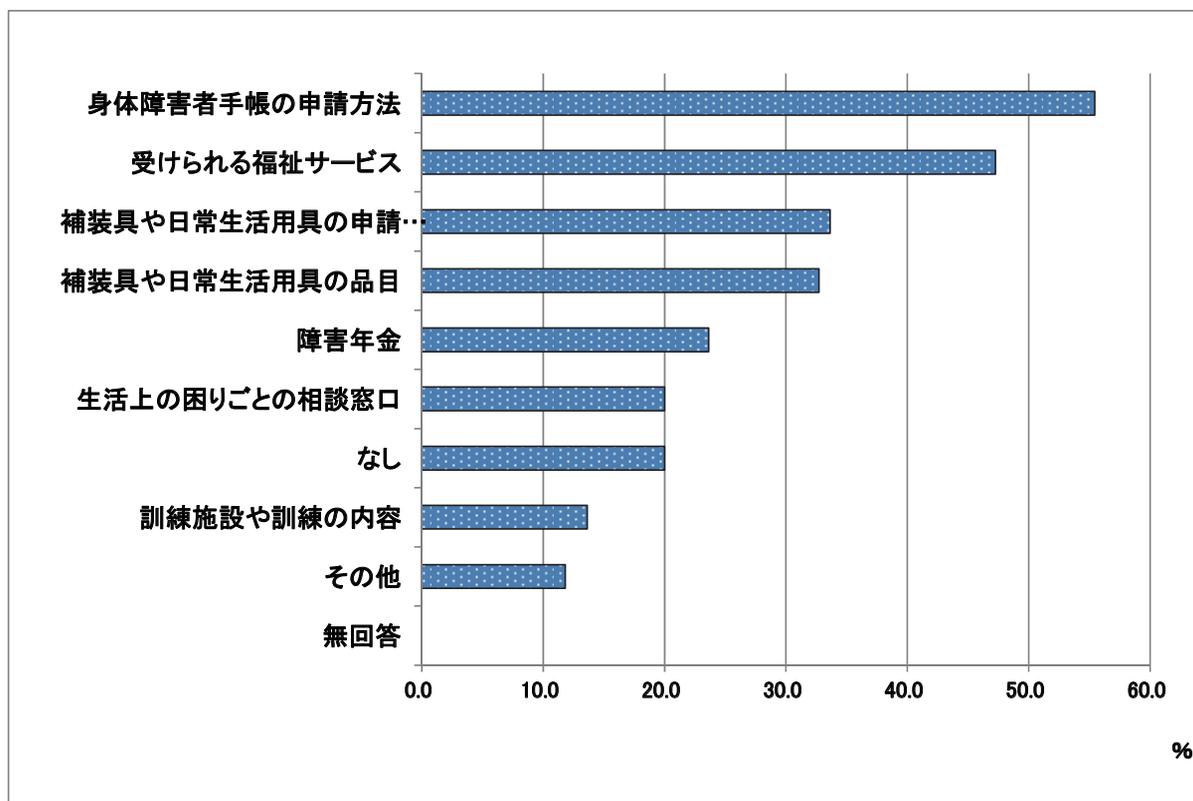
分析の結果、「役所」(45名/46名)、「訓練施設」(16名/19名)、「相談支援事業所」(4名/5名)には、紹介を受けた8割以上の視覚障害当事者が実際に行っていた。なお、「点字図書館・視聴覚障害者情報提供施設」についても7割を超えていた。一方で、1か所以上紹介されたがどこにも行かなかった者は6%(4名/69名)のみであった。

今回の結果からは、医療機関から適切に紹介してもらえば、訓練機関などにつながる可能性が高いことを示唆している。ただ、今回は施設までつながった視覚障害者を対象としているため、「よい結果」になりすぎている可能性はある。「紹介されたけれど行かなかった人」の理由の分析など追加の調査は必要と考える。

## 2. 訓練につながるまでの経緯② 役所について

### (1) 情報提供の内容

【2-1-3 役所からの情報提供の内容（身体障害者手帳の申請時）】



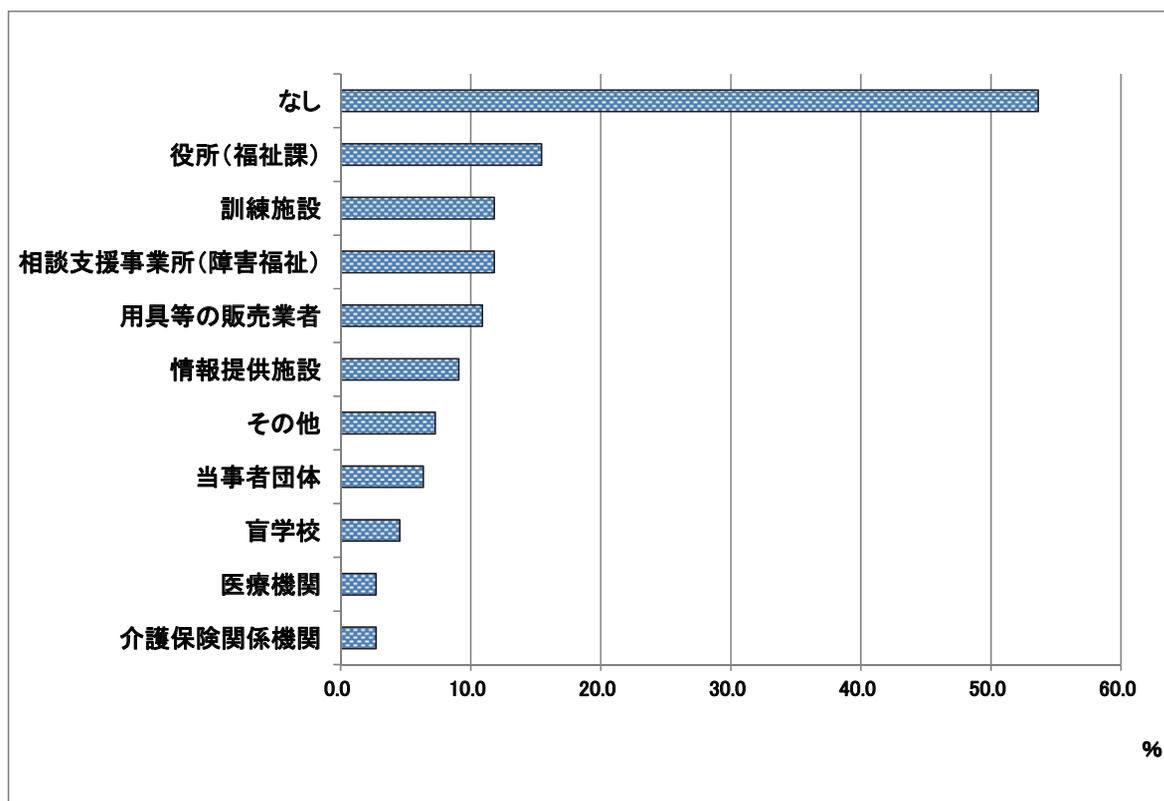
役所については、まず、「身体障害者手帳の申請方法」の回答が一番多く、5割以上が情報提供を受けたと回答をした。しかし、手帳の申請に行っていることを踏まえると、説明されている割合が低い数字に思える。この結果は、視覚障害当事者が、自治体からきちんとした説明を受けていない印象を持っている可能性を示唆している。

また、「受けられる福祉サービス」の情報提供は5割を切っており、「補装具や日常生活用具」についても3割程度しか説明を受けていない結果となっていた。さらに、「生活上の困りごとの相談窓口」と「訓練施設や訓練の内容」の説明は2割以下だった。つまり、役所での対応が制度・手続きの話にとどまっており、それぞれの困りごとに合わせた生活相談までは対応していない実態が伺える。

なお、情報提供が全く「なし」も2割の回答があった。実際には冊子などを渡されているのかもしれないが、視覚障害者が自分で確認できる媒体・方法で情報提供されていない可能性がある。

## (2) 紹介された機関

### 【2-1-4 役所から紹介された機関】



どこの機関も紹介されていない「なし」の回答が5割以上で最も割合が高くなっていた。「訓練施設」「用具の販売業者」「相談支援事業所」を紹介された者は1割を超えていたが、「盲学校」「点字図書館・視聴覚障害者情報提供施設」「当事者団体」は1割を切っていた。

これらの実態を踏まえると、視覚障害者が求める機関についての情報提供は、役所ではほとんど行われていないことが明らかになった。

### (3) 紹介後、実際に行った機関

医療機関と同様に、個別にデータを抽出し、分析を行った結果、紹介された機関のうち、「相談支援事業所」(11名/13名)、「訓練施設」(11名/13名)には8割以上の視覚障害当事者が実際に行っていた。また、「点字図書館・視聴覚障害者情報提供施設」、「当事者団体」にも7割以上の人が行っていた。

役所についても、医療機関と同様に、適切な情報提供があれば訓練などにつながる可能性は高くなるのではないだろうか。

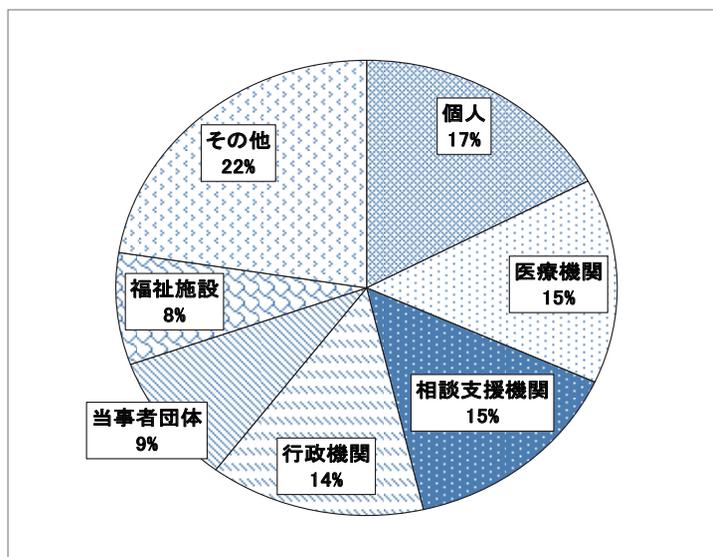
### 3. 訓練につながった背景

#### (1) 本人に訓練施設を紹介した機関

回答が分散しているが、「医療機関」「行政機関」「相談支援機関（障害）」「個人」が2割前後で比較的多い結果となっていた。

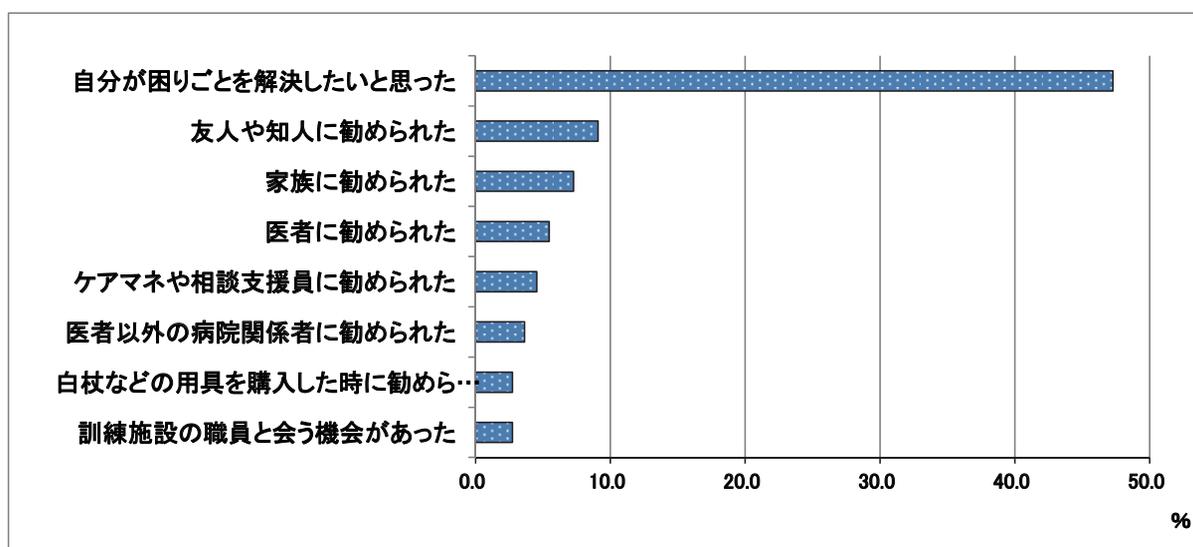
なお、「相談支援機関（障害）」については、役所から情報提供がなかった視覚障害当事者が、相談支援機関を紹介されて、そこで情報を得ていた、または他のサービスを使おうとして紹介されたケースが想定される。また、「個人」については、どこからも情報を受け取れなかった視覚障害当事者が、地域のどこかで出会った個人から訓練の存在を聞いたことが想定される。

【2-1-5 紹介元の割合】



#### (2) 実際に訓練施設に行こうと思った理由

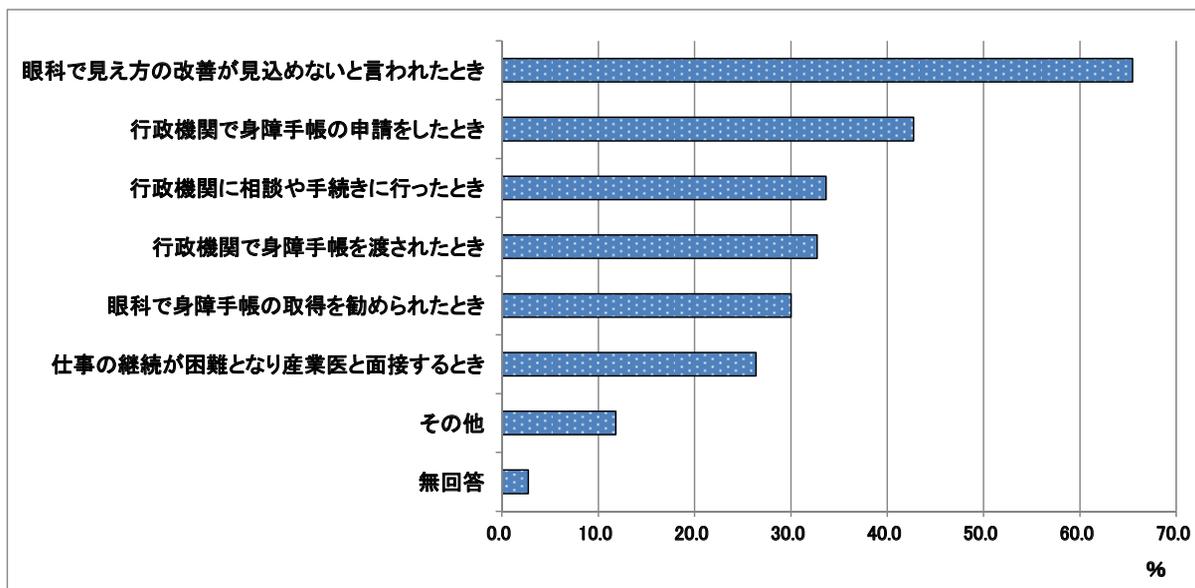
【2-1-6 訓練に行こうと思った理由】



「自分が困りごとを解決したいと思ったから」が4割以上で最も多くなっていた。「人に言われて来た」「連れてこられた」よりも、最終的には自分で考え、自分で決断した上で施設に来ている視覚障害当事者が多かったと言える。

### (3) 訓練の情報はどこでどの段階で教えてもらえるとよいか

#### 【2-1-7 訓練情報の適切な入手タイミング】



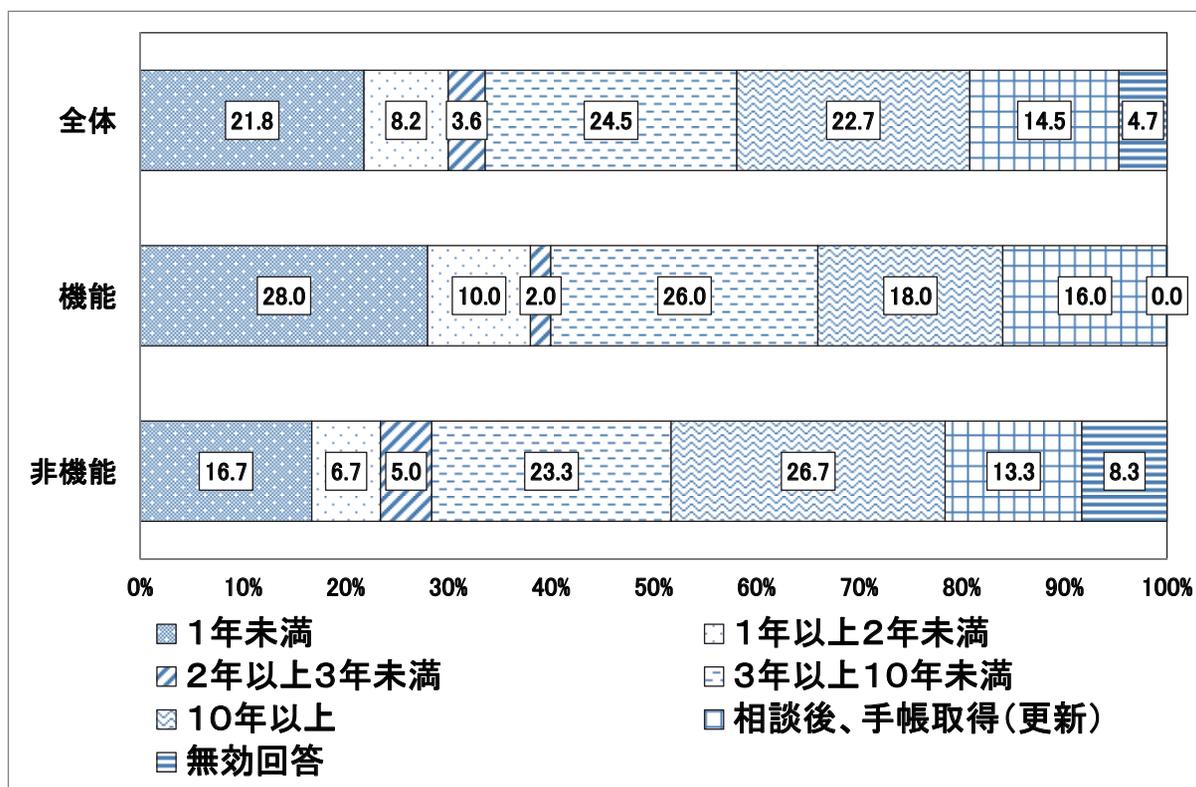
「眼科（医療機関）で見え方の改善が見込めないとされたとき」が最も割合が高く66%、次いで、「行政機関で身障手帳の申請をしたとき」が43%であった。多くの視覚障害者が医療機関・行政機関において、適切なタイミングで情報提供してほしいと考えていた。

「その他」には、医療機関、行政機関以外の回答もあった。今回の調査では、「どこで」の選択肢が医療機関・行政機関に限られていたため、それ以外で情報提供を受けるのに適切な場所があるかどうかは判明しなかった。

## 4. 訓練施設につながるまでの期間

### (1) 手帳取得から相談につながるまでの期間

【2-1-8 手帳取得から相談につながるまでの期間】



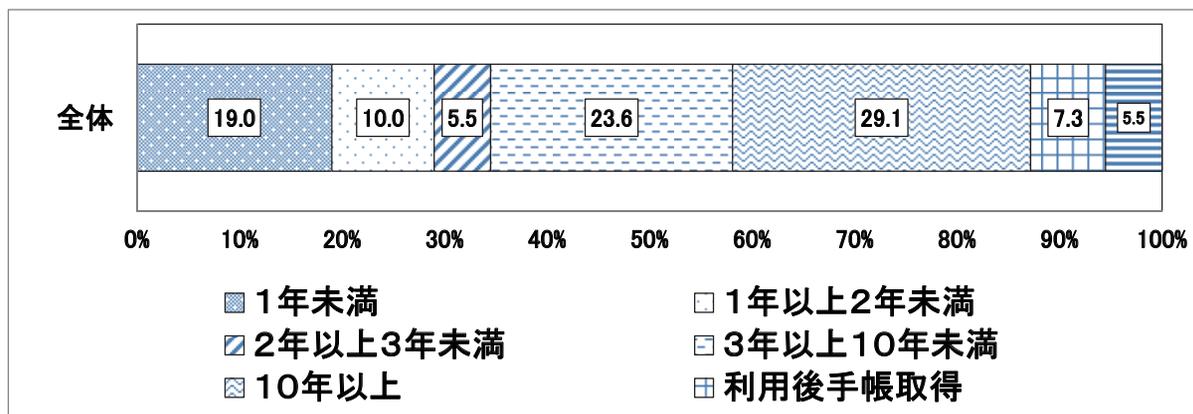
全体では、手帳取得（最終更新）から1年以内で相談につながった者は約2割であった。3年以上かかって相談につながった者が約45%で、手帳取得（最終更新）後に相談につながるまでにかなり時間がかかっていた。

10年以上かかって相談につながった者も約2割いたが、そのうち過半数は先天性の視覚障害もしくは網膜色素変性症であった。

機能訓練事業所と非機能訓練事業所との比較では、機能訓練事業所で1年未満につながった視覚障害当事者が多く、非機能訓練事業所で10年以上かかってつながっていた視覚障害当事者が多くなっていた。非機能訓練事業所については、先天性の視覚障害者への対応を多く受けている、もしくは地域性の問題が影響している可能性があり、さらなる分析が必要である。

## (2) 手帳取得から訓練開始までの期間

【2-1-9 手帳取得から訓練開始までの期間】

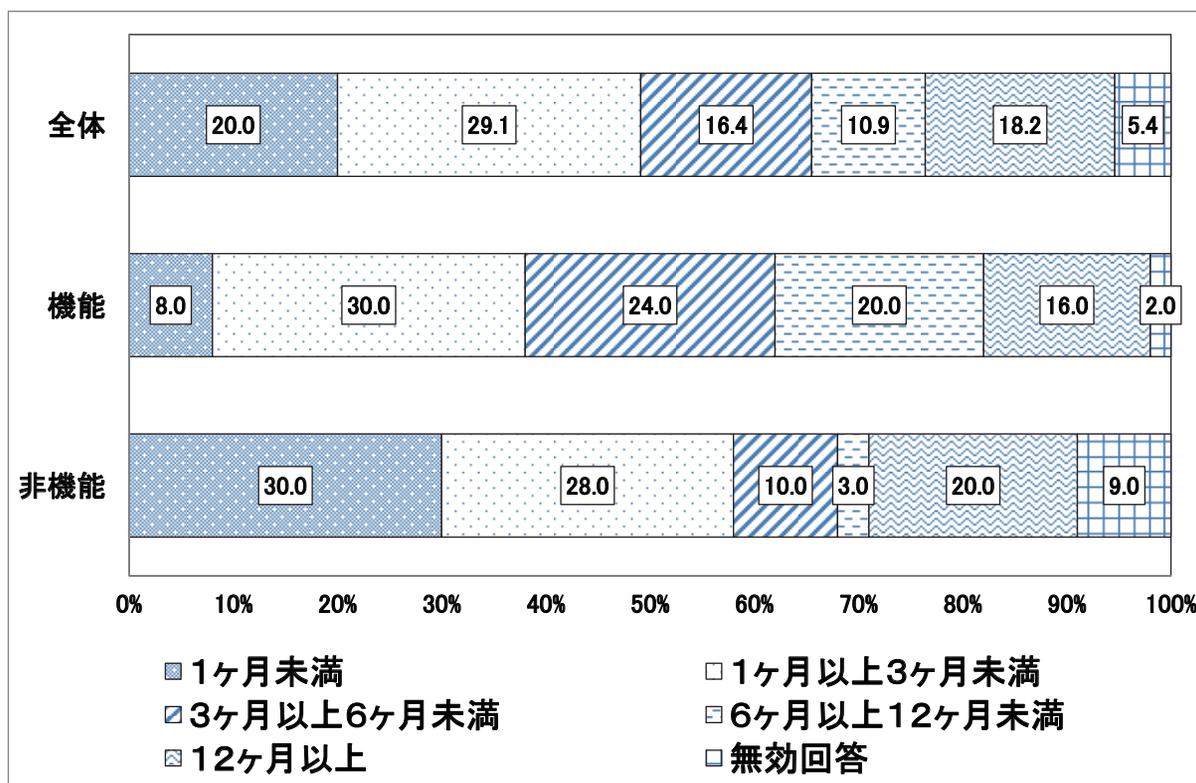


全体では、1年未満で訓練が開始できた者は2割弱であった。3年以上かかっている者が5割を超えており、手帳取得（最終更新）からかなり時間がかかって訓練を開始している者が多い結果となっていた。

(1)と同様に先天性の視覚障害がある視覚障害当事者からの回答も含まれてはいるが、手帳取得（最終更新）から、10年以上かかって訓練につながっていたケースが3割あった。

### (3) 相談から訓練開始までの期間

【2-1-10 相談から訓練開始までの期間】



全体では、1か月未満で訓練を開始できたのは2割であった。3か月以内で5割、半年以内で7割弱の者が訓練を開始していた。開始まで1年以上かかった者も2割程度いた。これらの結果を踏まえると、訓練開始まで時間がかかりすぎている感は否めない。ただ、本人側の理由なのか、施設側・制度上の問題なのかは今回の調査結果からは不明である。

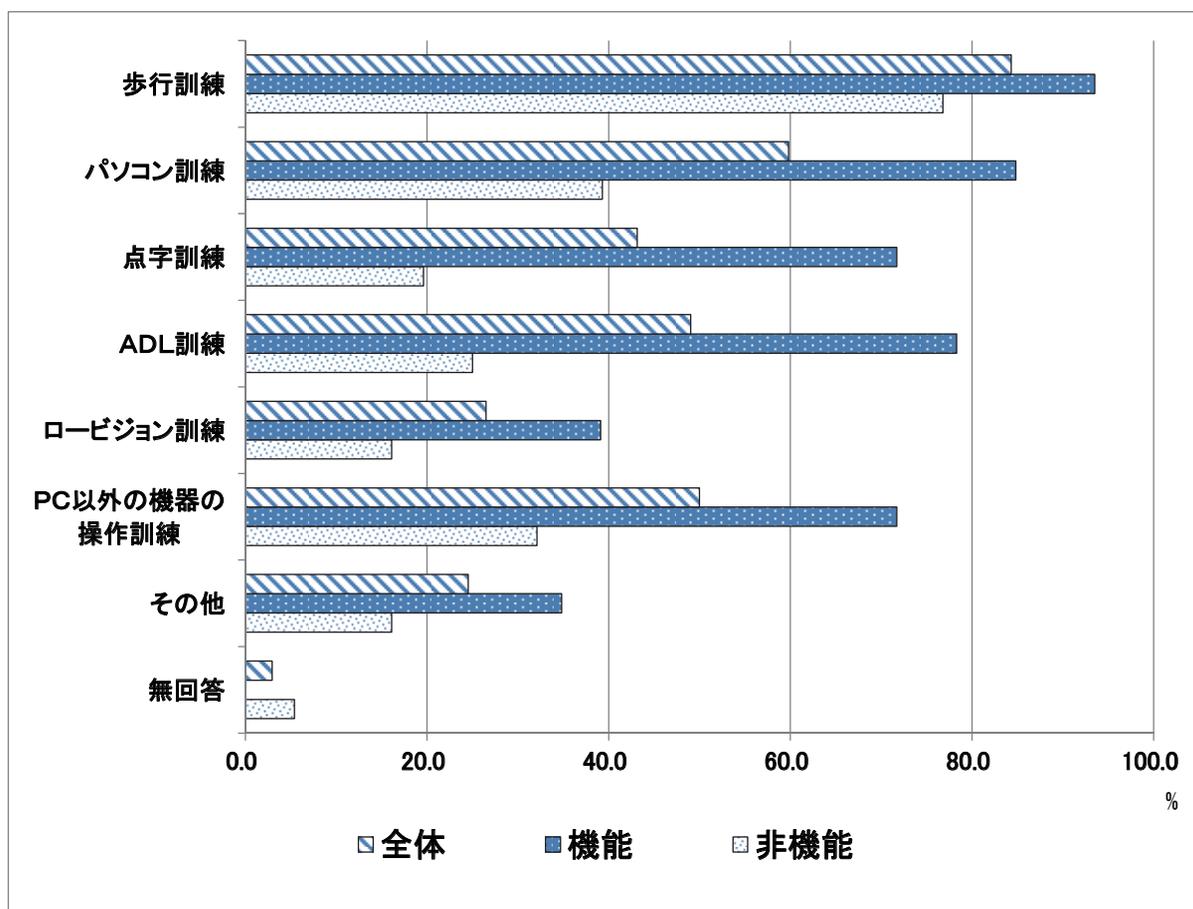
機能訓練事業所と非機能訓練事業所との比較では、非機能訓練事業所の方が、早く訓練を開始できている割合は高くなっていた。非機能訓練事業所では3か月未満で5割の者が開始できていたが、機能訓練事業所では6か月未満で5割を超えている。なお、開始までに1年以上かかった者もそれぞれ2割程度いた。

## 調査 2 - 2 訓練前後の生活の変化に関する調査

### 1. 訓練の内容

#### (1) 実施した訓練

【2-2-1 実施した訓練内容】

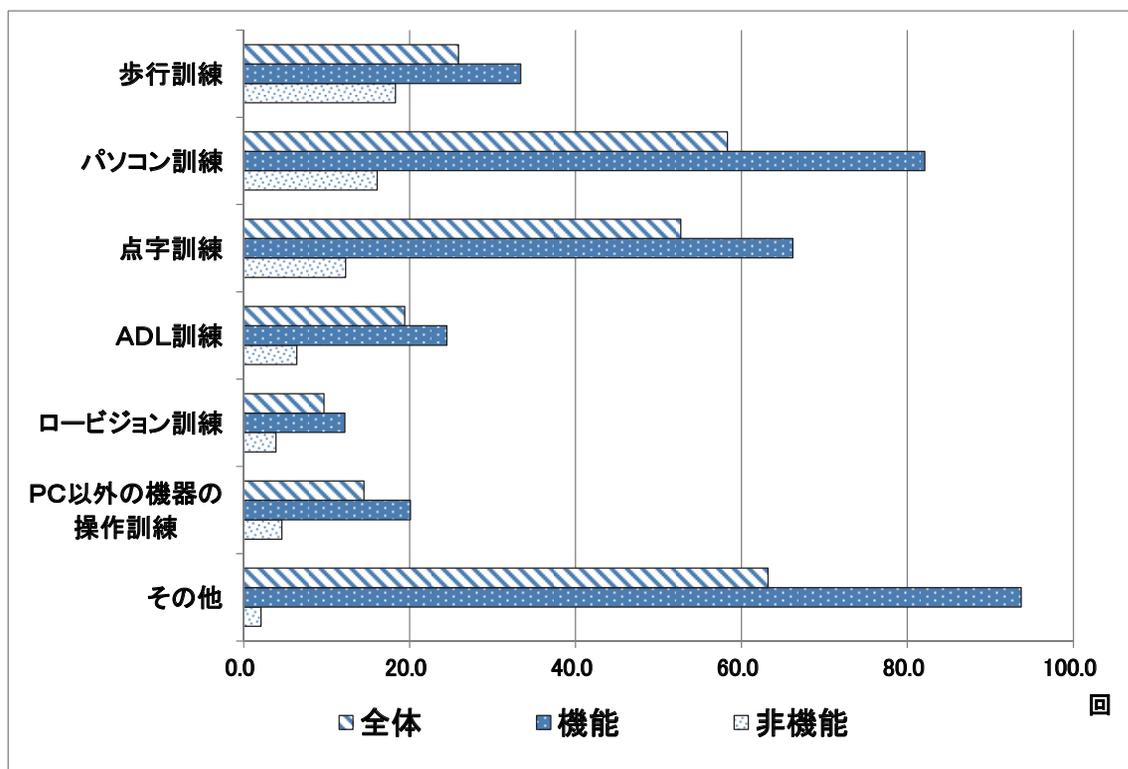


全体で見たときに、実施した訓練では、歩行が8割以上で最も割合が高くなっていた。以下パソコンが約6割、機器の訓練とADLが約5割、点字が約4割であった。

機能訓練事業所では、実施割合は歩行訓練が9割以上、パソコン訓練が8割以上、点字訓練・ADL訓練・機器の操作が7割以上であった。非機能訓練事業所では歩行訓練の実施割合は7割以上だが、それ以外の訓練は4割以下となっており、全般的に機能訓練事業所の方が各訓練の実施割合が高い結果となっていた。

## (2) 訓練回数

【2-2-2 各訓練の平均回数】



### \* 「その他」について

全体平均、機能訓練の平均では最も多くなっている。これは、1つの回答施設が感覚訓練などを「その他」の訓練として計上していたため、その影響で回数が多くなっている。その施設を除いた「その他」の訓練の平均実施回数は27.5回になる。

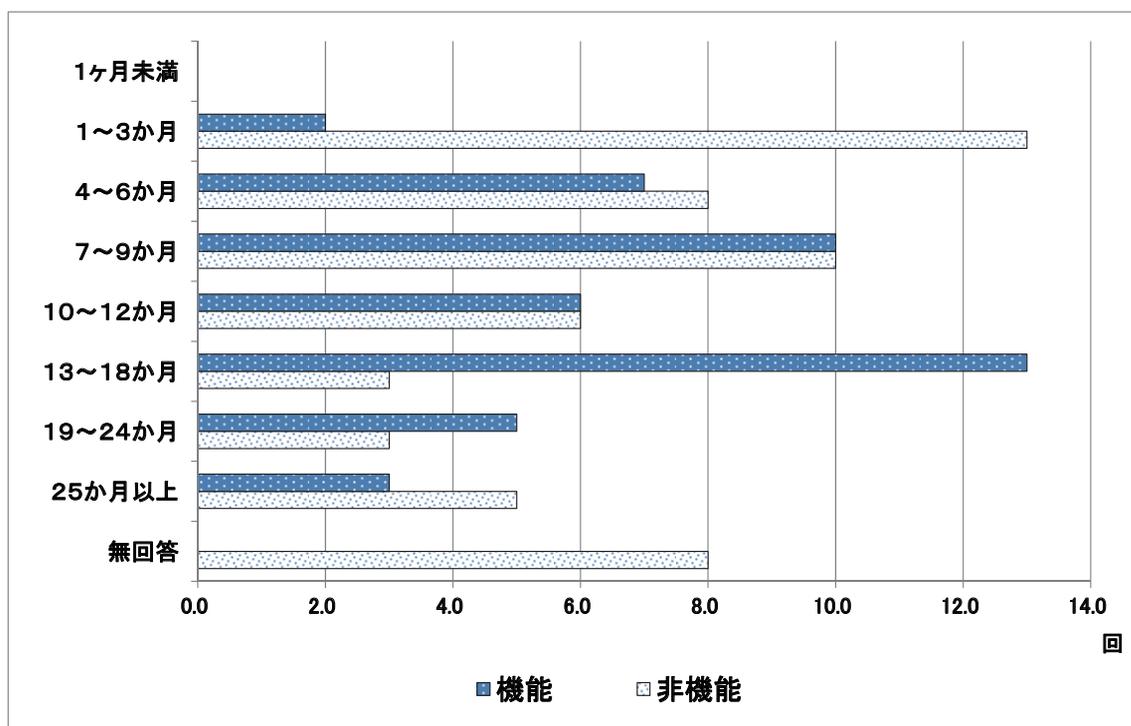
全体では、パソコンと点字の平均訓練回数は50回以上で、他の訓練と比べて多くの回数の訓練が行われていた。なお、歩行訓練は26回であった。

機能訓練事業所の平均訓練回数では、パソコン訓練が80回以上、点字訓練が60回以上となっていた。歩行訓練の平均訓練回数は33回であった。

非機能訓練事業所では、全般的に機能訓練事業所よりも平均訓練回数が少なかった。歩行訓練が最も多く、平均で18回、以下パソコン訓練が16回、点字訓練が12回だが、基本から実用レベルまでの訓練としては回数が少ない。実施している訓練の詳細内容について、追加調査が必要かもしれない。

### (3) 訓練期間

【2-2-3 訓練期間の分布】



非機能訓練事業所では、無回答を除けば、3か月未満が3割弱、半年以内で4割強、1年以内で8割弱の者が訓練を終了していた。2年半以上継続した者も約1割いた。

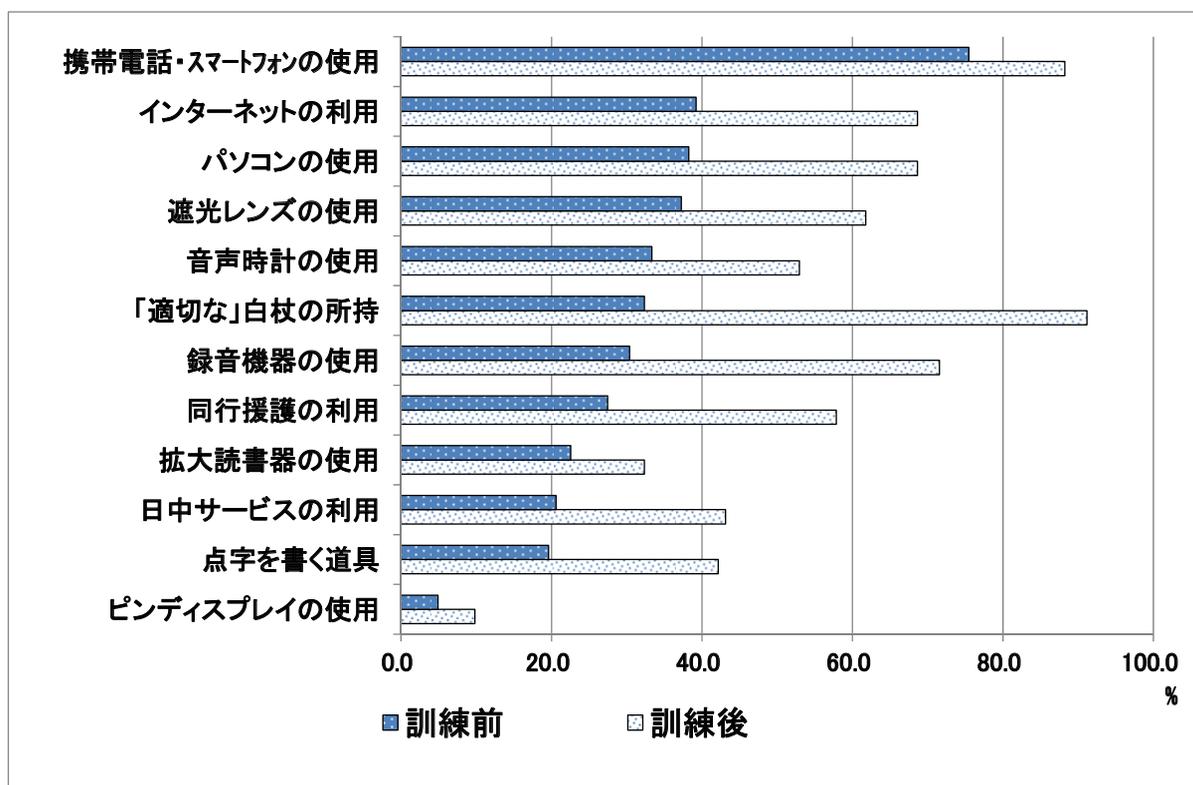
機能訓練事業所では、3か月未満で終了しているのは5%未満で、半年以内で2割強、1年以内で5割強が終了していた。2年半以上継続した者は7%であった。

機能訓練事業所の方が全般的に訓練期間は長めだが、非機能訓練事業所では10年近く訓練を行っている者もいた。

## 2. 訓練前後の変化

### (1) 訓練前後の利用状況の変化

#### 【2-2-4 用具や機器、福祉サービスの利用状況の変化】



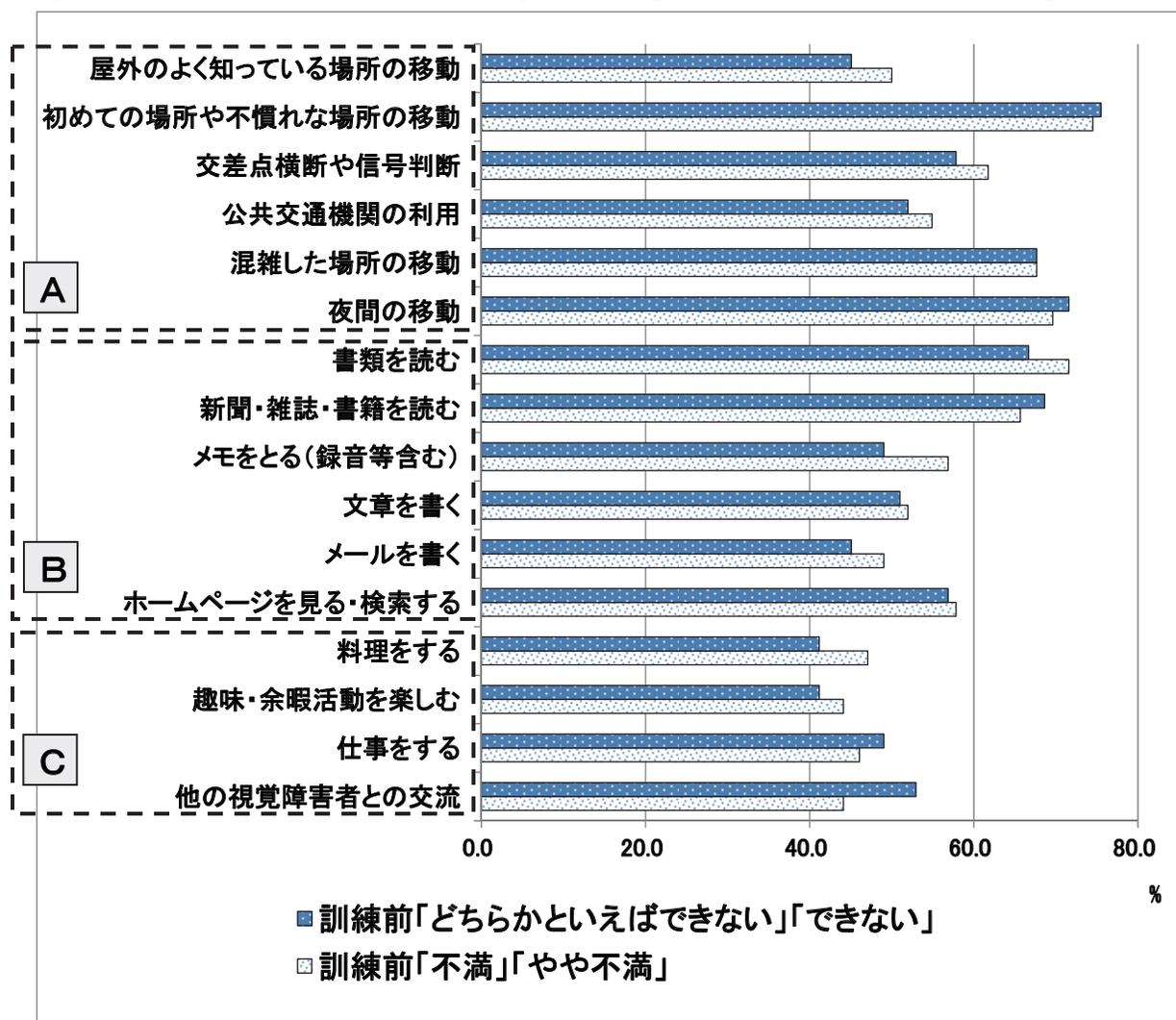
用具や機器、福祉サービスの利用状況に関する設問の中で、訓練開始前に5割を超えていたのは「携帯電話・スマートフォンの利用」だけであった。見え方や生活状況によって必ずしも全員に当てはまるものではないだろうが、補装具や日常生活用具も含まれていることを考えると全般的に低い数値であった。ただし、実際に訓練後の状況を見てみると全般的に回答率は上がっている。必要なモノが必要とする人に届いていない状況が伺える。

アップ率（訓練前なしから訓練後ありへの変化）でみると「適切な白杖の所持」で60%近くアップしていた。白杖については、設問では「適切な」と書いていたので、白杖自体を所持していた者はもっと多かったのかもしれないが、実際にその者に合った白杖は訓練を受けた後でしか受け取りづらい現状になっていた。

また、アップ率が高い項目として「同行援護の利用」も倍近く増えているが、制度やその利用法についての適切な情報が十分届いていないことも結果に含まれていると伺える。さらに、「録音機器」「パソコン」「点字を書く道具」など文字処理手段もアップ率が高く、訓練のニーズが高かったと言えるだろう。

## (2) 訓練前後の技術的・精神的な変化

【2-2-5 訓練前に「できない」「不満」と回答した割合が高い項目】



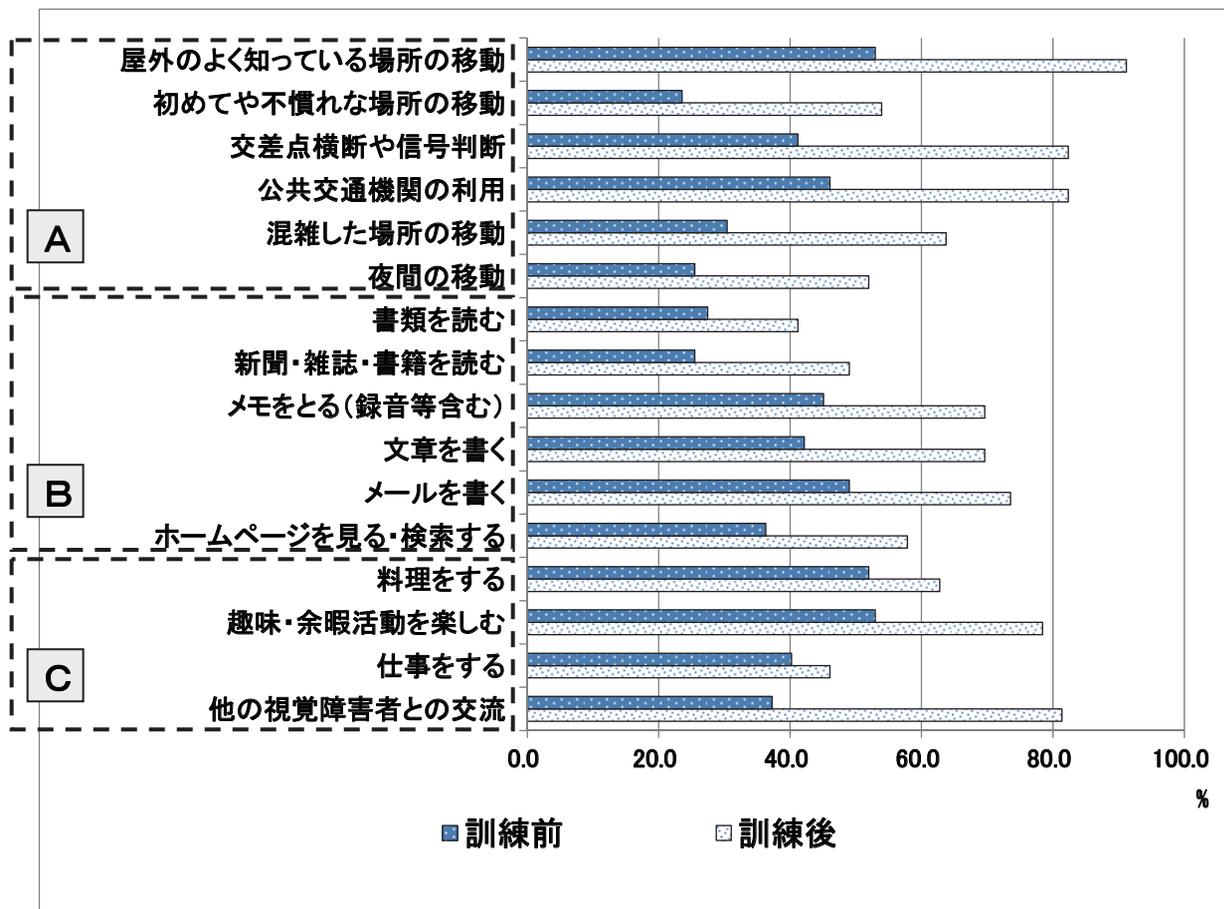
訓練前に「単独でできない」、さらに、その状況への「不満度が高い」と回答した中で、いずれも4割を超えていたのは以下の項目であった。

- A群 移動関連 6項目
- B群 読み書きおよびパソコンなど機器の操作 6項目
- C群 社会参加など 4項目

これらの項目については、調査で確認した設問の中では、視覚障害による困難度が高く、現状への不満が強い項目と考える。そのため、これらの項目については、訓練前後の状況を以降で深く分析した。

# ① 技術的な変化

【2-2-6 訓練前後での「できる」「どちらかといえばできる」の変化】



【※1】 訓練後、7割以上の項目

| 群 | 項目              |
|---|-----------------|
| A | 屋外をよく知っている場所の移動 |
| A | 交差点横断や信号判断      |
| A | 公共交通機関の利用       |
| B | メールを書く          |
| C | 趣味・余暇活動を楽しむ     |
| C | 他の視覚障害者との交流     |

【※2】 訓練後、5割以下の項目

| 群 | 項目               |
|---|------------------|
| B | 書類を読む(郵便物や請求書など) |
| B | 新聞・雑誌・書籍を読む      |
| C | 仕事をする            |
|   |                  |
|   |                  |

【※3】 アップ率30%以上

| 群 | 項目               |
|---|------------------|
| A | 屋外をよく知っている場所の移動  |
| A | 初めての場所や不慣れな場所の移動 |
| A | 交差点横断や信号判断       |
| A | 公共交通機関の利用        |
| A | 混雑した場所の移動        |
| C | 他の視覚障害者との交流      |

【※4】 アップ率40%以上

(項目に関する訓練を受けた者のみ)

| 群 | 項目              |
|---|-----------------|
| A | 屋外をよく知っている場所の移動 |
| A | 交差点横断や信号判断      |
| A | 公共交通機関の利用       |
| B | 文章を書く           |
| B | ホームページを見る・検索する  |
|   |                 |

比較の結果、訓練後に「できる」「どちらかといえばできる」と回答した割合は全般的に上がっていることが分かった。その割合が7割を超えていた内容は、A群とC群は高く、B群は低かった。

しかし、訓練後でも「できる」などの割合が5割を切っていた内容は、B群とC群で確認できた。これらについては訓練する施設側の課題と言える。

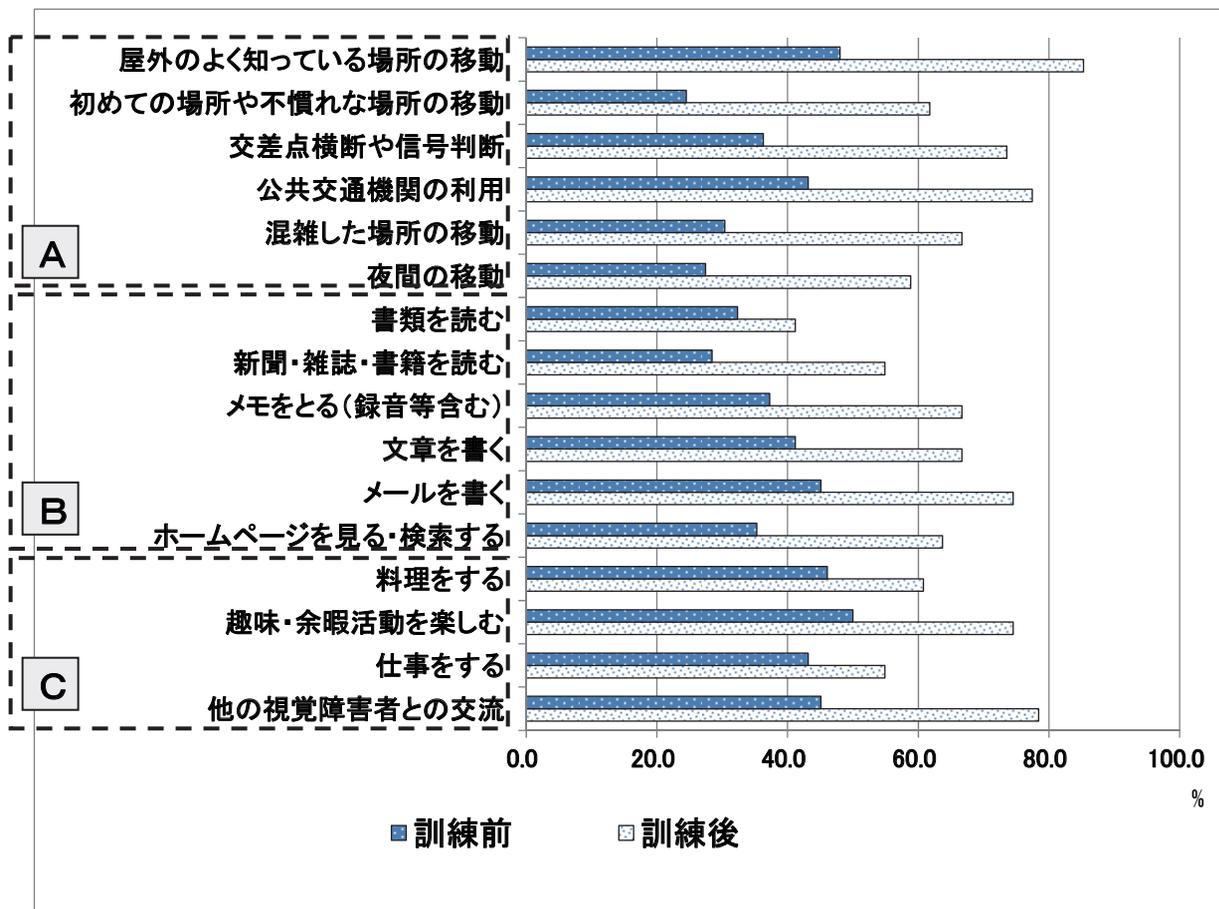
できるようになった割合の上昇を示すアップ率(\*1)については、ここでもA群の移動関連が目立った。

また、項目に関する訓練を受けた者に限定して分析をすると、アップ率が40%を超えていたのは5項目であった。全般的にアップ率が上がるとともに、B群のパソコン訓練に関する内容が含まれてきた。

(\*1)「できる」「どちらかといえばできる」の回答割合において、訓練前の回答割合(a)と訓練後の回答割合(b)の変化量を示した数値 ( $b-a$ =アップ率)

## ②満足度（納得度）の変化

【2-2-7 訓練前後の「満足」「どちらかといえば満足」の変化】



【※1】訓練後、7割以上の項目

| 群 | 項目              |
|---|-----------------|
| A | 屋外をよく知っている場所の移動 |
| A | 交差点横断や信号判断      |
| A | 公共交通機関の利用       |
| B | メールを書く          |
| C | 趣味・余暇活動を楽しむ     |
| C | 他の視覚障害者との交流     |

【※2】訓練後、5割以下の項目

| 群 | 項目               |
|---|------------------|
| B | 書類を読む(郵便物や請求書など) |
|   |                  |
|   |                  |
|   |                  |
|   |                  |

【※3】アップ率30%以上

| 群 | 項目               |
|---|------------------|
| A | 屋外をよく知っている場所の移動  |
| A | 初めての場所や不慣れな場所の移動 |
| A | 交差点横断や信号判断       |
| A | 公共交通機関の利用        |
| A | 混雑した場所の移動        |
| A | 夜間の移動            |
| C | 他の視覚障害者との交流      |

【※4】アップ率40%以上

(項目に関する訓練を受けた者のみ)

| 群 | 項目              |
|---|-----------------|
| A | 屋外をよく知っている場所の移動 |
| A | 交差点横断や信号判断      |
| A | 公共交通機関の利用       |
| A | 混雑した場所の移動       |
| B | メモをとる(録音など含む)   |
| B | メールを書く          |
| B | ホームページを見る・検索する  |

満足度においても、訓練後に「満足」が7割を超えていたのは、「①技術的な変化」と同様なA群、B群、C群の項目が挙がっていた。

しかし、「書類（郵便物や請求書など）を読む」だけは、満足度が5割を切っていた。

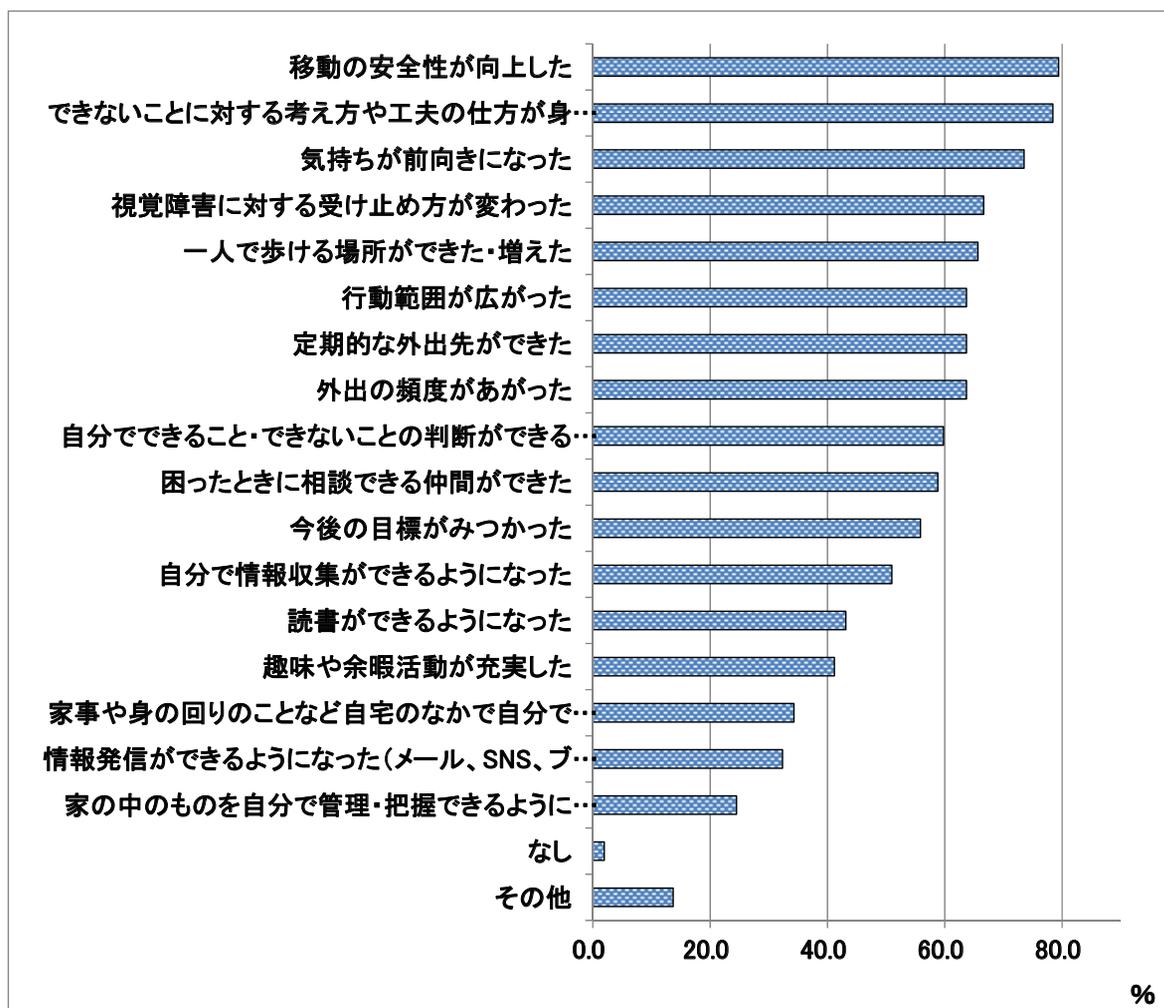
満足度の上昇を示すアップ率(\*1)については、30%以上のアップ率があったのはA群の移動関連が目立った。

また、実際に項目に関係する訓練を受けた方だけに限定すると、アップ率が40%を超えていたのはA群を中心としつつ、ここでもB群のパソコン関係のものも上位に入っていた。

(\*1) 「満足している」「どちらかといえば満足している」の回答割合において、訓練前の回答割合(a)と訓練後の回答割合(b)の変化量を示した数値 ( $b-a$ =アップ率)

### (3) 訓練後の生活の変化

【2-2-8 訓練前後の生活の変化】

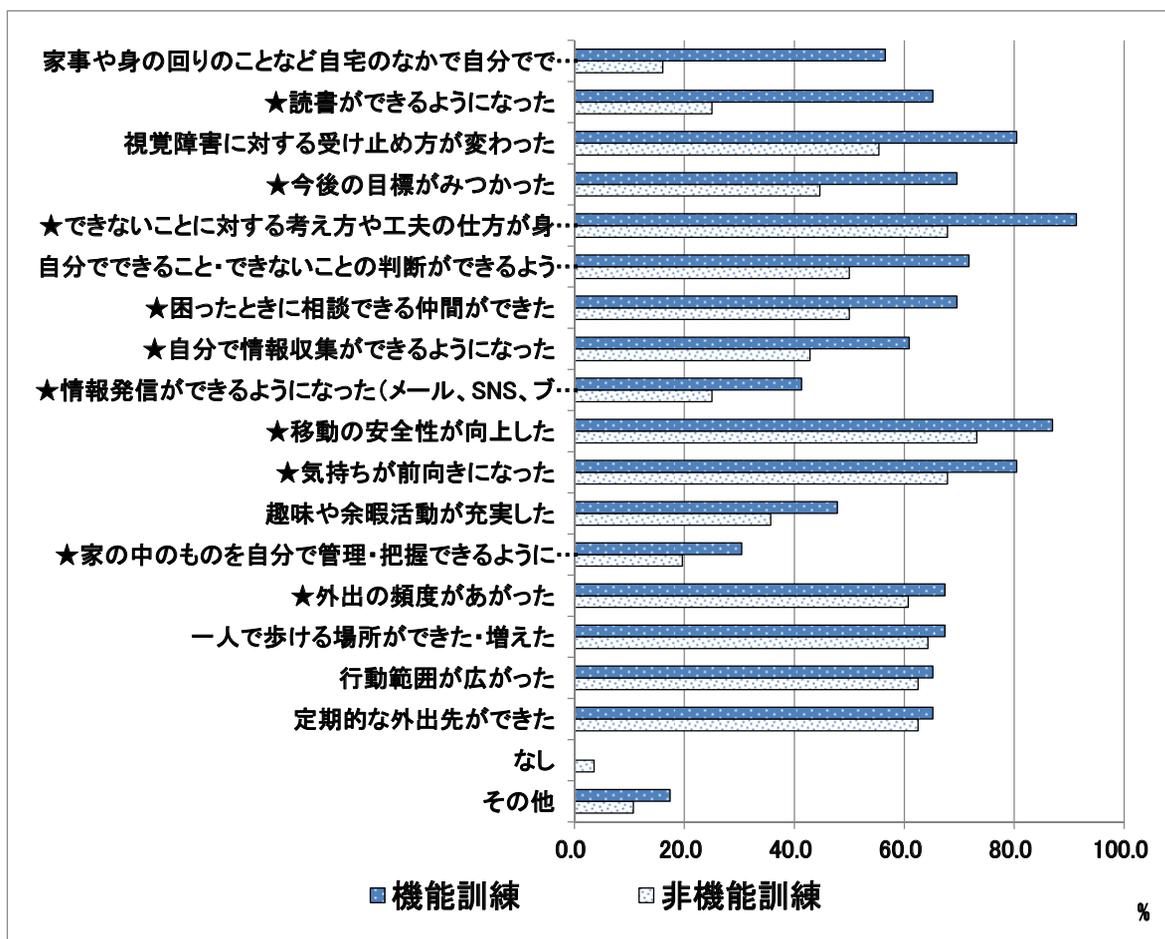


全体では、7割以上が回答していたのは「移動の安全性が向上した」「できないことに対する考え方や工夫の仕方が身に付いた」「気持ちが前向きになった」であった。

また、6割以上が回答していたのは、「外出の頻度が上がった」「一人で歩ける場所ができた・増えた」「定期的な外出先ができた」「行動範囲が広がった」「視覚障害に対する受け止め方が変わった」であった。

これにより、訓練によって技術的な変化だけでなく、精神面の変化も大きいことが分かった。

【2-2-9 訓練前後の生活の変化（比較）】



【※1】機能訓練において、非機能訓練より20%以上高かった項目

| 順位 | 項目                            |
|----|-------------------------------|
| 1位 | 家事や身の回りのことなど自宅の中で自分でできることが増えた |
| 2位 | 読書ができるようになった                  |
| 3位 | 視覚障害に対する受け止め方が変わった            |
| 4位 | 今後の目標が見つかった                   |
| 5位 | できないことに対する考え方や工夫の仕方が身に付いた     |
| 6位 | 自分でできること・できないことの判断ができるようになった  |

機能訓練事業所と非機能訓練事業所との比較では、全項目において機能訓練事業所の方が回答者の割合が高くなっていました。

特に差が大きかった内容は【※1】の6項目になり、精神面や考え方の変化に関する項目が多くなっていました。これらについては、集団での訓練、回数の多い訓練による効果と考えられる。

また、母数が少ないものの、トータル訓練回数が多くなるにつれて回答率が上がっていたのは表の★印の項目になり、19項目中10項目であった。



### 3 訓練紹介機関

## 1. 調査対象の整理

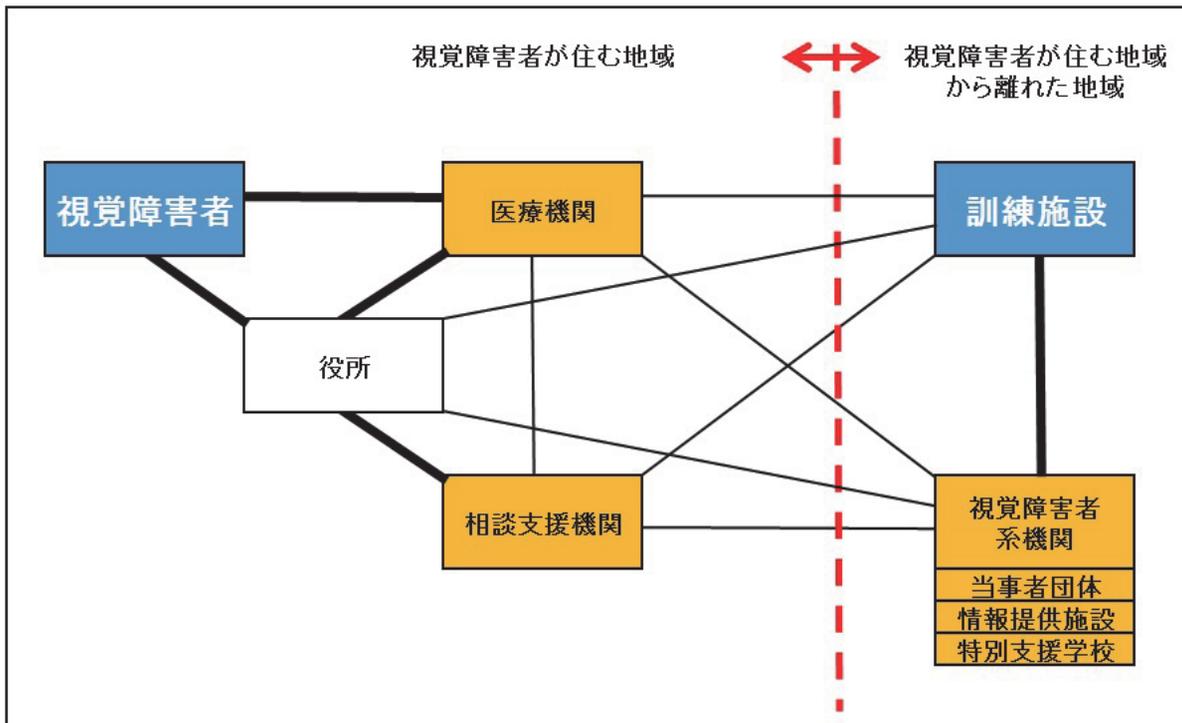
【3-1 調査対象 整理表】

| グループ          | 対象             | 受障したての視覚障害者とのつながり                       | 他グループとのつながり  | 訓練施設とのつながり                        |
|---------------|----------------|---|--|-----------------------------------|
| A<br>医療機関     | ①医療機関(眼科)      | 一番最初に相談をすることが多く、近い存在                    | B 相談支援:あまり接点がなく、つながりが細い<br>C 視覚障害者系:あまり接点がなく、つながりが細い<br>D 役所:手帳の交付等でつながりが太い                  | 接点が少ない、距離感があり、つながりは細い             |
| B<br>相談支援機関   | ②相談支援事業所       | 地域の役所等に相談があった場合、相談先として紹介されるケースが多く、比較的近い | A 医療機関:あまり接点がなく、つながりが細い<br>C 視覚障害者系:視覚障害に特化した施設は地域にないため、つながりが細い<br>D 役所:障害福祉サービスの相談等でつながりが太い | 地域にないため、距離感があり、つながりは細い            |
| C<br>視覚障害者系機関 | ③視覚障害者の当事者団体   | 地域に数が少ない、存在が知られていないことなどから、距離がある         | A 医療機関:あまり接点がなく、つながりが細い<br>B 相談支援:あまり接点がなく、つながりが細い<br>D 役所:近くの役所はつながりが太いが、遠い役所はつながりが細い       | 視覚障害者系として情報を共有しており、距離感は近く、つながりも太い |
|               | ④視覚障害者向け情報提供施設 |   |  |                                   |
|               | ⑤視覚特別支援学校      |   |  |                                   |

調査3では、各地域における相談・対応内容の実態や視覚障害者支援における連携に対する意識を確認する目的で、視覚障害者と接点が生まれる機関＝訓練紹介機関を調査対象とした。

調査対象の設定においては、受障した直後の視覚障害者、各グループ、訓練施設との「距離感」と「つながりの太さ」を整理した上で対象設定を行った。なお、手帳の交付などで接点が生まれる市区町村の役所についても考慮した上で整理を行った。

【3-2 視覚障害者を取りまく環境 イメージ図】

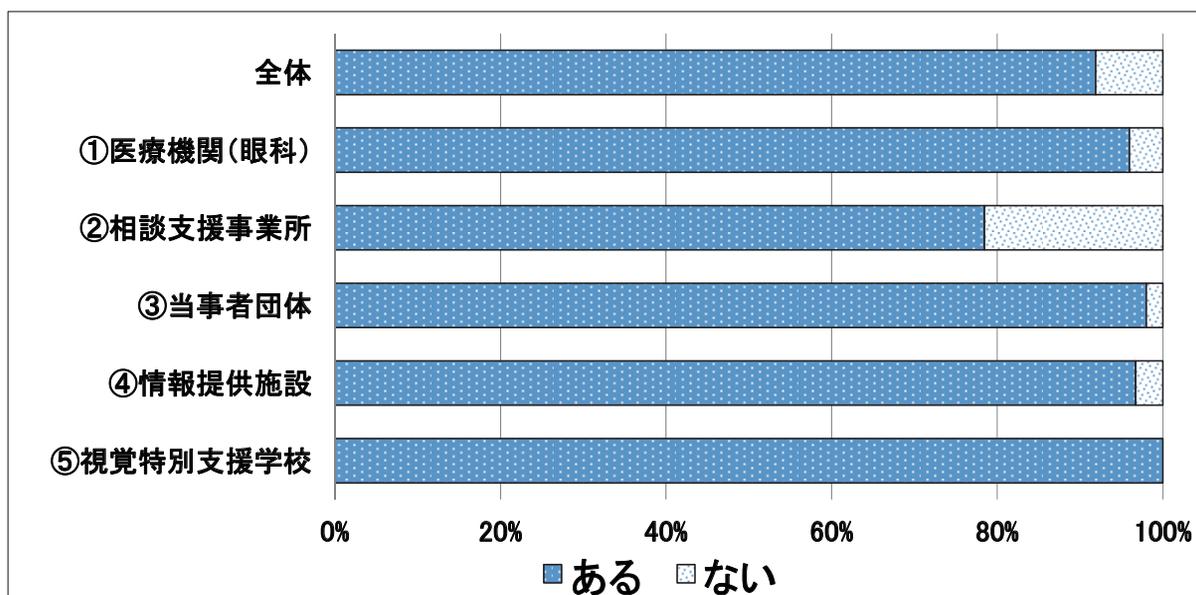


そして、整理された内容を踏まえると、上記のイメージ図を描くことができた。

調査3では、このイメージを踏まえつつ、「医療機関、相談支援機関、視覚障害者系機関が連携できれば、地域に住む視覚障害者を円滑に訓練につなげることができるのではないか」という仮説を立て、調査を行った。

## 2. 視覚障害者からの相談

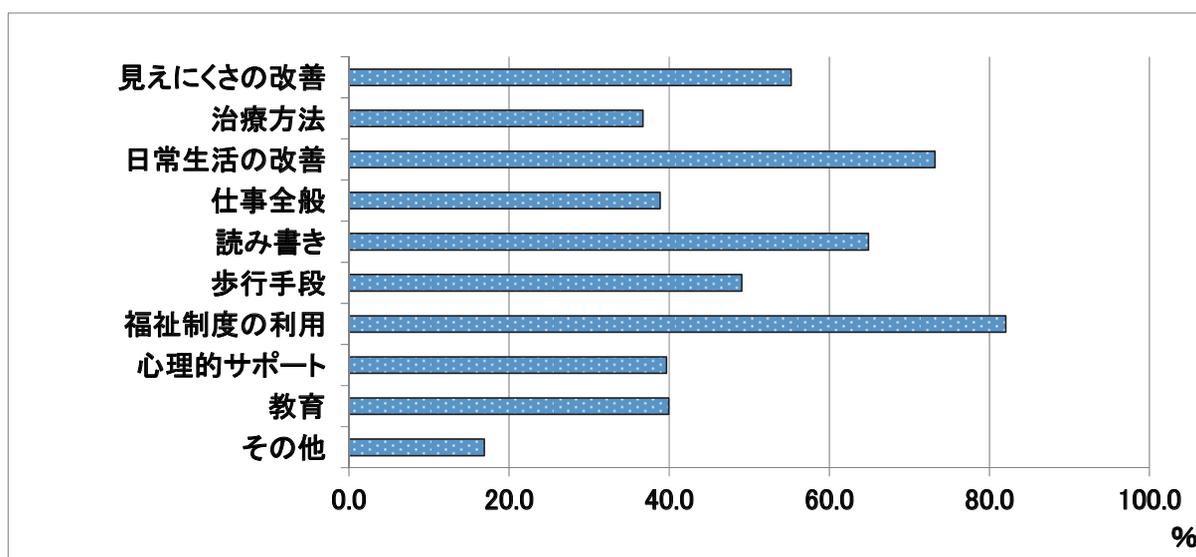
【3-3 各対象 視覚障害者からの相談の有無】



地域の視覚障害者からの相談の有無については、全体平均は約92%、対象別でも高い数字を示しており、これらの機関では、日常的に視覚障害者からの相談があることが分かった。

ただし、②相談支援事業所については「相談あり」が78%と他の対象よりも少なくなっている。②相談支援事業所については、回答した機関がある程度は視覚障害者に関係がある可能性はあり、本来はもっと少ない可能性も考えられる。

【3-4 視覚障害者からの相談内容（全体平均）】

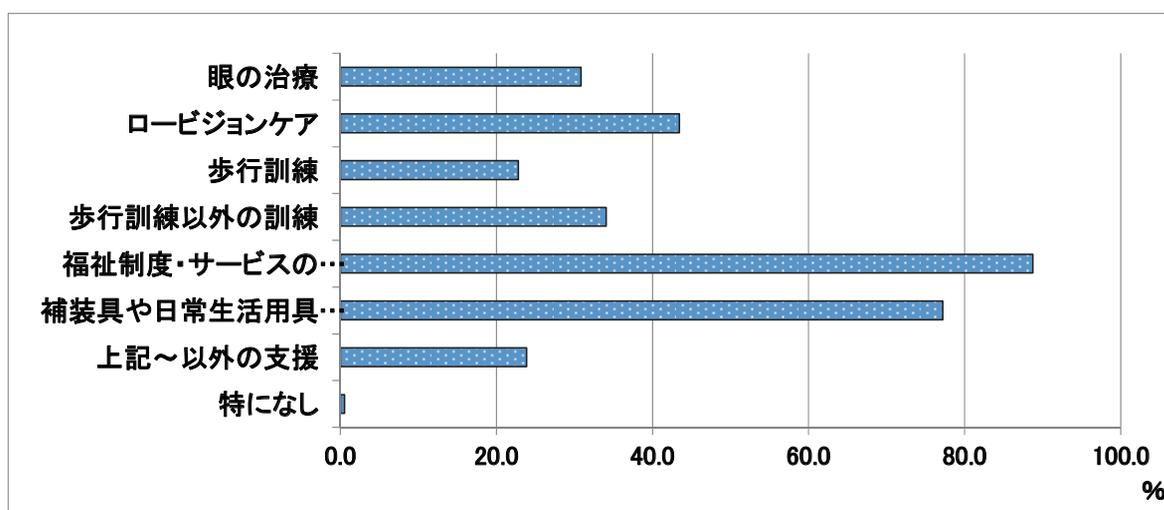


次に、相談を受けた内容を確認した。それぞれの対象によって、得意とする分野があるため、対象ごとでは大きく相談を受ける内

容の傾向が異なっていたが、全体を平均すると「福祉制度の利用」（８２％）と「日常生活の改善」（７３％）は、②相談支援事業所以外で軒並み高い数字を示した。また、他の相談内容も４０％～６０％程度はあり、視覚障害者の相談が多岐に渡ること、そして、日常生活で困ることについては改善を求めて相談を行っていることが分かった。

なお、訓練に関する内容は調査対象によりばらつきがあった。設問項目の「歩行手段」は、歩行訓練と同行援護も含んだ設問ではあるが、③当事者団体では８７％を示したのに対し、①医療機関では４７％、②相談支援事業所では２２％となり、訓練に関する相談は対象によって大きな差があることが分かった。

【３－５ 視覚障害者からの相談 対応できる支援（全体平均）】



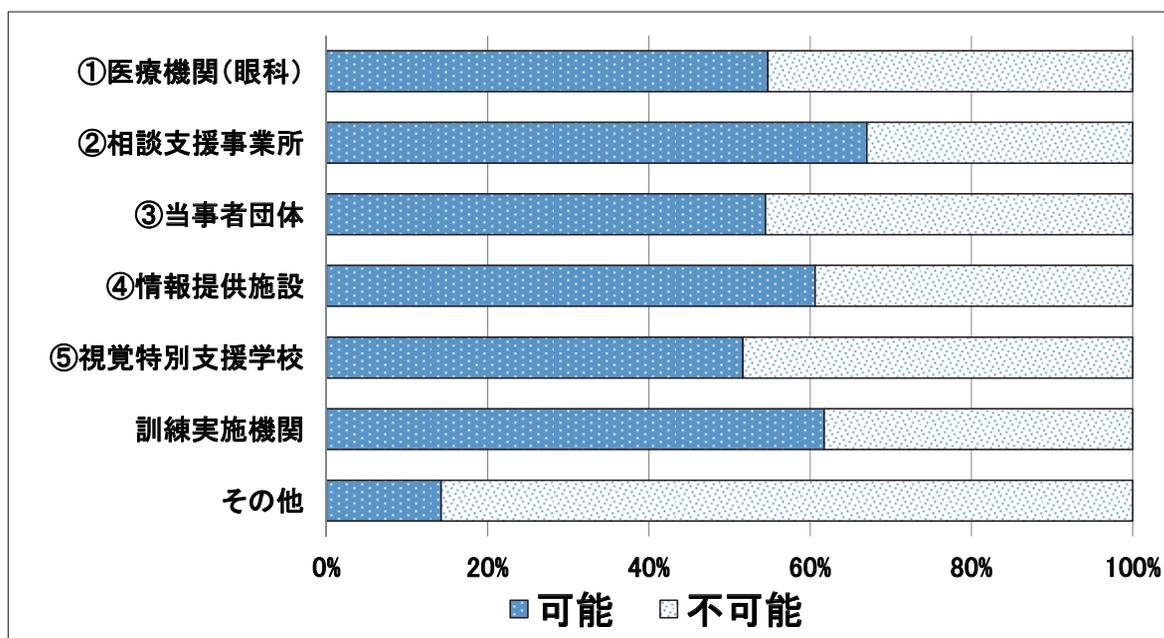
そして、相談を受けた内容について、自らの機関で対応ができる支援内容についても確認を行った。

全体平均をみると、「福祉制度・サービスの紹介」（８８％）と「補装具や日常生活用具の紹介」（７７％）など、訓練や治療行為に比べると比較的ノウハウや設備を問わない支援は平均的に高かった。

ただ、この設問についても、それぞれの対象での独自性は強かった。特に訓練に係わる内容については、A医療機関、B相談支援機関のグループはゼロに近い値に対して、C視覚障害者系機関は、４０～６０％程度は自らの機関で訓練などを支援することができるという回答をしていた。これは、C視覚障害者系機関は、視覚障害者の支援を１つの機関が総合的に行う背景があることが理由として考えられる。

### 3. 各機関の紹介の実態

【3-6 各対象 紹介先機関の紹介率】

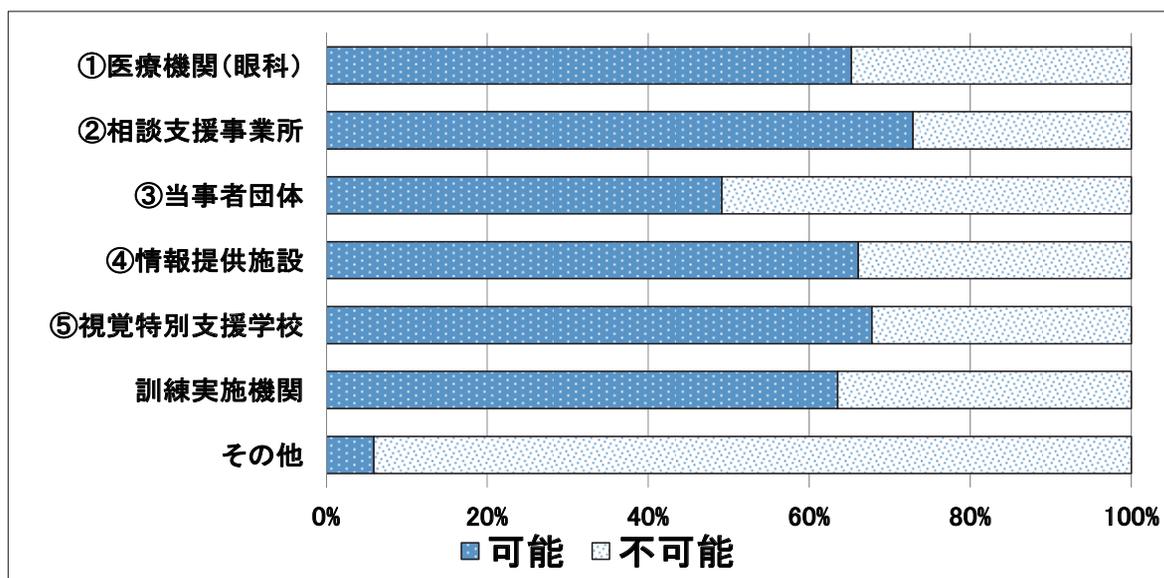


自らの機関で支援ができない場合、その支援を実施している機関への紹介について確認をしたところ、全体平均では96%が紹介できる機関が「紹介できる」と回答していた。

しかし、実際にどのような機関につないでいるかを個別に確認すると、全体平均ではそれぞれ50～60%台の紹介率になっていた。この紹介率については、グループ別に分析をすると、それぞれの独自性により紹介率の傾向が異なり、各グループへのつながり方の背景などが確認できた。以下で深く分析する。

## (1) グループ A 医療機関

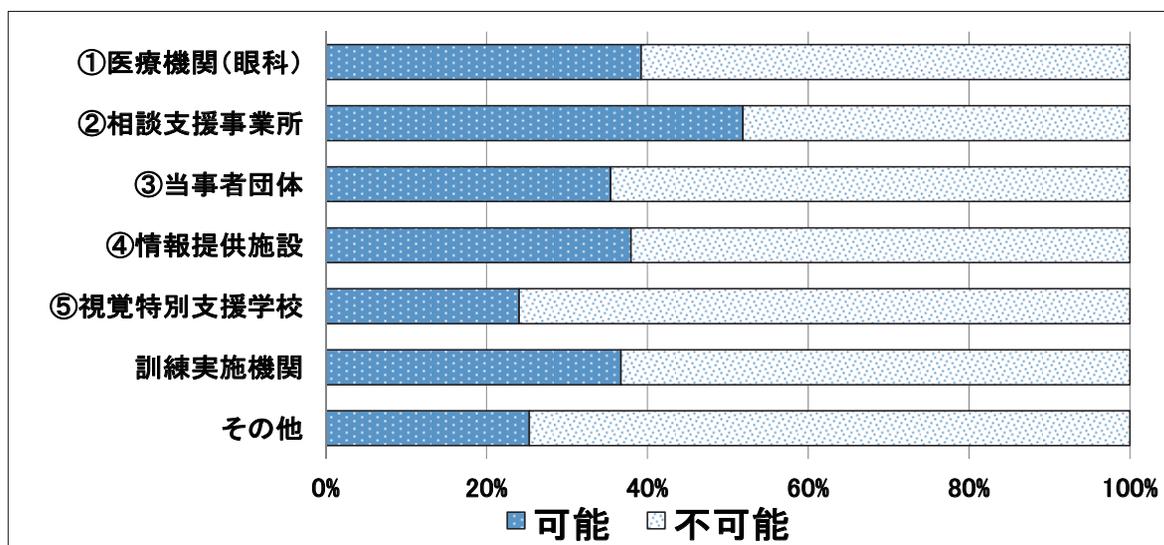
【3-7 ①医療機関 紹介先機関の紹介率】



A 医療機関では、他の機関に比べて「③当事者団体」への紹介が低い結果となっていた。自由回答の中では、治療中の患者をC 視覚障害者系機関に紹介することに抵抗があり、なかなか紹介しづらいとの意見もあり、調査対象の選定で整理をしたA 医療機関とC 視覚障害者系機関の距離感とつながりの細さを裏付ける結果となった。

## (2) グループ B 相談支援機関

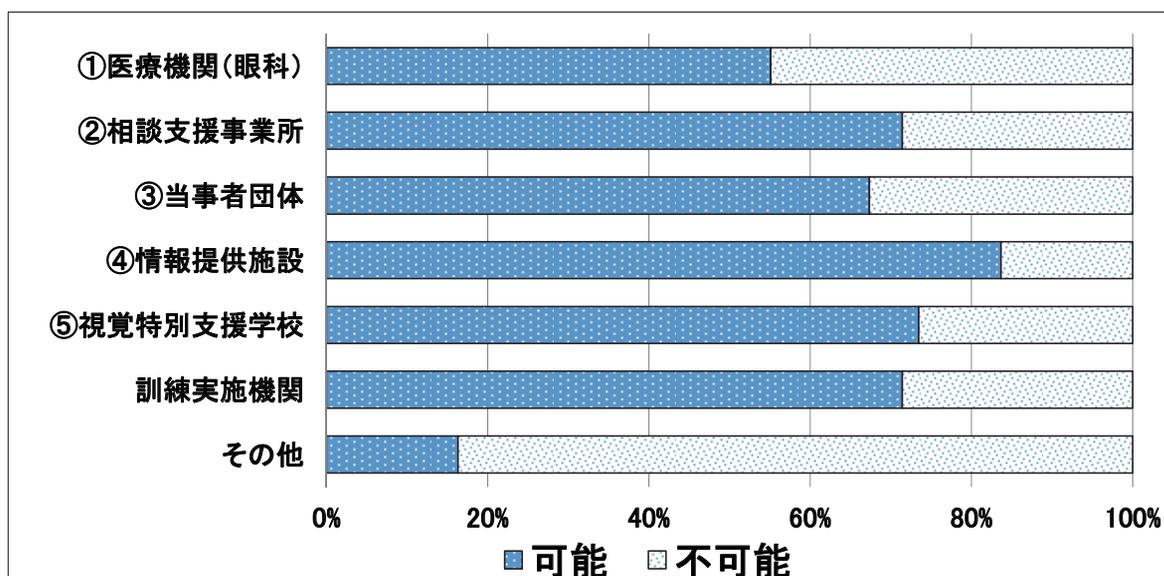
【3-8 ②相談支援事業所 紹介先機関の紹介率】



B 相談支援機関では、平均よりマイナス10～20%の値を示し、C 視覚障害者系機関への紹介は特に低かった。自由回答の中では「視覚障害者向け施設が地域にないため、紹介ができない」との意見もあり、こちらでも調査対象の選定で整理をした距離感とつながりの細さを裏付ける結果となった。

### (3) グループ C 視覚障害者系機関

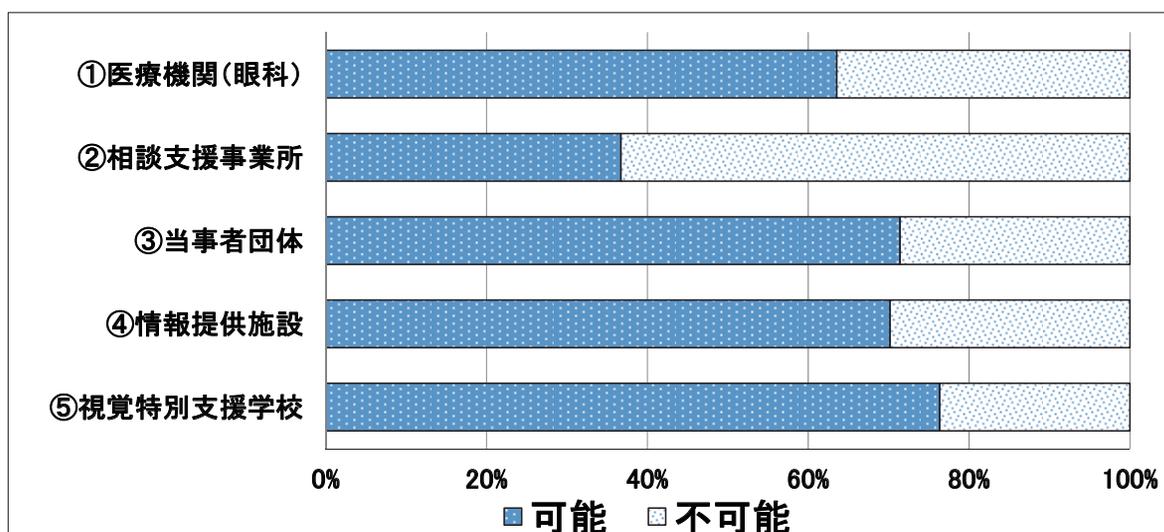
【3-9 ③当事者団体 紹介先機関の紹介率】



C視覚障害者系機関として③当事者団体の結果をみると、平均よりプラス10～20%の値を示し、他の視覚障害者系機関である「④情報提供施設」「⑤特別支援学校」、さらに「訓練実施機関」へのつながりは高かった。これにより、視覚障害者から受けた相談を、関係する機関へ的確につないでいることが示された。

### (4) 訓練実施機関への紹介

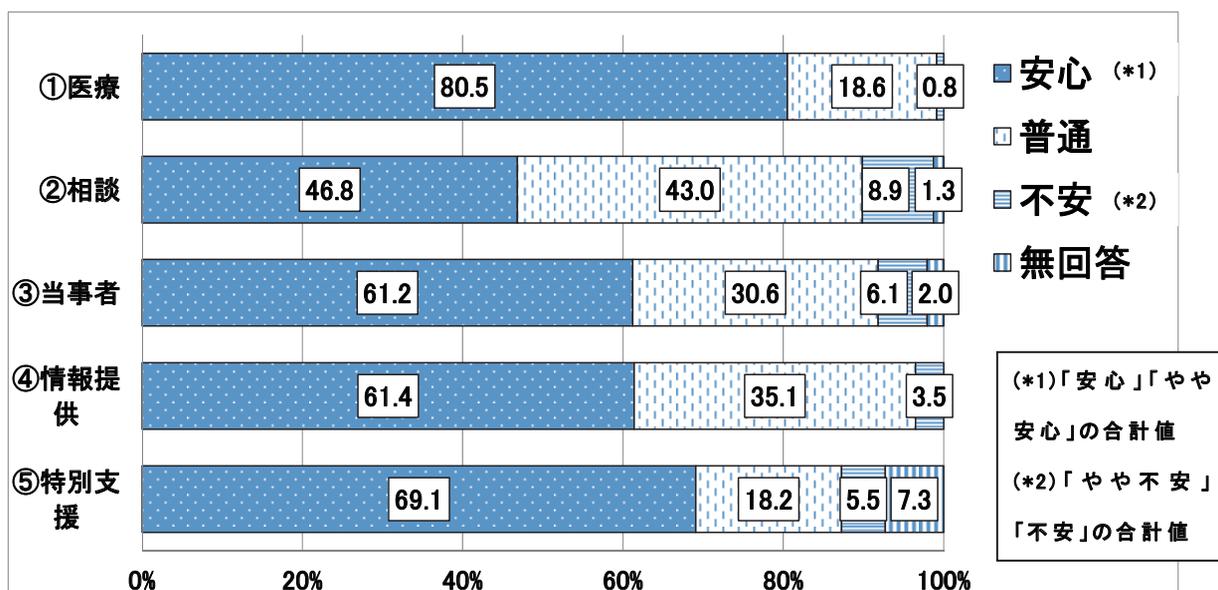
【3-10 各対象 訓練実施機関への紹介率】



歩行訓練などを行う訓練実施機関への紹介を対象別に分析すると、C視覚障害者系機関は軒並み70%以上の紹介率であったが、「①医療機関」は63%、「②相談支援事業所」においては36%となっていた。「①医療機関」は視覚障害者支援に知識がある機関からの回答が多かったことを踏まえても、A医療機関、B相談支援機関が訓練施設とつながりが細いことが示された。

## (5) 紹介先の安心度

【3-1-1 各対象 紹介先の安心度】



紹介をしたことでの安心度は、それぞれの対象で違いがありつつも、安心として取れる「安心」「やや安心」の平均が65%となり、安心して紹介をしているとは言いきれない結果になった。

特に、②相談支援事業所は「安心」「やや安心」が46%、「普通」は43%、「やや不安」「不安」は9%になり、他よりも「不安」に近づいた回答になっていた。

## (6) 紹介先がない機関

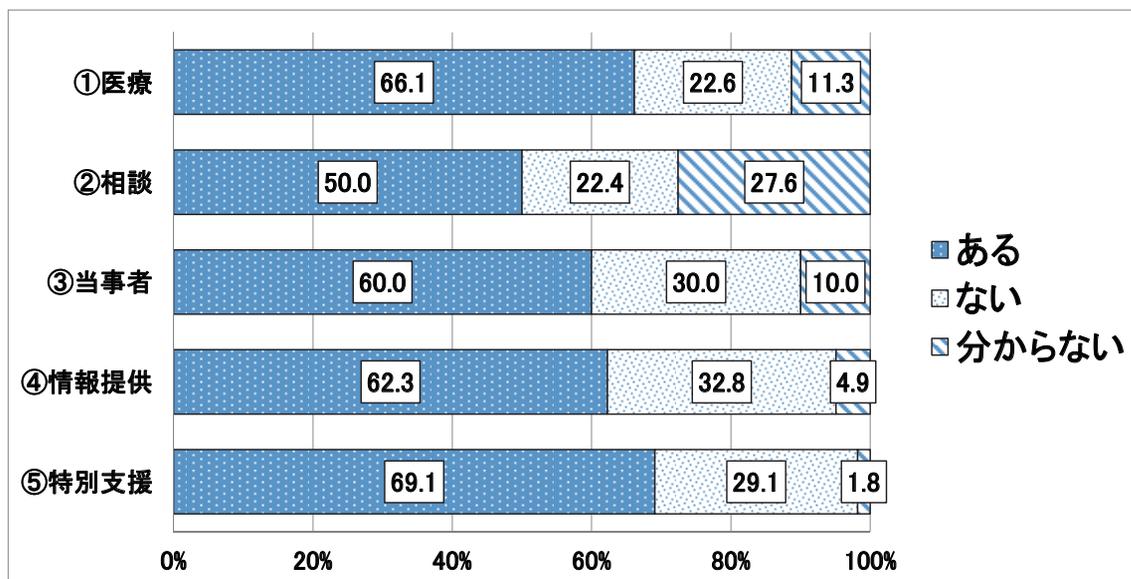
【3-1-2 ②相談支援事業所 紹介先がない理由】

|                          | 全体<br>(n=15) |      | ②相談支援<br>(n=12) |      |
|--------------------------|--------------|------|-----------------|------|
|                          | 件数           | %    | 件数              | %    |
| 近隣に紹介できる機関・施設がない         | 8            | 53.3 | 5               | 41.7 |
| 紹介できる機関・施設が遠方にあるため紹介しにくい | 1            | 6.7  | 0               | 0.0  |
| 安心して紹介ができる機関・施設がない       | 0            | 0.0  | 0               | 0.0  |
| 紹介先の情報を知らない              | 9            | 60.0 | 7               | 58.3 |
| 分からない                    | 1            | 6.7  | 1               | 8.3  |
| その他                      | 2            | 13.3 | 2               | 16.7 |

少数回答ではあるが、相談支援先が「ない」と答えた機関は4% (15件)であった。その8割は②相談支援事業所になり、回答が中山間地域に偏ったことから、紹介先がない理由を「近隣に紹介できる機関・施設がない」など、地域に視覚障害者系の機関が少ないことを理由にしていた。つまり、これらの中山間地域にあるB相談支援機関では、近くにC視覚障害者系機関ないため、つながりたくてもつなげない背景があるとも言える。

## 4. 地域での連携

【3-13 各対象 地域での連携体制の有無】



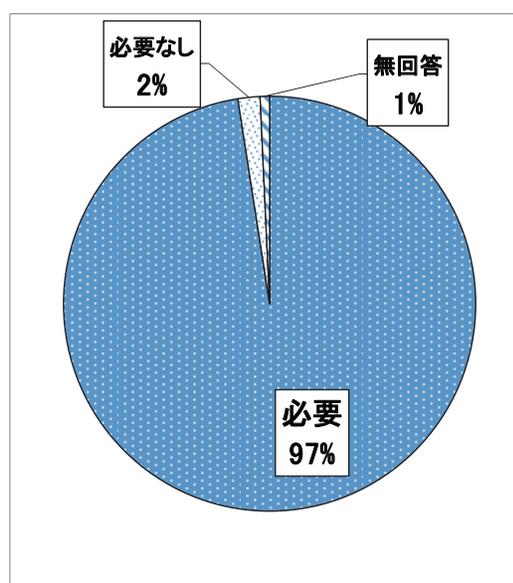
現時点で連携体制があるかどうかを確認したところ、50～70%は連携体制があると回答をしていた。

ただし、ここでは連携体制があることを「分からない」とした回答に着目したい。この質問は、回答者が「連携体制」という支援にどれだけ意識をしているかを問う質問でもあり、②相談支援事業所の27%が突出し、他の対象でも5～10%は「分からない」と回答している。連携体制の意義が上手く伝わっていないことも感じられる結果になっていた。

しかし、連携の必要性を質問したところ、全体平均では97%が「連携は必要」と回答をしている。相談支援の有無が「分からない」という傾向があった②相談支援事業所でも95%が必要と回答している。

この2つの結果を分析すると、やはり「視覚障害者に対する支援の特異性」がポイントになると考えられる。特に、連携体制が必要と回答した中で、その理由をグループ別に分析すると、その特異性、さらに調査対象が持つ特別な事情が伺える。

【3-14 連携の必要性(全体平均)】



【3-15 各グループ 連携を必要とする理由】

|                    | A 医療機関  |      | B 相談支援  |      | C 視覚障害者 |      |
|--------------------|---------|------|---------|------|---------|------|
|                    | (n=123) |      | (n=110) |      | (n=163) |      |
|                    | 件数      | %    | 件数      | %    | 件数      | %    |
| 自らの機関では支援に限界がある    | 33      | 26.8 | 12      | 10.9 | 28      | 17.1 |
| 支援の専門性が確保できる       | 21      | 17.1 | 10      | 9.1  | 28      | 17.1 |
| 支援の効率性が良くなる        | 14      | 11.4 | 0       | 0.0  | 22      | 13.4 |
| 視覚障害者の特性を考慮すると必要   | 10      | 8.1  | 12      | 10.9 | 25      | 15.3 |
| 本人のために必要           | 7       | 5.7  | 10      | 9.1  | 9       | 5.5  |
| 地域性の問題を解決できる       | 3       | 2.4  | 18      | 16.4 | 6       | 3.6  |
| ※連携自体への意見(期待、要望など) | 22      | 17.9 | 17      | 15.5 | 26      | 15.9 |

連携の必要性については、必要とする理由も確認している。その結果、グループ別に分析を行うと、以下の背景や考えがあることが分かった。

#### A 医療機関

視覚障害者の特異性があるため自らの機関では対応できないが、視覚障害者（患者）のことを思うと、しっかりとした支援は行いたいという意識がある。さらに、連携によって生まれる専門性や効率性に期待をしている部分もある。

#### B 相談支援機関

地域性の問題（社会資源の少なさ）が理由になっており、広域での連携体制を作ることによって解決できると考えている。また、障害の区別にかかわらず、その障害者のために地域で何とかして支援を行いたいという、相談支援本来の職務精神も読み取れる。

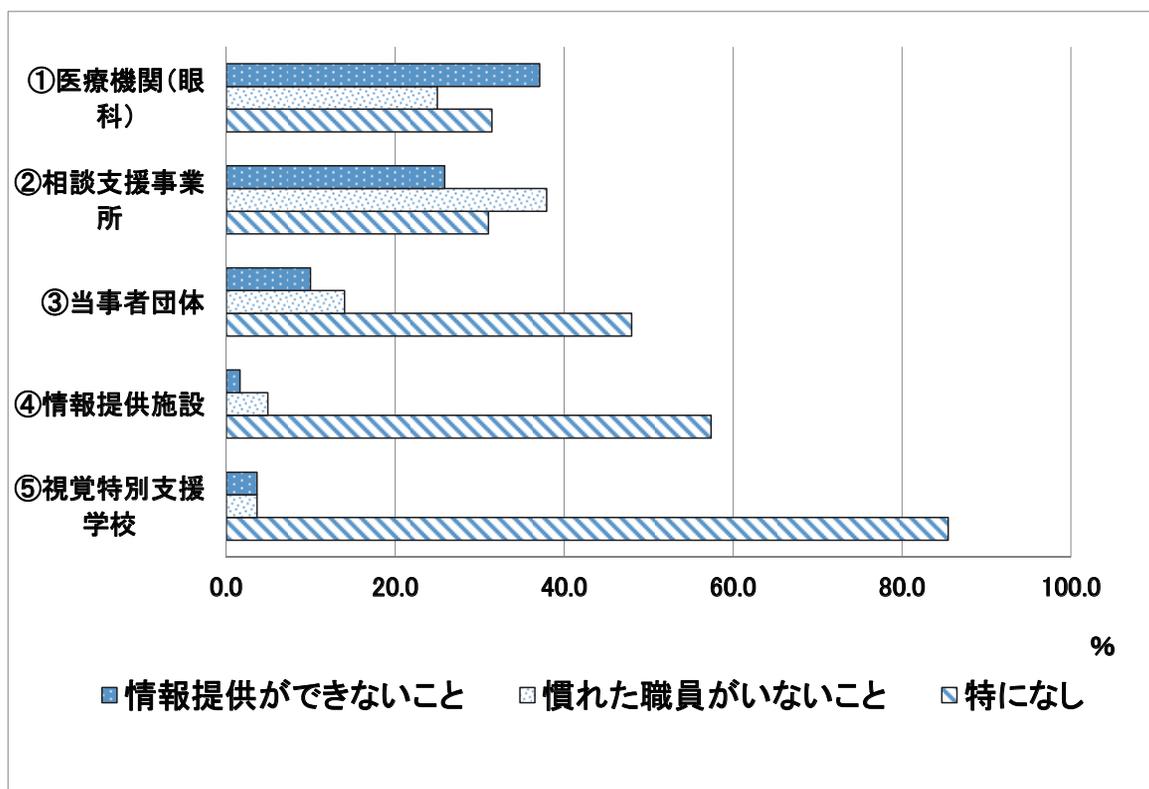
#### C 視覚障害者系機関

③当事者団体、④情報提供施設、⑤特別支援学校の中で多少の差はあるものの、支援の専門性と効率性の確保に加え、視覚障害者の特異性を理由に挙げている傾向が読み取れる。これは、視覚障害者に近い立場だからこそ、その特異性を理解していることのためであり、その特異性をカバーするために、連携の必要性を感じている。

これらの背景を踏まえると、訓練紹介機関は、自らの機関で対応できない場合、連携をすることで、支援の専門性や効率性を確保し、視覚障害者の特性と地域性の問題をカバーできるものと期待していることが、調査結果から判明した。

## 5. 視覚障害者支援の困難さ

【3-16 各対象 視覚障害者の支援で困る内容】

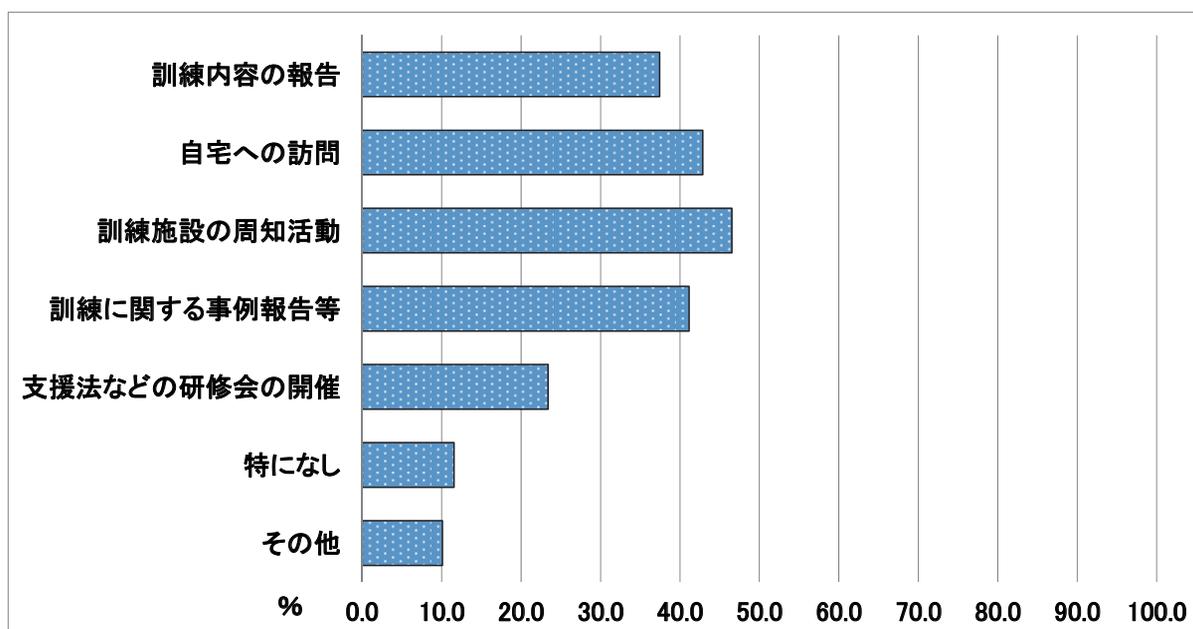


ここでは、視覚障害者への支援を行うことの困難さを確認した。まず、C視覚障害者系機関については、視覚障害者と日々接することが多いことから「特になし」と回答した所が多い。しかし、A医療機関、B相談支援機関で「特になし」の回答は、それぞれ30%前半になり、視覚障害者の支援に困難さを持っていることが分かった。

特に、A医療機関、B相談支援機関では「慣れた職員がいないこと」「情報提供ができないこと」の回答が多かった。これは、支援を行う側がハード面とソフト面で視覚障害者の特性に対応ができていないことを示しており、さらに、視覚障害者支援自体が特異的な存在であることを裏付ける結果とも言える。

## 6. 訓練施設に求めること

【3-17 訓練施設に対して求める内容（全体平均）】



ここでは、訓練施設に対して求める内容を確認したが、全体平均ではそれぞれ30～40%は何らかの具体策を求めており、訓練に期待する部分は大きいと考えられる。

特に、A医療機関は自らの仕事へのフィードバックや紹介した患者の立場を優先する傾向が強く、具体的には「訓練内容の紹介」や「研修会の開催」、さらに「自宅への訪問」などが他の対象よりも回答率が高かった。

一方で、アンケートの自由記述を含めると、回答者の中には「訓練自体がどのようなものか分からない」ことを理由に情報が欲しいと考えている傾向も見られた。

## 7. まとめ

調査3については、調査開始時に整理した視覚障害者を取りまく環境は、想定していたイメージ通りの状況であることが実証できた。特に、各グループの距離はあまり近くなく、つながりも細かいことが明らかになった。

ただし、各グループは、視覚障害者支援の困難さを目の当たりにし、その解決方法として「連携体制の構築」に期待していることも明らかになった。



## 第 7 章 考察

## 1. 視覚障害者の日常生活や社会参加での困難さと訓練による効果

今回の調査 2-2 では、訓練を終了した（見込み含む）視覚障害当事者に対し、①訓練前後の用具・機器などの使用状況の変化、②訓練前後の技術面・満足度の変化、③訓練前後の自覚的な生活の変化の 3 つについて調査をした。

②では、「(単独で) できるか、できないか」とその状況に対する「満足度（納得度）」という 2 つの指標で日常生活や社会生活における困難度を評価した。

その結果、以下の移動に関する 6 項目、読み書きおよびパソコンなど機器の操作に関する 5 項目、参加などに関する 4 項目において、視覚障害による困難度が高く、現状への不満も強い傾向にあることが確認された。

### A 移動に関する項目

- ・屋外をよく知っている場所への移動
- ・初めての場所や不慣れな場所への移動
- ・交差点横断や信号判断
- ・公共交通機関の利用
- ・混雑した場所への移動
- ・夜間の移動

### B 読み書きおよびパソコンなど機器の操作に関する項目

- ・書類を読む
- ・新聞、雑誌、書籍を読む
- ・メモを取る
- ・メールを書く
- ・ホームページを見る、検索する

### C 参加などに関する項目

- ・料理をする
- ・趣味・余暇活動を楽しむ
- ・仕事をする
- ・他の視覚障害者との交流

実施した訓練では、歩行が 8 割以上、パソコンが約 6 割、機器の訓練が約 5 割となり、上記の 15 項目に概ね対応した内容となっていた。

これら 15 項目について、訓練を受けた後の単独での可否、満足度において、ほとんどの項目で改善が見られる結果となっており、訓練の有効性が示されたと考える。特に歩行訓練については、

歩行訓練を受けた回答者の割合が高かったことも影響しているだろうが、訓練全体の振り返りの中でも、訓練前と比べ「移動の安全性が向上した」「外出の頻度があがった」「一人で歩ける場所ができた・増えた」「行動範囲が広がった」など移動と外出に関する回答をした者の割合が6割以上であった。

また、「余暇・趣味活動を楽しむ」や「他の視覚障害者との交流」が他の項目同様に改善していることや、全体の振り返りの中で、「定期的な外出先ができた」と回答した者も6割を超えていることから、訓練後の生活を豊かにするための支援についても貢献できていると言えるのではないだろうか。

一方、15項目の中で、訓練終了後も「できる」「満足」の割合が5割を切っていたのは「書類を読む」「新聞、雑誌、書籍を読む」「仕事をする」であった。

「書類を読む」「新聞、雑誌、書籍を読む」については、訓練メニューにもある内容であるため、そこが十分改善されていないのは訓練実施側の課題であると言える。医療機関でのロービジョンケアとの連携も含め、改善を図る必要がある。また、「仕事をする」についても、就労支援については、視覚リハが十分対応できていない長年の課題である。まずは新規就労よりハードルの低い復職が確実にできるよう、離職前の早いタイミングで訓練機関につながる流れを作ることが重要であると考えられる。

さらに、全体の振り返りの中で、「できないことに対する考え方や工夫の仕方が身に付いた」「気持ちが前向きになった」「視覚障害に対する受け止め方が変わった」などの回答率が6割以上あったことは、訓練による効果は、技術的な面だけでなく、精神面の変化にも影響を与えることを示唆している。これは、多くの歩行訓練士が視覚障害者の支援をする上で、特に重要と考えている部分ではないだろうか。

そして、白杖をはじめとした用具や機器、福祉サービスの利用状況についても、訓練を受けた後は大きく改善していた。使用法や利用法の訓練を含めた訓練施設のサービスは、視覚障害者の生活状況に大きく影響を与えている結果となっていた。ただ、白杖や遮光レンズのような補装具、拡大読書器や音声時計のような日常生活用具については、本来は訓練施設につながるより前にもっと情報提供が受けられていてもおかしくないものではないだろうか。

以上のことから、視覚障害者リハビリテーションは、生活技術の向上、精神的課題の改善・克服、用具や機器、サービスの利用、地域生活の充実など、視覚障害者の日常生活・社会生活に関する幅広い領域について貢献できていると言える。

## 2. 訓練の実施状況と障害福祉サービスとして求められる訓練内容

### (1) 機能訓練事業所と非機能訓練事業所の比較

結果および分析からは、機能訓練事業所と非機能訓練事業所の特徴は以下のように言える。

#### ●機能訓練事業所

- ・職員体制は比較的充実しており、1日の受け入れ人数が多く、利用できる頻度も高い。
- ・通所と入所が中心のため、複数同時の訓練が可能。
- ・一定回数以上の訓練が訓練効果を高める結果も出ている。
- ・通所や入所により、「困ったときに相談できる仲間ができた」という点は大きい。結果として、「視覚障害に対する受け止め方が変わった」や「気持ちが前向きになった」などの精神面での変化は、機能訓練事業所で訓練を受けた視覚障害者の方が回答率も高くなっていた。
- ・定員はあるものの、利用人数や回数は（法定期間以外の）制約はない。
- ・手続きが煩雑で開始までに時間がかかること、制度上の縛りがあり、対応できない条件が複数あること、通所が中心のため交通機関の乏しい地域では利用者を集めにくいなどの課題がある。
- ・急激な視力低下で生活全般に支障をきたしている視覚障害者や、復職や盲学校進学の準備など、期間やメニューの上で集中的な訓練を必要とする視覚障害者に適した訓練と言える。

#### ●非機能訓練事業所

- ・今回の調査では、盲導犬協会、視聴覚障害者情報提供施設、民間企業など、様々な形態の施設への調査を行ったが、概ね傾向は似ていた。
- ・職員数は全般的に少なく、訪問中心で対応しているため、1日に対応できる人数は少なく、利用できる頻度は低い。
- ・利用条件については、機能訓練事業所よりも制約が少なく、視覚障害者にとって移動面・金銭面の負担がない（少ない）訪問で対応していることなどから、対応している実人数は機能訓練事業所よりも大きく上回っている。
- ・利用開始までにかかる期間は、機能訓練事業所よりも全体的に短い。

- ・ 緊急性の高い訓練希望者や高齢視覚障害者、公共交通機関が発達しておらず地域に点在している視覚障害者に対応するには、このスタイルでないと難しい。

また、今回の調査では、機能訓練事業所と非機能訓練事業所が両方ある地域や、機能訓練事業所の中で機能訓練以外の方法で訓練を行っている事業所についても分析を行った。

地域差は多少あるものの、対象者やサービス内容が被る部分はあっても、機能訓練事業所は集中的な訓練を必要とする視覚障害者に対して訓練を行い、非機能訓練事業所は訪問での訓練や柔軟な対応を行うことで、ある程度の住み分けができていているように見える。機能訓練事業所に視覚障害者のニーズに応えられない利用上の制約がある以上、機能訓練事業所と非機能訓練事業所が各地域にあること、もしくは機能訓練事業所が非機能型の訓練も実施していることが理想である。

ただし、現状では全国で視覚リハを実施している事業所・機関は約70か所しかなく、さらに機能訓練事業所と非機能訓練事業所が両方ともあるのは11都道府県のみである(\*1)。そのため、現状では、サービス内容として重複せざるを得なくなっている。この原因は、そもそもの絶対数が不足、地域では訓練を必要とする視覚障害者が、必要な内容・量の訓練が受けられない状況にあると考えられる。さらに、全く訓練施設がない都道府県が7ヶ所もある(\*2)。特に訓練施設がない都道府県の視覚障害者が視覚リハを受ける権利の保障は急務である。

(\*1) 視覚障害者の生活訓練実施機関の現状（日本ライトハウス/2017年）

(\*2) 青森県、岩手県、山形県、新潟県、群馬県、和歌山県、奈良県

## （2）視覚障害者のニーズと機能訓練のサービス上の制約

今回設問に挙げた利用条件の中で、機能訓練事業所が対応不可・困難としている条件は以下の7項目があった。

- ① 15歳未満
- ② 身体障害者手帳未所持
- ③ 2年半を超える訓練
- ④ 2週間以内に訓練開始を希望
- ⑤ 片道50km以上または1時間半以上かかる者への訓練
- ⑥ フルタイムで就労中
- ⑦ 高校・大学・盲学校在学中

数の多寡はあるものの、いずれも非機能訓練事業所では対応実

績がある利用条件である。機能訓練事業所で対応できておらず、非機能訓練事業所で対応できている条件が、制度上の課題や他の障害とは違う視覚障害者のリハビリテーションのニーズを表しているのではないだろうか。これらの項目は、以下で詳しく考えてみたい。

#### ① 15歳未満

本来は視覚特別支援学校が対応すべきであろう。ただ、歩行訓練の専門家がない視覚特別支援学校、自立活動の時間の制約で自宅周辺や通学など必要な内容の訓練ができない視覚特別支援学校では、訓練施設との連携が必要なのではないだろうか。

#### ② 身体障害者手帳未所持（指定難病除く）

急激な視力低下などにより、すでに生活上の困りごとが生じている場合には、申請段階であっても訓練を受けられる体制が必要なのではないだろうか。手帳に該当するかどうかというロービジョン者の場合は、ロービジョンケアのできる医療機関との連携も必要となるだろう。

#### ③ 2年半を超える訓練

動機付けや習得に時間のかかる高齢者や心身の状態が安定しない者などが対象だろうか。機能訓練で規定された期間内の目標達成ができなかった場合は、地域の別の機関（サービス）で継続できることが望ましい。

#### ④ 2週間以内に訓練開始を希望

受給者証の準備ができれば可と回答している機能訓練事業所は複数あったが、その実績はゼロであった。すでに受給者証を所持している利用希望者であれば間に合う可能性があるが、新規で取得する者では難しい。緊急性の高い視覚障害者については、後追いの発行を認めるなどの柔軟な対応が求められる。

#### ⑤ 片道50km以上または1時間半以上かかる者への訓練

遠距離の訪問訓練については、採算性の問題で実施しづらくなっている。都市部から離れば離れるほど、訪問訓練のニーズは高くなっていく。今後、新規参入の促進や既存の施設の経営安定により視覚リハが全国どこに住んでいても受けられるようにするためには、施設数を増やすか、訪問訓練に対する単価の上乗せもしくは加算は必要である。

⑥フルタイム就労中

⑦高校・大学・盲学校在学中

市町村判断によりこれらの条件で訓練ができない場合がある。日中参加している場所があるならば、そこでの合理的配慮の中で対応ということが理由であろうが、訓練で自身のできることを増やすことと合理的配慮は全く別のことである。特に進行性の眼疾患を抱えている視覚障害者においては、相当きつい思いをしながら無理をして職業生活や学校生活を続けている者も多いのではないかと考える。在職中・在学中であっても、必要な訓練を受けられる制度設計となることが望ましい。

⑧その他（備考）

非機能訓練事業所では、「2週間以内に訓練開始」と併せて「数回で終了する訓練」の実績の多さが際立っていた。これも機能訓練事業所に対応できない内容ではないが、数回の訓練のために煩雑な手続きをしてもらうのは躊躇われる。そのニーズが機能訓練の中で対応すべきものかどうかも含め、さらに詳細な訓練内容の調査が必要である。

### 3. 訓練に効果的につなげる支援体制のあり方

#### (1) 視覚障害者から見た「つなぎ」に関する現状と課題

調査2-1において、現在訓練を受けており、比較的最近になり訓練施設につながった視覚障害者を対象に、主に医療機関や役所からの情報提供や関係機関の紹介状況などの現状や要望に関する調査を行った。その結果から、視覚障害者側から見た「訓練へのつなぎ」に関する現状と課題について考察する。

#### ① 医療機関からの「つなぎ」

今回調査対象とした施設では、約9割が「ロービジョンケア実施医療機関」が地域にあると回答し、約8割が「医療機関・従事者向けの研修・講習会の実施」をしていると回答しており、医療機関との連携状況では比較的恵まれた地域と言える。

それにもかかわらず、調査2-1の結果からは、「身体障害者手帳の申請方法」の情報提供を約5割の者のみが受け、それに関連して、役所を紹介されるケースが約4割であったものの、何も情報をもらえなかった者が約3割、関係機関を全く紹介してもらえなかった者が約4割という結果となっていた。また、訓練施設や生活上の困りごとに関する相談窓口には2割弱の者しか紹介をしてもらえていなかった。それ以外の「視覚特別支援学校」「当事者団体」「用具の販売業者」「介護保険関係機関」「相談支援事業所」については、さらに直接的な紹介は少ない結果となっていた。

一方で、多くの視覚障害者は「医療機関（眼科）で見え方の改善が見込めないとされたとき」に情報提供して欲しいと考えている。また、紹介を受けた者は、実際にその関係機関に行っている割合は高く、適切な情報提供があればつながる可能性は高くなっていた。

全国から毎年100名を超える眼科医が「視覚障害者用補装具適合判定医師研修会」を受講し、ロービジョンケアを実施する眼科医が増えたり、地域ごとのスマートサイトができ始めるなど、医療機関と訓練施設との連携は年々強化されてきているはずだが、まだ広がり欠けるのか、あるいは上手く機能していないのか、今回の結果からみると、現状では医療機関からは役所への流れが主流となっていた。

#### ② 役所からの「つなぎ」

役所については、医療機関からは「制度やサービスの相談窓口」として期待されていた。そして、視覚障害者からは「行政機関で

身体障害者手帳の申請をしたときに情報提供が欲しい」との回答が4割を超えており、医療機関と同じく、紹介を受けた視覚障害者の多くは、実際にその関係機関に行っていた。

ただ、調査結果からは、役所が窓口である「受けられるサービス」についての情報提供が5割以下、「補装具や日常生活用具」についても約3割程度しか情報提供されていなかった。さらに、「何も情報をもらえなかった」という者も約2割いた。そして、関係機関の紹介については、半数以上の者が「どこも紹介してもらえていない」という結果となっていた。

この結果からは、役所が「生活上の困りごとに対する相談窓口」としては機能していないこと、情報が受け取りにくい障害である視覚障害者に対して、合理的配慮のもとの情報提供がなされていないことが疑われる。

結果として、訓練の必要性がある視覚障害者で、手帳取得から1年以内に訓練につながった者は2割以下になり、訓練施設につながるまでにかかなりの時間を要する現状となっていた。

## (2) 相談を受ける側から見た「つなぎ」に関する現状と課題

調査3では、医療機関（眼科）、相談支援事業所、視覚障害者の当事者団体、視覚障害者向け情報提供施設、視覚特別支援学校など、相談を受ける側から見た現在の対応状況についての調査を行った。その結果から、訓練へのつなぎに関する現状と課題について考察する。

### ①医療機関（眼科）

視覚障害者から「日常生活の改善」「読み書き」「福祉制度の利用」など、生活上の困りごとに対する相談を受けているという回答が7割を超えていた。また、対応できる支援では、主たる業務である「眼の治療」や「ロービジョンケア」以外に、「補装具や日常生活用具の紹介」や「福祉制度・サービスの紹介」も8割以上が対応していると回答していた。なお、訓練を直接実施している機関も1割弱あった。また、紹介先については、当事者団体へは紹介率5割とやや低めとなっていたが、その他の関係機関へは概ね紹介率7割となっていた。

ただし、今回の調査対象は「視覚障害者用補装具適合判定医師研修会」を受講された眼科医で、さらにアンケート自体に協力をしたことを考えると、眼科医の全国平均と比べ、視覚障害者の支援に対する意識の高い集団であったとも言える。この点を考慮して分析する必要がある。

## ②相談支援事業所

視覚障害者からの相談を受けることが「ある」と回答した割合は約8割であった。そのうち、業務の中心である「福祉制度の利用」については9割が相談を受けていると回答していたが、「日常生活の改善」は4割強、「歩行手段」「読み書き」「仕事」については2割前後となり、生活上の困りごとの相談については回答率が低くなっていた。対応できる支援では、「福祉制度・サービスの紹介」が9割以上である一方、「補装具・日常生活用具の紹介」は4割以下となっていた。紹介先については、全般的に概ね紹介率4割から5割で、視覚特別支援学校へは紹介率3割弱と低めであり、視覚障害者系機関とのつながりは弱い結果となっていた。また、「視覚障害者への対応に慣れた職員がいない」との回答も4割あった。

## ③視覚障害者の当事者団体

視覚障害者からの生活上の困りごとの相談は、「福祉制度の利用」と「日常生活の改善」は9割以上、「歩行手段」と「読み書き」は7割以上の団体が相談を受けていた。対応できる支援でも、「補装具や日常生活用具の紹介」と「福祉制度・サービスの紹介」は9割以上など、今回の調査対象の中で最も支援の対応率が高かった。なお、歩行訓練以外の訓練も6割以上が直接実施していた。そして、紹介先については、概ね紹介率7割以上だが、医療機関への紹介は他と比べ低めになっていた。

## ④視覚障害者向け情報提供施設

生活上の困りごとの相談については、情報提供施設という施設の業務と関係の深い「福祉制度の利用」と「読み書き」が7割以上と高くなっていた。「日常生活の改善」についても6割以上になっていた。

対応できる内容でも、「補装具や日常生活用具の紹介」と「福祉制度・サービスの紹介」は8割以上と高くなっていた。歩行以外の訓練を実施している施設も7割以上あった。紹介先については、概ね紹介率6割以上であり、やや低めだった。これは、自施設で訓練を行っていることの影響もあるだろう。なお、医療機関への紹介は3割弱と低くなっていた。

## ⑤視覚特別支援学校

本業である「教育」についての相談が9割以上であった。ただ、生活上の困りごとについても、「日常生活の改善」と「読み書き」

などの相談を7割以上が受けていた。対応できる支援としては、「補装具や日常生活用具の紹介」と「福祉制度・サービスの紹介」は9割前後、「歩行以外の訓練」を実施しているとの回答も7割弱あった。紹介先については、概ね紹介率7割以上で、当事者団体への紹介はやや低めとなっていた。

今回の調査対象の中では、概ねどの機関も自機関だけでできることは限られており、他機関との連携は重要だと考えていた。ただ、自由記述の中では、「身近な地域にあって欲しい」という回答が多く含まれており、物理的な距離がある＝絶対数が少ない現状を表している。

相談支援事業所のみは、視覚障害者支援の専門機関ではないため他機関とは状況が違うが、概ねどの機関でも、視覚障害者の生活上の困りごとに関する相談を高い割合で受けており、それに合わせた対応もしている現状が伺える。

また、③④⑤の視覚障害者系機関は相互の情報を持っている。そのため、どこかにつながれば、それぞれの機能に対して必要な対応が期待できたり、適切な別の機関を紹介してもらうことができるのではないだろうか。ただ、視覚障害の専門支援機関ということを見ると、相談対応や他機関への紹介がもっと高い回答率でもおかしくはない。

また、調査3の調査対象となった機関のほとんどが、訓練施設に対して「広報啓発の強化」を一番に求めていた。それだけ訓練施設の情報が、これらの機関を含む一般の人たちへは伝わりにくい状況があるということだろう。

### (3) まとめ

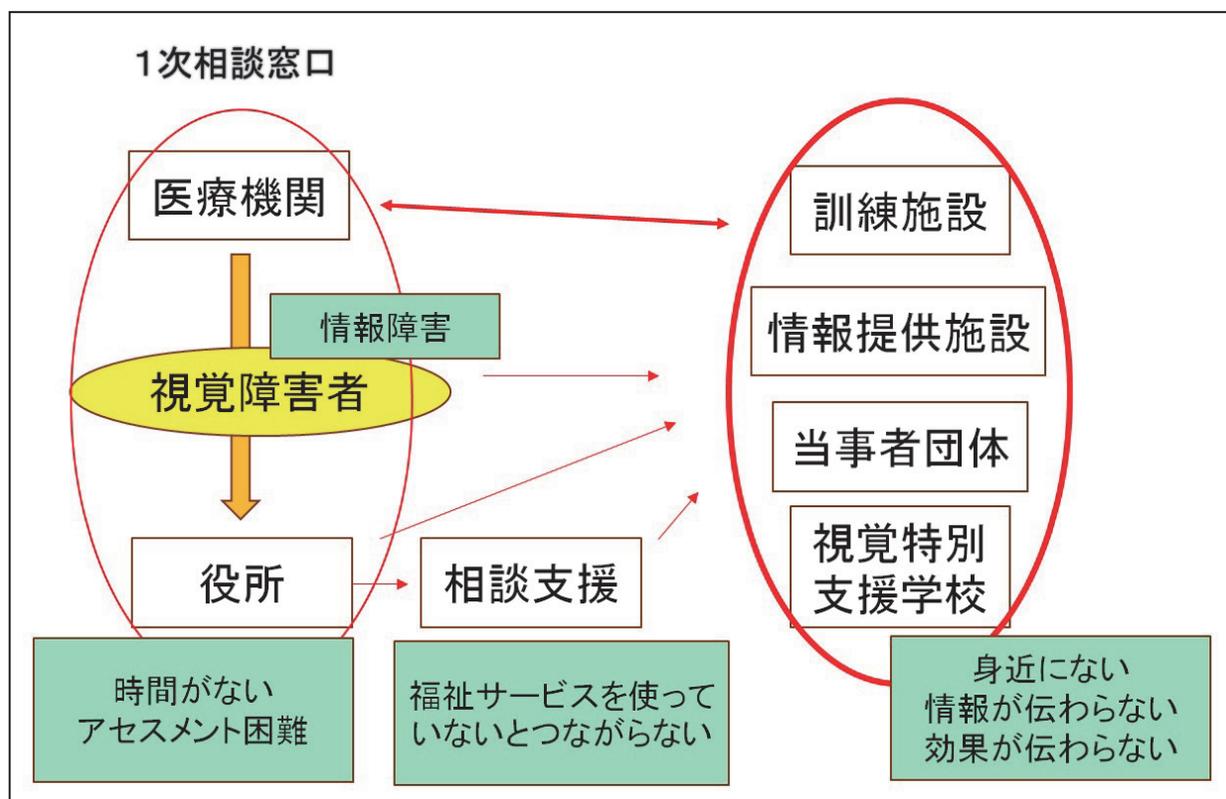
視覚障害者にとって、医療機関や役所は一次的な相談窓口と認知されており、最も身近でつながりやすい所と言えるだろう。そのため医療機関から役所という流れは作りやすく、視覚障害者を訓練に抵抗感なく導きやすい。ただ、現状では、役所において、視覚障害者個々の生活相談にまでは対応できておらず、そこから適切な機関につなげていくことは難しい。スマートサイトなどにより、医療機関から直接関係機関につなぐ流れも出てきているが、現状では、十分機能している地域は少ない。そこで課題になっているのは専門性を求められる視覚障害者のアセスメントを「どこで誰がするか」ではないだろうか。

他の障害分野では生活全般のアセスメントを相談支援事業所が行っている。一方で視覚障害者の支援や連携を行うことは、そ

もその絶対数が少なく、サービス等利用計画に落とし込む必要のない非機能訓練で行われていることもあり、相談支援事業所と視覚障害の専門機関はやや遠い存在となっていると言える。特に相談支援事業所のサービス提供エリアに訓練施設などがない場合には、さらに遠い存在になっているだろう。ただ、一度でも視覚リハの対象者やその効果が認知されれば、相談支援事業所がアセスメントなどを行いやすくなり、地域で埋もれている視覚障害者の掘り起こしの役割を担うことが期待できる。

一方で、視覚障害者系機関同士は連携がとれており、高い割合でそれぞれの機関・団体が専門的な相談にのれているという結果ではあったが、実態はどうであろうか。ここでもアセスメントの力量は求められる。また、各機関からの情報（広報）不足もあり、視覚障害者にとっても、医療機関・役所からも、視覚障害者系機関は少し遠い存在となっている現状が伺える。

【視覚障害者と各関係機関の相関図（現状）】





## 第 8 章 まとめ

## 1. 視覚障害者へのリハビリテーションの実施体制のあり方

地域で生活している視覚障害者は、移動や外出、文字処理、情報収集や発信、社会参加など、社会生活上の多くの困難や受障をしたことに対する精神的な課題を抱えており、それを解決したいと願っている。訓練をはじめとした、視覚障害者へのリハビリテーションは、それら幅広い領域の課題克服に大きな貢献をしていることが今回の調査で明らかとなった。

機能訓練事業所と非機能訓練事業所では、実施している訓練内容に大きな違いがあるわけではなく、その提供方法、提供回数、利用の制約の有無の違いが大きい。今回の調査結果からは、訓練は、一定回数以上あると、より技術的・精神的に与える影響は大きく、また、他の視覚障害者と訓練を通して時間を共有することで精神面に与える影響は大きくなっていった。そうした意味では、特に急激に視力低下が進行した視覚障害者、就労や進学を目指す視覚障害者、重度の視覚障害者など、生活全般にわたって困難を抱えている者にとっては、通所・入所で行っている機能訓練事業所の存在意義が大きい。ただ、移動することに支障が出てくる視覚障害者にとっては、公共交通機関の発達していない地域だと、身近な地域に施設がなければ、通所すること自体が困難である。一方で、現状ではそこまでの数の施設はないため、多くの地域の非機能訓練事業所では訪問を中心とする訓練が行われている。生活空間や実際に使用する場所での訓練の必要性については、知的障害や発達障害、高次脳機能障害などでも謳われている。機能訓練においても、訪問訓練に対する加算は検討されてもよいのではないだろうか。

そして、機能訓練事業所と非機能訓練事業所が両方ある、あるいは機能訓練事業所でそれ以外のサービスを行っている施設では、主に利用の制約に当てはまる視覚障害者への対応や、経営的な問題から訪問を機能訓練以外で行うといった「使い分け」を行っている。非機能訓練事業所では数回で終わる訓練も多数行っているなど、人生のライフステージの様々な局面で視覚障害になった者は、それだけ訓練に対するニーズも幅広いと言えるのではないだろうか。そこに対応するには、本来は機能訓練事業所と非機能訓練事業所が役割分担をしながら地域に共存するのが理想と言える。例えば、機能訓練の制約上対応できないニーズは非機能訓練事業所で対応するなどが考えられる。

平成30年度施行の障害福祉サービスの報酬改定では、「生活訓練」でも視覚障害者への訓練が行えることとなった。これにより、機能訓練（視覚障害）の現場で、実際にはその本来の業務を行っていない看護師・セラピストの必置が免除されるなど、専門職の人員配置基準の課題はクリアされた。ただし、経営面・利用者確保の面では、安定的に運営するための条件はクリアされていない。例えば、実際の視覚障害者向け訓練の実態に合わせた職員配置基準（職員：利用者＝1：2.5以下）と実態に見合った報酬の上乗せがないこと、居住地による格差が出ないように同行援護での通所を可能にすること、訪問訓練が可能となるよう中山間地以外でも距離に応じた訪問訓練加算を付けることなどについては、未解決のままである。この状況で、果たして新たに視覚リハを行うと手をあげる機関は出てくるだろうか。

障害者総合支援法において、他の障害に対するリハビリテーションサービスはすべて訓練等給付の中に入っている。視覚障害者向け訓練においても、他の障害とこの点を共通にしておくことは、次のような重要な意味があると考えられる。それは、今後の制度改革の際に検討の土俵に必然的に上がるようになること、請求実績という形で実績（ニーズ）が厚生労働省に伝わること、サービス提供やそこに至るプロセスが他の障害とかけ離れないこと、一定の基準以上の訓練計画や記録の作成を求められることなどにより、サービスの質を保たれることである。

ただ、もし視覚障害者向けの機能訓練・生活訓練の制度設計において、上述の条件が他の障害との兼ね合いの中でクリアできないのであれば、特に交通機関の発達していない地域では、民間施設で視覚リハを実施していくことは経営的に難しいだろう。そうなると、公的機関でサービス報酬によって一部経費を賄いつつ、都道府県等の委託事業として助成金を受けて運営する以外は難しいのではないだろうか。

つまり、視覚障害者へのリハビリテーションの実施体制において、望ましいあり方は、住んでいる地域に関係なく、訓練が必要な者に視覚リハを受けられる権利を保障することではないだろうか。少なくとも、現在訓練施設が存在しない都道府県に対しては、訓練施設等が設置されるよう、国からの行政指導を行うべきである。

## 2. 訓練施設につなぐための支援体制のあり方

多くの視覚障害者にとって、最もつながりやすい存在は「医療機関」と「役所」であり、ここでは、補装具や日常生活用具、障害福祉サービス、訓練施設などの情報提供が行われることが望ましい。ただ、そのためには、十分な時間をとって聞き取りを行うアセスメントが必要だが、専門性が求められ、日常業務の中で対応することは時間的にも難しいのが現状であろう。さらに医療機関・役所と訓練施設・視覚障害者系機関とのつながりが弱いことも今回の調査で明らかとなった。

このつながりの弱さを解決するため、各地で様々な試みが行われている。

医療従事者や役所では、アセスメントの時間をとることやその専門性の確保が難しくなっている。相談に来た視覚障害者に必要な情報が何かを調べるために、簡単な聞き取りを行うことで最低限必要な情報提供の内容が分かる「簡易アセスメントツール」を使用することは有効かもしれない。また、視覚障害者やその家族などが必要な情報を分かりやすくするため、視覚障害者に関係する内容だけを集めた「福祉のしおり（簡易版）」を役所に置くことも有効かもしれない。

そして、医療ソーシャルワーカーがいない、または関係が薄い眼科において直接相談を受けようとするならば、相談にのれる視能訓練士の育成が鍵となるだろう。中間型アウトリーチとして、歩行訓練士や当事者団体が医療機関に出向いて相談に応じている地域も出てきており、その有効性は認められているが、効率的な運用方法の検討やその人件費をどこから捻出するかは課題である。

また、スマートサイトとして、その地域の相談機関の配布用リストを作成したり、ワンストップの相談窓口を指定している地域も出てきている。相談機関のリストは、多すぎると結局どこにつながればいいのかという声が多いため、ワンストップの相談窓口を作ることが望ましいだろう。それをどこが担うか、その人件費をどう確保するかは課題である。

相談支援事業所を持っている訓練施設もある。実際に相談支援専門員からつながっているケースは他地域と比べかなり多くなっている。

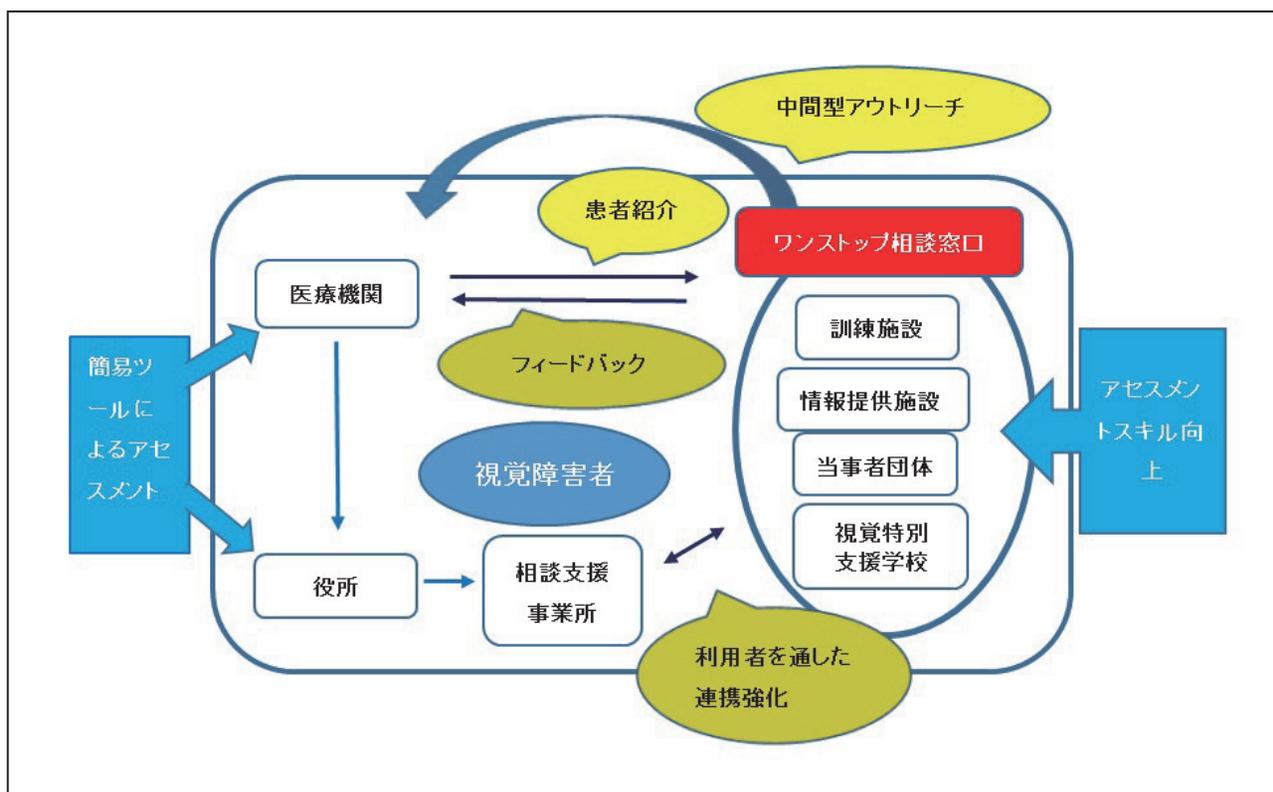
各地の視覚障害者を取りまく環境は、医療機関や訓練施設の配

置状況、地形や交通網など地域特性がある。そのため、上記のような先駆的な取り組みをしている地域への調査を行い、その課題と解決策を考え、様々な状況に対応出来るよう、複数のモデルを作っていくことが必要となるのではないだろうか。

訓練施設・視覚障害者系機関側の課題としては、今以上に関係機関同士の連携や相互の情報提供を強化し、どこかにつながったら、必ずアセスメントを行い、適切な機関につなげるようになることは必須である。ただし、視覚障害者系機関の職員や当事者が必ずしも相談支援のスキルを勉強しているわけではない。全国視覚障害者情報提供施設協会がその研修を始めたように、職員の相談対応やアセスメント能力に対するスキルアップは必要である。

また、相談支援事業所や介護保険の包括支援センターを積極的に活用し、ケースを通じた連携によって視覚障害者支援の輪を広げていくことも大事ではないだろうか。社会資源がないことや連携がとれていないことを「地域の課題」として挙げていくこと、医療機関や相談支援事業所からの紹介があったときに適切に対応すること、その結果をきちんとフィードバックすることなどを通して、次の紹介につなげていくことが求められる。

【訓練施設につなぐための望ましい体制（イメージ図）】





## 第 9 章 シンポジウム

# 1 シンポジウムの概要

本調査研究事業においては、判明した調査結果を効果的に周知するため、検討委員会での検討の結果、関係者を交えたシンポジウムを開催することになり、以下の概要で開催を行った。

当日は全国各地から合計100名の参加者が集い、調査結果の報告に加え、パネルディスカッションでは、参加者からの様々な意見交換が行われ、盛大にシンポジウムを開催することができた。

## 1. 開催名

シンポジウム 視覚障害者の生活訓練（歩行訓練）のあり方を考える 2018

## 2. 開催日

平成30年3月4日 14時00分～17時00分

## 3. 会場

TKP神田駅前ビジネスセンター ホール5F  
(東京都千代田区鍛冶町2-2-1 三井住友銀行神田駅前ビル5F)

## 4. 参加者

約100名

※主な参加者

- ・視覚リハを実施する事業所の担当者
- ・視覚障害者向け情報提供施設の担当者
- ・視覚障害者向け福祉団体の担当者
- ・同行援護事業所の担当者
- ・相談支援事業所の担当者
- ・医療機関従事者
- ・個人参加者（視覚障害者、聴覚障害者） など

## 5. 日程

|         |                     |
|---------|---------------------|
| 14時00分～ | 開会                  |
| 14時05分～ | 視覚障害者の生活訓練（歩行訓練）とは？ |
| 14時15分～ | 基調報告                |
| 15時00分～ | パネルディスカッション         |
| 17時00分  | 閉会                  |

## 会場の様子



### 視覚障害者の生活訓練 (歩行訓練) とは？

報告者：松下昭司（日本ライトハウス  
養成部/検討委員会）



### 基調報告の様子

報告者：田中雅之（名古屋市総合リハ  
ビリテーションセンター/検討委員会）

## 2 パネルディスカッション

パネルディスカッションでは、視覚リハに関わる関係者、地域で視覚障害者を訓練につなげる可能性がある医療機関と相談支援機関の関係者、当事者団体の相談担当者、歩行訓練士の養成担当者が登壇し、それぞれの立場から視覚リハ、相談、連携などについての現状や要望が報告された。

また、報告内容をもとに会場の参加者からは質問や意見が交わされ、発言された内容は調査結果の一部に反映させた。

### 1. 司会（コーディネーター）

大倉元宏（成蹊大学理工学部  
システムデザイン学科 教授）



### 2. パネリスト

神屋郁子（大分県盲人協会 歩行訓練士）  
仲泊聡（理化学研究所多細胞システム形成研究センター 研究員）  
橋詰正（上小圏域障害者総合支援センター 所長）  
工藤正一（日本盲人会連合総合相談室 室長）  
谷映志（国立障害者リハビリテーションセンター学院 視覚障害学科 主任教官）



### 3. 主な報告内容

- ・機能訓練と非機能訓練の違いは、訓練の中身ではなく方法の違いによる「効果の出方の違い」である。視覚障害者の状況や希望に応じて訪問（非機能）と入所・通所（機能）という使い分けが必要ではないか。
- ・訓練は本人のQOLを高めるだけでなく、家族の負担を少なくしている。
- ・医療機関では、高齢化という時代の変化の中で、加齢性疾患の患者が増え、それに伴う治療以外の相談（生活相談など）への対応ができず困るケースが増えている。
- ・医療機関は、訓練が医療機関側に出向いてくれることを望んでいる。訓練側のフットワークの軽さが求められる。
- ・相談支援の現場では、視覚障害者支援の相談支援を経験している相談支援専門員はそれほど多くない現状から、機能訓練などの理解はまだ少ない。相談支援員が法定研修（基礎研修）の中で学ぶことはカリキュラム的にも困難であり、現場実践を通して学ぶことが重要である。
- ・連携体制は、相談支援の立場からすると、仕事の専門性を保つために必要になっている。
- ・視覚障害当事者が歩行の自由を取り戻すと、新たな意欲につながる。白杖は魔法の杖である。
- ・歩行訓練士の養成における課題は、訓練の現場と時代に見合った訓練士を養成することである。

### 4. 会場からの意見

- ・視覚障害者の支援には特異性があり、機能訓練では条件が見合わないことが多い。視覚障害者独自のサービスは作れないのか。
- ・手帳が取得できない眼球使用困難者などにも訓練が受けられるようにして欲しい。
- ・事故などで肢体不自由になった者は、入院先の病院で訓練が受けられ、社会復帰する道のりが作られている。視覚障害についても、同じように病院でのリハ（医学的リハ）が受けられる仕組みが必要ではないか。
- ・視覚障害者は、人によっては病気の進行が急激に進むので、訓練は早急に受けられる体制が求められる。その点では、非機能訓練のような制約が少ない方が良いのではないか。
- ・視覚障害の訓練を受けている大部分は高齢者になる。制度面において、高齢者が受けやすい訓練という視点が抜けてはいないか。
- ・機能訓練を行うためには、相談支援事業所で利用計画を作ってもらわないといけないが、相談支援専門員が手一杯で対応してもらえないことが増えている。全国的にもそのような状況になっているのか。そこを円滑にするための解決策はないのだろうか。



## 編集後記

本調査研究では、視覚障害者がリハビリテーションの窓口「どのような形につながってきたのか」が大きな関心の一つであった。医療や行政からのつながり、あるいは他のルートからのつながりなど、様々なルートがあることが予測される中で、調査結果においては、ルートが複雑で、上手く訓練への橋渡しが出来ていない部分があることが分かった。

ところが、この調査とは別の目的の聞き取りにおいて、非常に驚く事例に出くわした。

その人は盲学校の出身で、学校を終えた後、一人で外出や調理をしたいという希望を持ったが、どこへ相談すればよいか皆目見当が付かなかった。一人で考え抜いた揚句、その人の出した答えは「104番」（NTTの番号案内）に電話することであった。感心するのは対応したオペレータの機転である。そのオペレータは何をどう調べたのかは不明であるが、その人に国立の施設であるK視力センターと民間のOセンターの電話番号を案内した。

その情報を元に、その人はK視力センターと連絡を取ることであり、歩行や調理の訓練、さらには職業訓練と道がつながっていった。これは極めて稀有であるが、とにかく視覚障害リハビリテーションの窓口につながることの重要性を示した好事例であった。一方で、当事者であっても、リハビリテーションに関する情報に疎い場合があることを改めて認識させられた。

さて、調査結果からも分かるとおり、正確な情報提示とそのアクセスポイントを増やすことがまずは大切で、次に訓練を受けられる施設の存在が大きいことが分かる。この事例を目の当たりにすると、やはり、地域に住む視覚障害者が望む自立を実現するためには、生活する地域での連携によって上手く訓練へ橋渡しを行い、訓練側ではその要望を叶えることのできる訓練体制を作ることが強く望まれる。

そして、本調査研究において特筆すべきは、訓練前後における劇的な変化を物語る結果である。「一人で歩ける場所ができた・増えた」「外出の頻度が増えた」などという行動面の変化のみならず、「自分でできること・できないことの判断ができるようになった」「できないことに対する考え方や工夫の仕方が身に付いた」「気持ちが前向きになった」など、心理面においてポジティブな変化があった。訓練のもつ可能性の極めて大きいことを示している。

シンポジウムでは「白杖は魔法の杖である」との報告があった。つまり、視覚障害当事者が訓練を受け、白杖を使って歩行の自由を取り戻すことで、自信がつき、新たな意欲につながっていることを表すもっとも適切な言葉かもしれない。訓練を受けた視覚障害者が、胸を張ってこの言葉を言える日が来ることを願うばかりである。

結びに、この調査にご協力をいただいた訓練施設、訓練を受けた視覚障害当事者、医療機関、相談支援事業所、視覚障害者の当事者団体、視覚障害者向け情報提供施設、視覚特別支援学校に感謝を申し上げて、報告とする。

ありがとうございました。



## 資料集

視覚障害者が日常生活を送る上で必要な支援に関する調査研究事業

## 調査概要

### 調査 1 訓練施設向け調査

(1) 調査票について  
貴団体の運営状況等に関する調査になります。  
添付する調査票（調査 1）、又は別途送信するデータ版調査票をご使用下さい。

(2) 記入方法  
・印刷版調査票 直接ご記入下さい。  
・データ版調査票 所定の方法でご記入下さい。

(3) 提出方法  
下記の方法でご提出下さい。  
・FAX：03-3200-7755（日盲連代表）  
・メール：[jim@jfb.jp](mailto:jim@jfb.jp)（日盲連組織部 木村宛）

(4) 回答提出期限  
平成29年11月20日まで

### 調査 2 視覚障害当事者向け調査

(1) 調査票について  
貴団体が訓練を受けている、又は訓練を受けた視覚障害者を対象とした調査になります。調査対象は下記の2つに分かれます。  
添付する調査票（調査 2-1、調査 2-2）、又は別途送信するデータ版調査票をご使用下さい。なお、調査票は1対象者ごとに作成し、調査票が足りない場合はコピーをしてご使用下さい

#### 2-1 訓練施設につながるまでの経緯に関する調査

対象者：貴団体が訓練を受けている視覚障害者  
目標人数：5名

#### 2-2 訓練前後の生活の変化に関する調査

対象者：貴団体において、平成28年度から平成29年度にかけて  
訓練を終了した視覚障害者。又は終了見込みの視覚障害者。  
目標人数：5名

### (2) 記入方法

・印刷版調査票 直接ご記入下さい。  
・データ版調査票 所定の方法でご記入下さい。

### (3) 同意書の作成

調査 2 は、対象者の個人情報に係わる回答を頂くものになります。  
そのため、本調査の趣旨を対象者に説明し、添付する同意書も併せて作成して下さい。

※宛名における上部は貴団体名をご記入下さい。

### (4) 提出方法

1人の対象者ごとに「調査票」「同意書」をセットにし、調査 2-1 及び調査 2-2 をまとめて、添付する返信用封筒に入れてご郵送下さい。

### (5) 回答提出期限

平成29年12月15日まで（消印有効）

### 情報管理と調査結果の公開について

● 頂いた回答は、当法人において厳正に管理し、本調査のみに使用させていただきます。また、回答は、回答を頂いた事業所が特定出来ない状態で調査結果として公表させていただきます。

● 調査結果は、当法人内に設置した検討委員会で取りまとめを行い、平成30年3月に報告書として公開させていただきます。なお、報告書は関係機関への配布と当法人のホームページへの掲載を行い、調査結果を広く周知する予定です。

### 問い合わせ先

(1) 調査内容、記入方法について  
名古屋市総合リハビリテーションセンター 視覚支援課 田中  
電話：052-835-3523  
メール：[sikaku@nagoya-rehab.or.jp](mailto:sikaku@nagoya-rehab.or.jp)

(2) 回答の提出方法、調査全般について  
社会福祉法人日本盲人会連合 組織部 木村  
電話：03-3200-0011 メール：[jim@jfb.jp](mailto:jim@jfb.jp)  
住所：〒169-8664 東京都新宿区西早稲田2-18-2

1 調査 1、調査 2  
(1) 調査概要

「視覚障害者が日常生活を送る上で必要な支援に関する調査研究」

調査1 施設基本情報に関する調査 調査票

貴施設および貴施設の地域の状況について、「平成28年度の状況・実績」をもとに、下の各問にお答えください。

締切：平成29年11月20日（月）まで  
 提出方法：FAX（03-3200-7755）、メール（[jim@jfb.jp](mailto:jim@jfb.jp)）

【ファイルに直接入力する回答について】  
 設問から回答を選択する場合（○をつける場合）は、以下の方法でご回答ください。  
 ・ツールバーにある「囲み線」で該当項目を囲む  
 ・ツールバーにある「下線」で該当項目に下線を引く

- 施設名 [ ]  
 例：名古屋総合リハビリテーションセンター
- 所在地（市または区まで） [ ]  
 例：愛知県名古屋市
- 貴施設の施設種別について、該当するものに○をつけてください。
  - (指定)障害者支援施設
  - (指定)障害福祉サービス事業所
  - 視覚障害者情報提供施設・点字図書館
  - 盲導犬協会・盲導犬訓練施設
  - 民間企業
  - その他（具体的に )

- 貴施設の職員数について、[ ] 内に数字でお答えください。
  - 正職員 [ ] 名
  - 嘱託職員 [ ] 名
  - 訓練実施者 [ ] 名 (1. 正職員 名 2. 嘱託職員 名)
  - 歩行訓練実施者 [ ] 名 (1. 正職員 名 2. 嘱託職員 名)

- 例
- 正職員 [ 4 ] 名
  - 嘱託職員 [ 2 ] 名
  - 訓練実施者 [ 6 ] 名 (1. 正職員 4名 2. 嘱託職員 1名)
  - 歩行訓練実施者 [ 2 ] 名 (1. 正職員 2名 2. 嘱託職員 0名)

(2) 調査 1 調査票

5. 貴施設の訓練形態および実施体制について、対応可能なものに1を、対応不可能なものに2を、条件・状況によっては実施するものに3を記入してください。

|        | 歩行 | パソコン | 点字 | ADL |
|--------|----|------|----|-----|
| (1) 通所 |    |      |    |     |
| (2) 入所 |    |      |    |     |
| (3) 訪問 |    |      |    |     |

例

|        | 歩行 | パソコン | 点字 | ADL |
|--------|----|------|----|-----|
| (1) 通所 | 1  | 1    | 1  | 1   |
| (2) 入所 | 1  | 1    | 1  | 1   |
| (3) 訪問 | 1  | 3    | 2  | 1   |

6. 貴施設の利用者の状況についてご回答ください。

- 利用定員（1日あたり） [ ] 名 ・ 定員なし
- 年間の利用者数の制限 1. あり 2. 一部あり 3. なし
- 年間の訓練回数の制限 1. あり 2. 一部あり 3. なし
- 利用者数（平成28年度年間実績）
  - 1日あたり [ ] 名
  - のべ実人数 [ ] 名

※ 「ア. 1日あたり」は利用者の「のべ人数」を「営業日数」で割った数字をご記入ください。  
 「イ. のべ実人数」は年間通して、1回でも利用した方が何人いるかをお答えください。

- 利用頻度  
 平成29年10月に訓練を1度でも実施した方の平均利用頻度を教えてください。  
 一人あたりの平均利用頻度 ( ) 回/週

(6) 紹介経路 (平成 28 年度実績)

1. 医療機関 ( ) 名
  2. 福祉施設 ( ) 名
  3. 行政機関 (ハローワーク含む) ( ) 名
  4. 教育機関 (盲学校、大学など) ( ) 名
  5. 当事者団体 ( ) 名
  6. 相談支援機関 (障害福祉) ( ) 名
  7. 介護保険関係 ( ) 名
  8. 個人 (家族、友人、口コミなど) ( ) 名
  9. ホームページ ( ) 名
  10. メディア (テレビ、ラジオ、新聞など) ( ) 名
  11. その他 ( ) 名
- 合計 ( ) 名

※重複カウント不可。1～11の合計人数と最後の「合計」の人数が一致するようご回答ください。  
複数紹介元がある場合は、どちらか本人により影響を与えた方のみ実績をご記入ください。

7. 貴施設で行っている下記 (1)～(18) の条件の視覚障害者への訓練対応の可否について、該当するものに○をつけてください。

また H28 年度の対応実績があれば人数の記入をお願いいたします。

「3. 要相談」のあとの「具体的に」は、検討が必要な内容を具体的ににご記入ください。

(1) 15 歳未満

1. 可能 2. 不可 3. 要相談 (具体的に)
- H28 年度の対応実績 ( ) 名

(2) 身体障害者手帳未所持

1. 可能 2. 不可 3. 要相談 (具体的に)
- H28 年度の対応実績 ( ) 名

(3) 医療機関に向いての相談対応・訪問訓練

1. 可能 2. 不可 3. 要相談 (具体的に)
- H28 年度の対応実績 ( ) 名

(4) 片道 50 k m 以上または 1 時間半以上かかる方への訪問訓練

(施設の居住地と同都道府県内)

1. 可能 2. 不可 3. 要相談 (具体的に)
- H28 年度の対応実績 ( ) 名

(5) 県外に在住 (利用方法は通所・入所・訪問問わない)

1. 可能 2. 不可 3. 要相談 (具体的に)
- H28 年度の対応実績 ( ) 名

(6) 県外での訓練

1. 可能 2. 不可 3. 要相談 (具体的に)
- H28 年度の対応実績 ( ) 名

(7) 2 週間以内に訓練開始を希望

1. 可能 2. 不可 3. 要相談 (具体的に)
- H28 年度の対応実績 ( ) 名

(8) 数回で終了する訓練希望

(白杖基本操作の指導のみ、再訓練など限定的なルート歩行訓練など)

1. 可能 2. 不可 3. 要相談 (具体的に)
- H28 年度の対応実績 ( ) 名

(9) 頻度の低い訓練希望 (月に 1 回以下)

1. 可能 2. 不可 3. 要相談 (具体的に)
- H28 年度の対応実績 ( ) 名

(10) フルタイムで就労中

1. 可能 2. 不可 3. 要相談 (具体的に)
- H28 年度の対応実績 ( ) 名

(11) 高校・大学・盲学校在学中

- 1. 可能
- 2. 不可
- 3. 要相談(具体的に)

H28年度の対応実績 ( ) 名

(12) 2年半を超える訓練

- 1. 可能
- 2. 不可
- 3. 要相談(具体的に)

H28年度の対応実績 ( ) 名

(13) 急激に視力低下した方の入院から在宅復帰までの支援

- 1. 可能
- 2. 不可
- 3. 要相談(具体的に)

H28年度の対応実績 ( ) 名

(14) 復職・一般就労の準備訓練(歩行・パソコン・ロービジョンなど)

- 1. 可能
- 2. 不可
- 3. 要相談(具体的に)

H28年度の対応実績 ( ) 名

(15) 復職・一般就労に向けた就労支援(職場との調整などのケースワーク)

- 1. 可能
- 2. 不可
- 3. 要相談(具体的に)

H28年度の対応実績 ( ) 名

(16) 盲学校進学準備

- 1. 可能
- 2. 不可
- 3. 要相談(具体的に)

H28年度の対応実績 ( ) 名

(17) 相談支援事業所との連携による支援

- 1. 可能
- 2. 不可
- 3. 要相談(具体的に)

H28年度の対応実績 ( ) 名

※ここでの「連携」は最低限、連絡をとった、実際に会った以上の関わりを指す

(18) ケアマネジャー(介護保険)との連携による支援

- 1. 可能
- 2. 不可
- 3. 要相談(具体的に)

H28年度の対応実績 ( ) 名

※ここでの「連携」は最低限、連絡をとった、実際に会った以上の関わりを指す

8. 貴施設「以外で」、所在地(県内)にある視覚障害関係機関についてご記入ください。

- (1) 機能訓練(視覚障害)施設

1. あり

2. なし

- (2) 機能訓練以外の訓練実施施設・機関

1. あり

2. なし

- (3) 視覚障害者を専門とした相談支援実施機関

1. あり

2. なし

9. 貴施設の地域のロービジョンケアおよびネットワークの状況について、該当するものに○をつけてください。

- (1) ロービジョンケア実施医療機関

1. あり

2. なし

- (2) 医療従事者向けリーフレット

1. あり

2. なし

- (3) 支援者向けリーフレット

1. あり

2. なし

- (4) 患者・視覚障害者向けリーフレット

1. あり

2. なし

- (5) 患者紹介・返書のための様式・ツール

1. あり

2. なし

- (6) 医療機関・従事者向けの研修・講習会の実施

1. あり

2. なし

- (7) 相談支援専門員やケアマネを中心とした研修・講習会の実施

1. あり

2. なし

- (8) その他(具体的に)

1. あり

2. なし

10. (機能訓練以外で訓練を提供している施設にお尋ねします) 貴施設の事業形態での相談・訓練体制について、メリット・デメリットをお答えください。

アンケートの回答に関してご質問させていただく場合がありますので、ご記入者様のご連絡先などご記入をお願いいたします。

|         |
|---------|
| お名前     |
| 所属部署名   |
| 役職名・職種名 |
| 電話番号    |
| E-mail  |

「視覚障害者が日常生活を送る上で必要な支援に関する調査研究」

調査2-1 訓練施設につながるまでの経緯に関する調査 調査票

- 現在訓練を受けている方のうち、5名の方に下記の内容に関する聞き取りをしていただき、支援者の方が記録をしてください。
- 調査票は1名につき1枚ご使用ください。
- 対象者の選定にあたっては、なるべく経緯を正確に記憶している方をお選びください。
- 年月は西暦で記載してください。
- 締切 平成29年12月15日まで（消印有効）

【ファイルに直接入力する回答について】  
設問から回答を選択する場合（○をつける場合）は、以下の方法でご回答ください。  
・ツールバーにある「囲み線」で該当項目を囲む  
・ツールバーにある「下線」で該当項目に下線を引く

1. プロフィール  
調査対象者のプロフィールに関する（1）～（6）の設問に関し、該当するものに○をつけてください。

（1）（回答時の）年齢

1. 10代 2. 20代 3. 30代 4. 40代  
5. 50代 6. 60代 7. 70代 8. 80代以上

（2）性別

1. 男性 2. 女性

（3）手帳等級

1. 1級 2. 2級 3. 3級 4. 4級  
5. 5級 6. 6級 7. 未所持・申請中

（4）原因疾患

1. 網膜色素変性症 2. 緑内障  
3. 糖尿病網膜症 4. 黄斑変性  
5. その他（ ）

（5）視力

1. 0.01以下 2. 0.02～0.09 3. 0.1以上

（6）同居しているご家族について、該当するものすべてに○をつけてください

1. 配偶者 2. 子 3. 親 4. 兄弟姉妹 5. なし 6. その他

2. 訓練施設につながるまでの経緯について  
（1）初診（発症）時期を教えてください。

年 月

（2）身障手帳取得を勧められた時期を教えてください。

年 月

（3）身障手帳取得時期を教えてください。

年 月

（4）身障手帳最終更新時期を教えてください。

年 月

（5）医療機関から受けた情報提供の内容について該当するものすべてに○をつけてください（複数回答可）

1. 身体障害者手帳の申請方法  
2. 受けられる福祉サービス  
3. 補装具や日常生活用具の品目  
4. 補装具や日常生活用具の申請方法  
5. 障害年金  
6. 生活上の困りごとの相談窓口  
7. 訓練施設や訓練の内容  
8. なし  
9. その他（ ）

（6）医療機関から紹介された（行くよう勧められた）機関について、該当するものすべてに○をつけてください（複数回答可）

1. 役所（福祉課）  
2. 他の医療機関  
3. 訓練施設  
4. 盲学校  
5. 点字図書館・視覚障害者情報提供施設  
6. 当事者団体  
7. 用具等の販売業者  
8. 介護保険関係機関  
9. 相談支援事業所（障害福祉）  
10. なし  
11. その他（ ）

（3）調査2-1 調査票

(7) (6) で選んだなかで実際に行った機関はどこでしたか？該当するものすべてに○をつけてください (複数回答可)。

1. 役所 (福祉課)
2. 他の医療機関
3. 訓練施設
4. 盲学校
5. 点字図書館・視聴覚障害者情報提供施設
6. 当事者団体
7. 用具等の販売業者
8. 介護保険関係機関
9. 相談支援事業所 (障害福祉)
10. なし
11. その他 ( )

(8) 身障手帳申請時に行政 (福祉課) から情報提供を受けた内容について該当するものすべてに○をつけてください (複数回答可)

1. 身体障害者手帳の申請方法
2. 受けられる福祉サービス
3. 補装具や日常生活用具の品目
4. 補装具や日常生活用具の申請方法
5. 障害年金
6. 生活上の困りごとの相談窓口
7. 訓練施設や訓練の内容
8. なし
9. その他 ( )

(9) 身障手帳申請時に役所 (福祉課) から紹介された機関について該当するものすべてに○をつけてください (複数回答可)。

1. 役所 (福祉課)
2. 医療機関
3. 訓練施設
4. 盲学校
5. 点字図書館・視聴覚障害者情報提供施設
6. 当事者団体
7. 用具等の販売業者
8. 介護保険関係機関
9. 相談支援事業所 (障害福祉)
10. なし
11. その他 ( )

(10) (9) で選んだなかで実際に行った機関はどこでしたか？該当するものすべてに○をつけてください (複数回答可)。

1. 役所 (福祉課)
2. 医療機関
3. 訓練施設
4. 盲学校
5. 点字図書館・視聴覚障害者情報提供施設
6. 当事者団体
7. 用具等の販売業者
8. 包括支援センター・ケアマネ
9. 相談支援事業所 (障害福祉)
10. なし
11. その他 ( )

(11) 訓練施設・機関に最初に相談した (行った・電話した) 時期はいつですか？

年 月

(12) 訓練施設を紹介してくれた機関・媒体はどこでしたか？該当するものすべてに○をつけてください。

1. 医療機関
2. 福祉施設
3. 行政機関 (ハローワーク含む)
4. 教育機関 (盲学校、大学など)
5. 当事者団体
6. 相談支援機関 (障害福祉)
7. 介護保険関係機関
8. 個人 (家族、友人、口コミなど)
9. ホームページ
10. メディア (テレビ、ラジオ、新聞など)
11. その他 ( )

(13) 訓練施設に行こうという気持ちになった理由として最も大きなもの1つを選び○をつけてください。

1. 医者に勧められたから
2. 医者以外の病院関係者（看護師、視能訓練士、MSW）に勧められたから
3. 家族に勧められたから
4. 友人や知人に勧められたから
5. 役所で勧められたから
6. ケアマネや相談支援員に勧められたから
7. 白杖などの用具を購入した時に勧められたから
8. 訓練施設の職員とイベント等施設外で会う機会があったから
9. ハローワークで勧められたから
10. 会社（上司）から言われたから
11. 自分が困りごとを解決したいと思ったから
12. その他（ ）

(11) の施設を現在利用している場合は (16) へ。  
別の施設を利用している場合は (14) へお進みください。

(14) (11) の施設で訓練を受けなかった理由（複数回答可）

1. 手続きが煩雑だったから。手続きに時間がかかるから。
2. 希望する内容の訓練を実施していなかったから
3. 希望する方法（通い・訪問など）で対応してもらえないから
4. 希望する回数・頻度で実施してくれないから
5. 自宅から遠かったから。交通費がかかるから。
6. 相談対応に不満があったから
7. 気持ちはまだ訓練に向かなかったから
8. その他（ ）

(15) 現在の訓練施設に最初に相談した（行った、電話した）時期

年 月

(16) 現在の訓練施設の利用を開始した時期

年 月

(17) 訓練施設の情報は「どこで」「どの段階で」提供してもらえるのがよいと思いますか。  
該当するものすべてに○をつけてください。

1. 眼科（医療機関）で見え方の改善が見込めないと言われたとき
2. 眼科（医療機関）で身障手帳の取得を勧められたとき
3. 仕事の継続が困難となり産業医と面接するとき
4. 行政機関で身障手帳の申請をしたとき
5. 行政機関で身障手帳を渡されたとき
6. 実際に福祉サービスを使うために行政機関に相談や手続きに行ったとき
7. その他（具体的に

# 「視覚障害者が日常生活を送る上で必要な支援に関する調査研究」

## 調査2-2 訓練前後の生活状況の変化についての調査 調査票

● 平成28年度から平成29年度にかけて訓練を終了した方（する見込みの方）5名を対象に、下記の内容に関する聞き取りをしていただき、支援者の方が記録をしてください。

【ファイルに直接入力する回答について】  
設問から回答を選択する場合（○をつける場合）は、以下の方法でご回答ください。  
・ ツールバーにある「囲み線」で該当項目を囲む  
・ ツールバーにある「下線」で該当項目下線を引く

- 調査票は1名につき1枚ご使用ください。
- 対象者の選定にあたっては、
  - ・ 就労（復職・一般就労・就労継続A型）したケース
  - ・ 2年以上関わっているケース
  - ・ 65歳以上のケース
  - ・ 短期間で終了しているケース
 があれば、可能な限り調査対象に入れてください。
- 締切 平成29年12月15日まで（消印有効）

1. プロフィール  
調査対象者のプロフィールに関する(1)～(6)の設問に関し、該当するものに○をつけてください。

(1) (回答時の)年齢

1. 10代 2. 20代 3. 30代 4. 40代  
5. 50代 6. 60代 7. 70代 8. 80代以上

(2) 性別

1. 男性 2. 女性

(3) 手帳等級

1. 1級 2. 2級 3. 3級 4. 4級  
5. 5級 6. 6級 7. 未所持・申請中

(4) 原因疾患

1. 網膜色素変性症 2. 緑内障  
3. 糖尿病網膜症 4. 黄斑変性  
5. その他 ( )

(5) 視力

1. 0.01以下 2. 0.02～0.09 3. 0.1以上

(6) 訓練開始後の視力

1. 0.01以下 2. 0.02～0.09 3. 0.1以上

(7) 同居しているご家族について、該当するものすべてに○をつけてください

1. 配偶者 2. 子 3. 親 4. 兄弟姉妹 5. なし 6. その他

(8) 最寄りの交通機関

1. 電車・地下鉄駅 徒歩 ( ) 分  
2. バス 徒歩 ( ) 分  
3. なし

2. 訓練前後の状況の変化について

(1) 訓練で実施した内容について、該当するものすべてに○をつけ、( )に訓練回数を記入してください。回数は1日1カウントまでとします。

1. 歩行訓練 ( ) 回  
2. パソコン訓練 ( ) 回  
3. 点字訓練 ( ) 回  
4. ADL訓練 ( ) 回  
5. ロービジョン訓練 ( ) 回  
6. PC以外の機器（携帯電話含む）の操作訓練 ( ) 回  
7. その他（具体的に） ( ) 回

(2) 訓練期間 ( ) ヶ月 トータル ( ) 回

(3) 訓練前後の道具や機器の使用状況やサービスの利用状況について、訓練前と訓練後それぞれ該当するものに○をつけてください。

- ア. 「適切な」白杖の所持 ⇒ 訓練前 あり・なし 訓練後 あり・なし  
イ. 遮光レンズの使用 ⇒ 訓練前 あり・なし 訓練後 あり・なし  
ウ. 拡大読書器の使用 ⇒ 訓練前 あり・なし 訓練後 あり・なし  
エ. ブレクストークなどの録音・再生機器の使用 ⇒ 訓練前 あり・なし 訓練後 あり・なし  
オ. 音声時計の使用 ⇒ 訓練前 あり・なし 訓練後 あり・なし  
カ. 携帯電話・スマートフォンの使用 ⇒ 訓練前 あり・なし 訓練後 あり・なし  
キ. パソコンの使用 ⇒ 訓練前 あり・なし 訓練後 あり・なし  
ク. インターネットの利用 ⇒ 訓練前 あり・なし 訓練後 あり・なし

- ケ. 点字を書く道具（点字器・点字タイブなど）の使用 ⇒  訓練前  あり・なし  訓練後  あり・なし
- コ. ピンディスプレイ（ブレイルメモなど）の使用 ⇒  訓練前  あり・なし  訓練後  あり・なし
- サ. 同行支援の利用 ⇒  訓練前  あり・なし  訓練後  あり・なし
- シ. 障害福祉サービスや介護保険サービスにおける日中活動サービスの利用 ⇒  訓練前  あり・なし  訓練後  あり・なし

(4) 訓練前後の技術的な変化について

- 生活上の技術について、「できる/できない」とその状況に対する「満足度/納得度」について訓練の前と現在の状況についてお伺いします。
- 「できる」かどうかについては、用具や機器、同行支援などの福祉サービスなど使えるものは何でも使うという条件でお答えください（ただし、家族・知人の支援は除いてください）。
- 「できる/できない」については、
  1. できる
  2. どちらかといえばできない
  3. できない
  4. 満足度/納得度は、
- 1. 満足 2. やや満足 3. やや不満 4. 不満  
もしくは  
1. 納得している 2. やや納得している 3. やや納得していない 4. 納得していないの4段階で評価してください。

| 大項目      | 内 容                 | 訓練前      |         | 訓練後      |         |
|----------|---------------------|----------|---------|----------|---------|
|          |                     | できる/できない | 満足度/納得度 | できる/できない | 満足度/納得度 |
| 移動       | ア. 自宅などよく知っている屋内の移動 |          |         |          |         |
|          | イ. 屋外をよく知っている場所の移動  |          |         |          |         |
|          | ウ. 初めての場所や不慣れな場所の移動 |          |         |          |         |
|          | エ. 階段やエスカレーターの利用    |          |         |          |         |
|          | オ. 交差点横断や信号判断       |          |         |          |         |
|          | カ. 公共交通機関の利用        |          |         |          |         |
|          | キ. 混雑した場所の移動        |          |         |          |         |
| ク. 夜間の移動 |                     |          |         |          |         |

つづく

- 「できる/できない」については、
  1. できる
  2. どちらかといえばできない
  3. できない
  4. 満足度/納得度は、
- 1. 満足 2. やや満足 3. やや不満 4. 不満  
もしくは  
1. 納得している 2. やや納得している 3. やや納得していない 4. 納得していないの4段階で評価してください。

つづく

| 大項目     | 内 容                   | 訓練前      |         | 訓練後      |         |
|---------|-----------------------|----------|---------|----------|---------|
|         |                       | できる/できない | 満足度/納得度 | できる/できない | 満足度/納得度 |
| 読み書き    | ケ. 書類（郵便物や請求書など）を読む   |          |         |          |         |
|         | コ. 新聞・雑誌・書籍を読む        |          |         |          |         |
|         | サ. メモをとる（録音等含む）       |          |         |          |         |
|         | シ. メールを書く             |          |         |          |         |
|         | ス. 文章を書く              |          |         |          |         |
|         | セ. ホームページを見る・検索する     |          |         |          |         |
|         | ソ. 整容（髭剃り、化粧、爪切りなど）   |          |         |          |         |
|         | タ. 衣類の選択・管理をする        |          |         |          |         |
|         | チ. 料理をする              |          |         |          |         |
|         | ツ. 洗濯をする              |          |         |          |         |
|         | テ. お茶・コーヒーを入れる        |          |         |          |         |
|         | ト. 薬の管理、服薬            |          |         |          |         |
|         | ナ. 持ち物の区別・整理・管理       |          |         |          |         |
| 社会行動    | ニ. お金の弁別・支払い          |          |         |          |         |
|         | ヌ. 金融機関の利用            |          |         |          |         |
|         | ネ. 時間の把握              |          |         |          |         |
|         | ノ. 電話をかける・うける         |          |         |          |         |
| ケーシング参加 | ハ. 買い物                |          |         |          |         |
|         | ヒ. 会話を楽しむ             |          |         |          |         |
|         | フ. 趣味・余暇活動を楽しむ        |          |         |          |         |
|         | ヘ. 仕事をする              |          |         |          |         |
|         | ホ. 近所の人や見えていた時の友人との交流 |          |         |          |         |
|         | マ. 他の視覚障害の方との交流       |          |         |          |         |

(5) 訓練後の生活の変化について該当するものすべてに○をつけてください。

1. 外出の頻度があがった
2. 一人で歩ける場所ができた・増えた
3. 移動の安全性が向上した
4. 定期的な外出先ができた
5. 行動範囲が広がった
6. 読書ができるようになった
7. 家の中のものを自分で管理・把握できるようになった
8. 家事や身の回りのことなど自宅のなかで自分でできることが増えた
9. 自分でできること・できないことの判断ができるようになった
10. できないことに対する考え方や工夫の仕方が身についた
11. 自分で情報収集ができるようになった
12. 情報発信ができるようになった（メール、SNS、ブログ、投稿など）
13. 趣味や余暇活動が充実した
14. 困ったときに相談できる仲間ができた
15. 気持ちの前向きになった
16. 今後の目標がみつかった
17. 視覚障害に対する受け止め方が変わった
18. なし
19. その他（                    ）



## 2 調査3 (1) 調査概要

平成29年度 視覚障害者が日常生活を送る上で必要な支援に関する調査研究事業  
調査3 視覚障害者を訓練につなぐ相談支援に関する調査

### 調査概要

- (1) 実施元 社会福祉法人 日本盲人会連合
- (2) 調査対象 全国に点在する視覚障害者と接点のある関係機関（医療機関、相談支援機関、当事者団体、情報提供施設、視覚特別支援学校）  
※視覚障害に関わりが無い場合でも積極的にご回答ください。
- (3) 調査の目的
- ・本調査は、以下の論点整理を行うために調査を実施する。
  - 論点① 視覚障害者を訓練に効果的に繋げる支援体制の在り方
  - 論点② 訓練を受ける視覚障害者への効果的な訓練体制の在り方
  - ・調査3は訓練の全体像を把握するため、以下の観点で実態調査とニーズ調査を行う。
    - ・訓練を必要とする視覚障害者がどのような経路で訓練に結びついているか
    - ・その訓練の結びつきに関するニーズはどうか
- (4) 回答方法
- ・回答は施設・団体単位としてお答えください。
  - ・別添の調査票にご記入の上、メール又はFAXにて回答をご提出下さい。

メール：[chousa@jfb.jp](mailto:chousa@jfb.jp)  
FAX：03-3200-7755  
提出期限：平成29年12月8日（金）まで

- ・データ版調査票に直接データ入力をする場合は、以下の方法でご記入下さい。
  - ・回答に○をつける：ツールバーにある「囲み線」で該当項目を囲む
  - ・回答の自由記述への入力：文字数が多い場合は改行をしても構いません
- (5) 情報管理と調査結果の公開について
  - ・頂いた回答は、当法人において厳正に管理し、本調査のみに使用させていただきます。
  - また、回答は、回答者が特定出来ない状態で調査結果として公表させていただきます。
  - ・調査結果は、当法人内に設置した検討委員会で取りまとめを行い、平成30年3月に報告書として公開させていただきます。なお、報告書は関係機関への配布と当法人のホームページへの掲載を行い、調査結果を広く周知する予定です。
- (6) 問い合わせ先 ※データ版調査票をご入り用の際もお問い合わせ下さい。  
社会福祉法人日本盲人会連合 組織部 木村  
電話：03-3200-0011 メール：[jim@jfb.jp](mailto:jim@jfb.jp)  
住所：〒169-8664 東京都新宿区西早稲田2-18-2

視覚障害者が日常生活を送る上で必要な支援に関する調査研究事業

『調査3 視覚障害者を訓練につなぐ相談支援に関する調査』調査票

回答送信先 日本盲人会連合 組織部 宛  
メールアドレス: [chousa@jfb.jp](mailto:chousa@jfb.jp) FAX: 03-3200-7755

問1 貴機関の該当する名称をお答えください(1つのみ回答)

1. 医療機関
2. 相談支援機関
3. 視覚障害者の当事者団体
4. 情報提供施設(点字図書館など)
5. 視覚特別支援学校

問2 貴機関の所在地をお答えください

( ) 都・道・府・県 ( ) 区・市・町・村

問3 地域に住む視覚障害者から相談を受けることがありますか(1つのみ回答)

1. ある (→問4へ)
2. ない (→問9へ)

問4 どのような相談を受けますか(複数回答可)

1. 見えにくさの改善
2. 治療方法
3. 日常生活の改善
4. 仕事全般
5. 読み書き
6. 歩行手段
7. 福祉制度の利用
8. 心理的サポート
9. 教育
10. その他( )

問5 受け付けた相談の中で、貴機関で対応できる支援などはありますか(複数回答可)

1. 眼の治療
2. ロービジョンケア
3. 歩行訓練
4. 歩行訓練以外の訓練(点字、パソコン、ADLなど)
5. 福祉制度・サービスの紹介
6. 補装具や日常生活用具の紹介
7. 上記1～6以外の支援( )
8. 特になし

問6 相談に対応することができない場合は、他の施設や機関を紹介することができますか(1つのみ回答)

1. できる(→問7へ)
2. できない(→問8へ)

問7-1 問6で1と回答：紹介先はどのような機関ですか(複数回答可)

1. 医療機関
2. 相談支援機関
3. 視覚障害者の当事者団体
4. 情報提供施設(点字図書館など)
5. 視覚特別支援学校
6. 訓練実施機関(機能訓練施設など)
7. その他( )

問7-2 紹介先の満足度を教えて下さい(上記回答が複数の場合は平均値)

1. 安心
2. やや安心
3. 普通
4. やや不安
5. 不安

(2) 訓練票

問8 問6で2と回答：紹介が出来ない理由を教えてください(複数回答可)

1. 近隣に紹介のできる機関・施設がない
2. 紹介のできる機関・施設が遠方にあるため紹介しにくい
3. 安心して紹介のできる機関・施設がない
4. 紹介先の情報を知らない
5. 分からない
6. その他( )

問9 貴機関の地域では、視覚障害者の困りごとを連携して対応するネットワークや相談体制がありますか(1つのみ回答)

1. ある
2. ない
3. 分からない

問10 視覚障害者が必要とする支援を行うためには、地域での連携や相談体制の確立が必要だと思いますか。また、その理由を教えてください。(1つのみ回答)

1. はい (理由: )
2. いいえ (理由: )

問11 視覚障害者とのやりとりで困ることはありませんか(複数回答可)

1. 視覚障害者の対応に慣れた職員がいないこと
2. 移動の介助ができないこと
3. 代読・代筆ができないこと
4. 点字や音声で情報提供ができないこと
5. 特になし
6. その他( )

問12 視覚障害者の訓練施設に対して求めることはありますか(複数回答可)

1. 訓練施設で対応した内容を紹介元へ報告して欲しい
2. 訓練施設が利用者宅や紹介元に訪問し、視覚障害者の相談に対応して欲しい
3. 訓練施設の広報や啓発活動を強化して欲しい
4. 訓練に関する事例報告や事例検討会の開催を行って欲しい
5. 視覚障害者に対する支援法などの研修会を開催して欲しい
6. 特になし
7. その他( )

問13 視覚障害者を訓練につなぐ相談支援についてご意見があればご記入ください

設問は以上です。  
ご協力頂き、ありがとうございます。

事務担当  
(福)日本盲人会連合 組織部 木村  
〒169-8664 東京都新宿区西早稲田2-18-2  
電話 03-3200-0011 FAX 03-3200-7755  
メール [jim@jfb.jp](mailto:jim@jfb.jp)

視覚障害者が日常生活を送る上で必要な支援に関する調査研究事業

## 調査 4 視覚障害当事者の訓練経過に関する調査

### (資料の作成) について

#### (1) 調査の目的

- ・本調査においては、以下の論点整理を行うために調査を実施している
- 論点① 視覚障害者を訓練に効果的に繋げる支援体制の在り方
- 論点② 訓練を受ける視覚障害者への効果的な訓練体制の在り方
- ・該当調査は、論点②に関する調査の一環として、訓練を受ける視覚障害当事者の訓練経過の詳細を可視化する目的で実施する
- ・特に「歩行（OM）スキルの獲得はQOLを向上させる」という観点を実証することを念頭に実施する

#### (2) 調査について

- ・依頼内容 貴団体に訓練を受けている又は受けた視覚障害の訓練生1名を対象に、対象期間での訓練経過を記録した資料を作成する
- ・対象者像 貴団体の地域特性と見合う視覚障害者を対象とする  
中途視覚障害者等の初めて訓練を受けられる方を優先する
- ・作成方法 資料の作成は担当訓練士が担当し、場合によっては訓練を訓練生にヒアリングを行ないながら作成をする
- ・対象期間 平成29年8月1日～平成30年1月31日  
この期間の中から、概ね3ヶ月程度を記録する

#### (3) 資料の作成について

- ・掲載内容 資料の記載方法に指定はなし  
ただし、訓練の経過が時間軸で分かりやすく、訓練生の行動面・心理面の変化を分かりやすく記載すること  
文章の他に訓練の写真も掲載する
- ・原稿量 A4 4～6ページ程度（文字サイズ12ポイント）
- ・提出締切 平成30年2月9日（金）まで
- ・同意書 対象者に対して調査内容を説明した上で、別添の同意書を作成し、資料の提出と共に提出をする
- ・その他 資料の提出後、本調査の報告書に掲載を行うため、報告書担当者とレイアウトや文章内容の調整・相談を行う予定

#### (4) 提出先、問い合わせ先

社会福祉法人日本盲人会連合 組織部 木村  
電話：03-3200-0011 メール：[jim@ifb.jp](mailto:jim@ifb.jp)  
住所：〒169-8664 東京都新宿区西早稲田2-18-2

「視覚障害者が日常生活を送る上で必要な支援に関する調査研究事業」

## 視覚障害当事者向け調査（調査4） 趣意書

### 1. 調査実施者

社会福祉法人 日本盲人会連合

### 2. 調査の目的

視覚障害者が日常生活を送る上で必要な支援である歩行訓練等の生活訓練（以下、訓練とする）について、訓練を必要とする視覚障害者へ確実に訓練が提供されることを目指し、以下の論点について課題整理を行う。

- 論点① 視覚障害者を訓練に効果的に繋げる支援体制の在り方
  - 論点② 訓練を受ける視覚障害者への効果的な訓練体制の在り方
- この課題整理を行うために、視覚障害当事者への調査を実施する。

### 3. 調査方法

調査依頼をした訓練実施機関において訓練を受講している視覚障害者の訓練経過を文章と写真で記録をする。また、必要に応じて、その訓練の感想等を対象者にヒアリングし、文章と写真で記録する。

### 4. 調査結果の使用方法

- ・ 調査結果をもとに統計処理を行い、個人が特定できない状態にする。
- ・ 分析結果等は報告書に取りまとめ、厚生労働省への提出、関係者への配布、本連合ホームページへの掲載等を行う。

### 5. 個人情報の取り扱いについて

- ・ この調査を通して知り得た個人情報は、この調査研究事業の目的以外に使用することはありません。
- ・ お預かりした個人情報は、ご本人からの求めに応じて提供を停止することがあります。また、調査開始後にもご本人からの申し出により、聞き取りを中止することがあります。
- ・ 調査結果を記録した調査票の原本は、鍵のかかる保管庫で本調査終了後の2年間（2020年3月まで）保存したのち、消解処理を行います。
- ・ 質問、苦情等があれば、下記責任者へお問い合わせ下さい。

社会福祉法人 日本盲人会連合 組織部  
責任者：組織部長 藤井貢 事務担当者：組織部主任 木村幸平  
住所 〒169-8664 東京都新宿区西早稲田2-18-2  
電話 03-3200-0011 FAX 03-3200-7755  
メール jim@jfb.jp

以上、調査の趣旨にご理解・ご賛同いただきましたら別紙（裏面）の同意書に署名をお願いいたします。

## （2）個人向け 調剤同意書（裏面）

## 同意書

（貴団体名をご記入下さい）様

社会福祉法人 日本盲人会連合 様

私は、調査の趣旨および個人情報保護に関する取り扱いについて、別紙（裏面）「趣意書」とおりの説明を受けましたので、個人情報を使用することに同意します。

平成 年 月 日

【本人】

氏名 \_\_\_\_\_ 印 \_\_\_\_\_

【署名代行人】

氏名 \_\_\_\_\_ 印 \_\_\_\_\_

本人との関係 支援者 \_\_\_\_\_

## 委員名簿

(順不同・敬称略)

- |                 |  |
|-----------------|--|
| 大倉 元宏<br>(委員長)  | 成蹊大学工学部システムデザイン学科 教授                           |
| 竹下 義樹<br>(副委員長) | 日本盲人会連合 会長                                     |
| 神屋 郁子           | 大分県盲人協会 歩行訓練士                                  |
| 工藤 正一           | 日本盲人会連合 総合相談室 室長                               |
| 田中 雅之           | 名古屋市総合リハビリテーションセンター<br>視覚支援課 課長                |
| 谷 映志            | 国立障害者リハビリテーションセンター学院<br>視覚障害学科 主任教官            |
| 長岡 雄一           | 東京視覚障害者生活支援センター 所長                             |
| 仲泊 聡            | 理化学研究所 多細胞システム形成研究センター<br>網膜再生医療研究開発プロジェクト 研究員 |
| 松下 昭司           | 日本ライトハウス 養成部<br>指導員・指導者養成課程教官                  |
| 吉野 由美子          | 視覚障害リハビリテーション協会 会長                             |